

いわき市立
美術館年報

平成30年度

目次

沿革	2
展覧会事業	
常設展	今日の美術—ART TODAY（前期・後期）— 3
企画展	エリック・カール展 8
	追悼特別展 高倉健 14
	美術館に行こう！ ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方 23
	写真家がとらえた 昭和のこども 25
	峰丘展—カラベラへの旅 30
小企画展	平成30年度 いわき市小・中学生版画展 35
	NEW ART SCENE IN IWAKI 大久保草子展 37
共催展	第48回いわき市民美術展覧会 40
普及事業	
移動美術館	43
講演会	44
美術講座	45
ギャラリー・トーク	45
ワークショップ	45
実技講座	47
公開制作	47
映像鑑賞会	48
コンサート&パフォーマンス	48
出版	49
実技講習室の公開	50
図書室の公開	50
実習生の受け入れ	50
共催事業	51
所蔵資料	
美術作品収蔵状況	52
美術作品の貸出状況	53
資料の購入等に関する状況	53
平成30年度新収蔵作品	54
管理・運営	
美術館関係法規 いわき市立美術館条例	60
美術館関係法規 いわき市立美術館管理規則	62
利用者一覧	66
平成30年度美術館費当初予算	68
名簿	69
施設案内	70
利用案内	71

沿革

昭和53年 2月	いわき市民ギャラリー主催による「ヘンリームーア展」が開催され盛況をおさめたことが市民の反響をよび、市立美術館建設の機運が高まる
昭和53年 6月	市総合計画の中で、前期に美術館建設計画を盛り込む
昭和54年 5月	美術館建設基本構想委員会を設置、委員6人を委嘱
昭和54年 8月	同委員会より美術館の基本構想について答申
昭和54年11月	基本構想を具体的に検討するため、市民20名による美術館建設審議会を設置
昭和55年 3月	美術品選定評価委員会を設置、委員5人を委嘱
昭和55年 9月	美術館・博物館建設準備室を設置
昭和55年 9月	美術館建設審議会から美術館建設について答申
昭和55年10月	基本設計は、指名競争設計方式で行うことを決める
昭和56年 1月	美術館建設基本設計審議会を設置、委員14人を委嘱
昭和56年 1月	同委員会で佐藤武夫設計事務所の案を選定
昭和56年 9月	美術館実施計画書の提出
昭和56年12月	市議会で美術館工事請負契約を決議
昭和56年12月	建設工事着工
昭和58年11月	竣工
昭和58年12月	市議会において美術館条例を決議
昭和59年 4月	美術館組織発足
昭和59年 4月28日	開館
昭和59年 4月29日	一般公開
昭和59年10月10日	いわき市立美術館友の会発足
平成 3年 4月	常設展の観覧料を祝日無料とする
平成 4年 4月	企画展の観覧をもって常設展観覧無料とする 7月、8月の金曜日の夜間開館開始
平成 4年10月	美術館協議会より「いわき市立美術館振興策」が提出される
平成 5年 1月	毎月第2土曜日を小中学生の常設展の観覧無料とする
平成 7年 4月	毎月第2、第4土曜日を小中学生の常設展の観覧無料とする
平成12年 3月	美術館協議会より「いわき市立美術館第2次振興策」が提出される
平成14年 4月	障害者、高齢者の観覧を無料とする。また、児童生徒などが土曜日、日曜日に観覧する場合、および学校の教育活動などで観覧する場合の観覧料を無料とする
平成15年 9月～12月	大規模改修工事（休館）
平成19年 3月～ 7月	アスベスト除去工事（休館）
平成23年 3月11日	東日本大震災
平成25年 9月～平成26年11月	空気調和設備改修工事（休館）
平成28年 4月	行政組織の改革等に伴い文化スポーツ業務が市長部局に移管。美術館事業は補助執行により市長部局文化振興課の所管となる



美術館外観

今日の美術 —ART TODAY（前期・後期）—

前期は、「戦後アメリカ美術のきらめき」と題し、抽象表現主義をきっかけに美術の中心がニューヨークに移って以降のアメリカ美術の傑作を紹介。アンディ・ウォーホルやジェームズ・ローゼンクイストをはじめとしたポップ・アート、モーリス・ルイスやフランケンサーラーらのカラー・フィールドペインティング、サイ・トゥオンブリなど、当館の主要なコレクションを展示した。

「思考する作家たち／日本の80～90年代」と題した後期展では、平成以降、当館が積極的に収集してきた同時代の作家たちを紹介。高い問題意識をもって絵画や彫刻の可能性を追求して

きた辰野登恵子、中村一美、戸谷成雄、吉澤美香らの独創的な表現を展観した。

前期の小企画としては、前年度に新しく収蔵された秋山泰計、殿敷侃、河口龍夫らの作品による「平成29年度新収蔵作品を中心に」、イヴ・クラインやデイヴィッド・ナッシュ、ナイジェル・ホールなどヨーロッパ美術の展開を紹介した「ヨーロッパの風」を開催。

後期の小企画では、1950年代前後の日本の美術の動向を振り返った「戦後日本 それぞれの歩み」、さまざまな手法で写真を活用したラウシェンバーグ、森村泰昌、佐藤時啓らの作品を展示した「写真の拡がり」を開催。

- 会 期 前期Ⅰ 2018年 4月 1日（日）～2018年 6月24日（日）
 前期Ⅱ 2018年 6月26日（火）～2018年 9月24日（月）
 後期Ⅰ 2018年 9月26日（水）～2018年12月16日（日）
 後期Ⅱ 2018年12月18日（火）～2019年 3月31日（日）
- 会 場 いわき市立美術館 常設展示室
- 主 催 いわき市立美術館



常設展示場

作品リスト

No. 作家名 生没年 作品名 制作年 素材・技法 たて×よこ×高さ(cm)

平成 30 年度常設展前期 I 出品リスト (2018 年 4 月 1 日～2018 年 6 月 24 日)

■戦後アメリカ美術のきらめき

1	サイ・トゥオンブリ	1928-2011	What Wing Can Be Held?	1960	鉛筆、油彩、クレヨン、色鉛筆・カンヴァス	152.5 × 199
2	フランク・ステラ	1936-	ウリッド・スケッチ	1967	アクリル・カンヴァス	160.2 × 160.5
3	ヘレン・フランケンサラー	1928-2011	青い闘技場	1966	アクリル・カンヴァス	161 × 150.3
4	ポール・ジェンキンス	1923-2012	現象 野がちょうの叫び	1964	油彩・カンヴァス	97.8 × 194
5	モーリス・ルイス	1912-1962	Gamma Beta	1960	アクリル・カンヴァス	260.4 × 551.2
6	ジェームズ・ローゼンクイスト	1933-2017	成長計画	1966	油彩・カンヴァス	178 × 356
7	アンディ・ウォーホル	1928-1987	16 のジャッキーの肖像	1964	アクリル、エナメル、スクリーンプリント・カンヴァス	204.8 × 164
8	ロイ・リキテンスタイン	1923-1997	二つの円のある近代絵画	1966	油彩・カンヴァス	153 × 122
9	アレックス・カット	1927-	ドンとサンドラ	1967	油彩・カンヴァス	183.2 × 124
10	アラン・ダーカンジェロ	1930-1998	プロポジション # 5	1966	アクリル・カンヴァス	153 × 153
11	トム・ウェッセルマン	1931-2004	静物	1965	スクリーンプリント・紙	73.5 × 96.3
12	メル・ラモス	1935-	作品	1965	スクリーンプリント・紙	101.2 × 76
13	ジョン・ウエスレー	1928-	サイの夢	1965	スクリーンプリント・紙	97.6 × 72.3
14	ジェームズ・ローゼンクイスト	1933-2017	愛のために	1965	スクリーンプリント・紙	90 × 70
15	アラン・ダーカンジェロ	1930-1998	風景 # 3	1965	スクリーンプリント・紙	101.5 × 75.8
16	ジャスパー・ジョーンズ	1930-	コートハンガーとスプーン	1971	リトグラフ・紙	86.5 × 64
17	レッド・グルームス	1937-	肥満した足	1966	水彩、コラージュ・紙	76 × 78

■平成 29 年度新収蔵作品を中心に

18	殿敷 侃	1942-1992	題不明 (鳥居など)	1972	インク・紙	10 × 15
19	殿敷 侃	1942-1992	題不明	1973 頃	油彩・カンヴァス	27.5 × 22
20	殿敷 侃	1942-1992	くぎ	不詳	アクアチント・紙	5.4 × 8
21	殿敷 侃	1942-1992	くぎ	不詳	アクアチント・紙	5.5 × 7.7
22	殿敷 侃	1942-1992	霊地	1980-81 頃	スクリーンプリント・紙	37.5 × 54
23	河口龍夫	1940-	陸と海 1970 年 4 月 22 日 7 時 19 分 59 秒	1970	写真	18.4 × 31
24	河口龍夫	1940-	陸と海からの時相	1970-2017	ゼログラフィィー、鉛筆・紙	38.1 × 54.1
25	河口龍夫	1940-	陸と海とその裏側	1970-2017	ゼログラフィィー、鉛筆・紙	18.4 × 31
26	河口龍夫	1940-	陸と海とその外側	1970-2017	ゼログラフィィー、鉛筆・紙	70 × 100
27	河口龍夫	1940-	see saw seen (材木)	1973	写真・パネル (2 点組)	72.8 × 103
28	河口龍夫	1940-	ダークボックス	1975	鉄、闇	35 × 60 × 37
29	河口龍夫	1940-	関係一質	1988	布、銅、液体	180 × 301
30	河口龍夫	1940-	関係一教育・エドゥカティオ (26)	1994	大学院便覧 (平成 5 年度)、木、銅、真鍮、鉛筆	24.7 × 50 × 25.7
31	河口龍夫	1940-	関係一教育・エドゥカティオ (43)	1997	芸術専門学群履修便覧シラバス (平成 7 年度)、蜜蝋、銅、亜鉛、金網、ゴムホース、ペイント	11 × 50 × 41
32	河口龍夫	1940-	関係一教育・エドゥカティオ (76)	2000	卒業生名簿 (平成 9 年度)、蜜蝋、銅、銅線、木	10.8 × 36.6 × 51.7
33	秋山泰計	1927-1986	同行二人	1970	木版・紙	90 × 63
34	秋山泰計	1927-1986	夢の旅 II (象・鬼牡丹)	1985	木版・紙	90 × 185
35	秋山泰計	1927-1986	おびからくり (トラ猫↔黒猫)	不詳	アクリル・布、厚紙	8.5 × 17.5 × 9
36	秋山泰計	1927-1986	おびからくり (西瓜↔鳩)	不詳	アクリル・布、厚紙	18.5 × 19 × 14
37	秋山泰計	1927-1986	おびからくり (西瓜↔兎と亀)	不詳	アクリル・布、厚紙	7 × 7.5 × 25.6
38	秋山泰計	1927-1986	おびからくり (ヒラメ↔鯛)	不詳	アクリル・布、厚紙	8.3 × 31 × 31
39	秋山泰計	1927-1986	おびからくり (孔雀↔首)	不詳	アクリル・布、厚紙	7 × 7.5 × 25.7
40	秋山泰計	1927-1986	おびからくり (コーン↔ソフトクリーム)	不詳	アクリル・布、厚紙	6.5 × 20.5 × 7.5
41	秋山泰計	1927-1986	おびからくり (ウサギ↔ライオン)	不詳	アクリル・布、厚紙	15 × 18 × 31
42	秋山泰計	1927-1986	おびからくり (足↔靴)	不詳	アクリル・布、厚紙	7 × 7.5 × 25.5

No. 作家名 生没年 作品名 制作年 素材・技法 たて×よこ×高さ(cm)

平成 30 年度常設展前期 II 出品リスト (2018 年 6 月 26 日～2018 年 9 月 24 日)

■戦後アメリカ美術のきらめき

1	サイ・トゥオンブリ	1928-2011	What Wing Can Be Held?	1960	鉛筆、油彩、クレヨン、色鉛筆・カンヴァス	152.5 × 199
2	フランク・ステラ	1936-	グアダループ島のカラカラ	1980	ミクストメディア・紙	155.5 × 224
3	ヘレン・フランケンサラー	1928-2011	青い闘技場	1966	アクリル・カンヴァス	161 × 150.3
4	ポール・ジェンキンス	1923-2012	現象 野がちょうの叫び	1964	油彩・カンヴァス	97.8 × 194
5	モーリス・ルイス	1912-1962	Gamma Beta	1960	アクリル・カンヴァス	260.4 × 551.2
6	ジェームズ・ローゼンクイスト	1933-2017	成長計画	1966	油彩・カンヴァス	178 × 356
7	アンディ・ウォーホル	1928-1987	16 のジャッキーの肖像	1964	アクリル、エナメル、スクリーンプリント・カンヴァス	204.8 × 164
8	ロイ・リキテンスタイン	1923-1997	二つの円のある近代絵画	1966	油彩・カンヴァス	153 × 122
9	アレックス・カット	1927-	ドンとサンドラ	1967	油彩・カンヴァス	183.2 × 124
10	アラン・ダーカンジェロ	1930-1998	プロポジション# 5	1966	アクリル・カンヴァス	153 × 153
11	ジム・ダイン	1935-	森の中の二つのハート	1981	スクリーンプリント、リトグラフ・紙	91.3 × 152.6
12	ロイ・リキテンスタイン	1923-1997	スイート・ドリームズ・ベイビィ	1965	スクリーンプリント・紙	95.6 × 70.2
13	ジャスパー・ジョーンズ	1930-	色数字 1	1969-1970	リトグラフ・紙	96.5 × 78.5
14	ジャスパー・ジョーンズ	1930-	色数字 5	1969-1970	リトグラフ・紙	96.5 × 78.5
15	ジャスパー・ジョーンズ	1930-	色数字 9	1969-1970	リトグラフ・紙	96.5 × 78.5
16	クリスト	1935-	ナショナル・ギャラリー、ローマ	1967	フォトモンタージュ、鉛筆・紙	52 × 36

■ヨーロッパの風

17	フリーデンスライヒ・フンデルトワッサー	1928-2000	ポフツカワの木と移ろう恋	1975	ミクストメディア・ファイバーボード	68.6 × 96.5
18	ナイジェル・ホール	1943-	ドローイング# 98	1979	木炭・紙	121.5 × 152.5
19	ナイジェル・ホール	1943-	海の貝殻	1980	彩色アルミニウム	199 × 133 × 69
20	ナイジェル・ホール	1943-	ドローイング# 100	1979	木炭・紙	153 × 76.3
21	マーク・ボイル	1934-2005	いわき風景一足跡、割れた泥、岩とサンダルのある	1982	彩色ファイバークラス	208.5 × 365.5
22	デイヴィッド・ナッシュ	1945-	舟とかたまり一降りてくるもの	1989-1991	樫	230 × 77.5 × 55
23	デイヴィッド・ナッシュ	1945-	プレイシング・ゴーイング	1989	木炭・紙	100 × 185
24	イヴ・クライン	1928-1962	火の絵画	1961	焦げた厚紙、板	132 × 64
25	イヴ・クライン	1928-1962	人体測定 ANT66	1960	顔料、合成樹脂・紙、カンヴァス	157 × 311
26	ピエール・アレシンスキー	1927-	海の三部作 1. Mouvement couvrant	1979	エッチング・紙	172 × 88.5
	ピエール・アレシンスキー	1927-	海の三部作 2. Aura négative	1979	エッチング・紙	172 × 89.7
	ピエール・アレシンスキー	1927-	海の三部作 3. Nouvelle île	1979	エッチング・紙	169.7 × 89.3
27	M.C. エッシャー	1898-1972	昼と夜	1938	木版・紙	39.3 × 67.7
28	M.C. エッシャー	1898-1972	めぐり合い	1944	リトグラフ・紙	34 × 46.5
29	M.C. エッシャー	1898-1972	登って降りて	1947	リトグラフ・紙	50.5 × 20.5
30	M.C. エッシャー	1898-1972	水溜り	1952	木版・紙	24 × 32
31	M.C. エッシャー	1898-1972	三つの世界	1955	リトグラフ・紙	36.2 × 24.5
32	M.C. エッシャー	1898-1972	婚姻の絆	1956	リトグラフ・紙	25.8 × 33.6
33	M.C. エッシャー	1898-1972	滝	1961	リトグラフ・紙	38 × 29.8



モーリス・ルイス 《Gamma Beta》 1960年



デイヴィッド・ナッシュ 《プレイシング・ゴーイング》 1989年

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	素材・技法	たて×よこ×高さ(cm)
-----	-----	-----	-----	-----	-------	--------------

平成 30 年度常設展後期 I 出品リスト (2018 年 9 月 26 日～2018 年 12 月 16 日)

■思考する作家たち/日本の 80～90 年代

1	岡崎乾二郎	1955-	あかさかみつつけ# 20	1987	ポリプロピレン、ポリエチレン、アクリル、顔料	27.5 × 25 × 17.5
2	岡崎乾二郎	1955-	あかさかみつつけ# 27	1989	ポリプロピレン、ポリエチレン、アクリル、顔料	27.5 × 25 × 17.5
3	根岸芳郎	1951-	84-8-4	1984	アクリル・カンヴァス	180 × 232
4	辰野登恵子	1950-2014	WORK 84-P-8	1984	アクリル・カンヴァス	259 × 194
5	中村一美	1956-	道元	1984	油彩・カンヴァス	260 × 170
6	赤塚祐二	1955-	Canary 29211	1992	油彩、ワックス・カンヴァス	227 × 180
7	戸谷成雄	1947-	森	1988-91	木、灰、アクリル	213 × 490 × 30
8	舟越 桂	1951-	静かな奇襲	1986	木(楠)、大理石、一部彩色	80 × 50 × 30
9	松本陽子	1936-	自然の中の形象	1990	アクリル・カンヴァス	187 × 227
10	吉澤美香	1959-	へ-45	1993	工業用インク・アクリル	277 × 220.5
11	丸山直文	1964-	GRAY	1992	アクリル・綿布	183 × 314
12	小林正人	1957-	画室 = キャンバス	1988	油彩・カンヴァス	195 × 165
13	吉仲正直	1942-2016	1997-3 知り合う	1997	混合技法・アルシュ紙	60 × 57.5
14	吉仲正直	1942-2016	向-8	1996	油彩・カンヴァス	63 × 61.5
15	狗巻賢二	1943-	作品 92-14	1992	油彩・カンヴァス	54 × 39
16	狗巻賢二	1943-	作品 92-2	1992	油彩・カンヴァス	54 × 39
17	福島秀子	1927-1997	五月の振動IV	1986	アクリル・カンヴァス	97 × 162
18	福島秀子	1927-1997	題名不詳	不詳	水彩・紙	56.5 × 75.8

■戦後日本 それぞれの歩み

19	河原 温	1933-2014	印刷絵画 No.2 いれずみ	1959	オフセット・紙	76 × 51
20	河原 温	1933-2014	印刷絵画 No.3 植民地の怒り	1959	オフセット・紙	76 × 51
21	河原 温	1933-2014	印刷絵画 No.4 砦	1959	オフセット・紙	34.5 × 51
22	浜田知明	1917-2018	初年兵哀歌(歩哨)	1954	エッチング、アクアチント・紙	24 × 16.2
23	浜田知明	1917-2018	刑場(A)	1954	エッチング、アクアチント・紙	24.5 × 18.3
24	浜田知明	1917-2018	刑場(B)	1954	エッチング、アクアチント・紙	22 × 10.6
25	池田龍雄	1928-	薄い顔	1956 頃	ペン、木炭、水彩・紙	41.3 × 31.5
26	池田龍雄	1928-	面目乖離	1959 頃	ペン、木炭、水彩・紙	37.2 × 47.5
27	池田龍雄	1928-	無題(街シリーズ)	1959	コンテ・紙	29 × 37.5
28	難波田龍起	1905-1997	原子時代	1956	油彩・カンヴァス	116.7 × 91
29	山口長男	1902-1983	三つの四角	1956	油彩・合板	183 × 183
30	村井正誠	1905-1999	ねこ	1958	油彩・カンヴァス	72.8 × 61
31	井上長三郎	1906-1995	葬送曲	1947	油彩・カンヴァス	97.4 × 130.4
32	勝呂 忠	1926-2010	影	1954	油彩・カンヴァス	91 × 65.2
33	中村 宏	1932-	国家論	1964	インク、カシュー、油彩・カンヴァス	130 × 160
34	鈴木 実	1930-2002	因果な女	1958	石膏	82.5 × 60 × 53.5
35	田口安男	1930-	からみあい	1958	油彩・カンヴァス	90.9 × 116.7
36	若松光一郎	1914-1995	坑夫たち	1957	油彩・カンヴァス	145.5 × 118
37	鈴木芳子	1929-1998	Aさん夫婦の像	1957	紙本着彩	122.5 × 117.7
38	柴田善登	1910-1995	鈴江倉庫	1958	油彩・カンヴァス	97 × 130
39	鈴木新夫	1915-1980	機関庫	1947	油彩・カンヴァス	111 × 144
40	吉田富美	1907-2009	父の像	1949	油彩・カンヴァス	117 × 91

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	素材・技法	たて×よこ×高さ(cm)
-----	-----	-----	-----	-----	-------	--------------

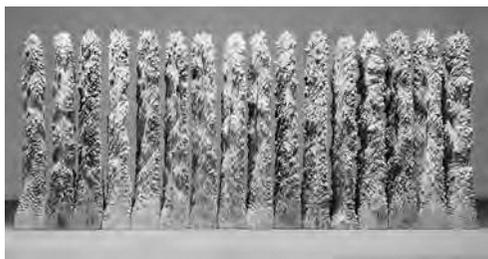
平成 30 年度常設展後期 II 出品リスト (2018 年 12 月 18 日～2019 年 3 月 17 日)

■思考する作家たち/日本の 80～90 年代

1	岡崎乾二郎	1955-	あかさかみつけ# 20	1987	ポリプロピレン、ポリエチレン、アクリル、顔料	27.5×25×17.5
2	岡崎乾二郎	1955-	あかさかみつけ# 27	1989	ポリプロピレン、ポリエチレン、アクリル、顔料	27.5×25×17.5
3	根岸芳郎	1951-	84-8-4	1984	アクリル・カンヴァス	180×232
4	辰野登恵子	1950-2014	WORK 84-P-8	1984	アクリル・カンヴァス	259×194
5	中村一美	1956-	道元	1984	油彩・カンヴァス	260×170
6	赤塚祐二	1955-	Canary 29211	1992	油彩、ワックス・カンヴァス	227×180
7	戸谷成雄	1947-	森	1988-91	木、灰、アクリル	213×490×30
8	舟越 桂	1951-	静かな奇襲	1986	木(楠)、大理石、一部彩色	80×50×30
9	松本陽子	1936-	自然の中の形象	1990	アクリル・カンヴァス	187×227
10	吉澤美香	1959-	へ-45	1993	工業用インク・アクリル	277×220.5
11	丸山直文	1964-	GRAY	1992	アクリル・綿布	183×314
12	小林正人	1957-	画室=キャンパス	1988	油彩・カンヴァス	195×165
13	吉仲正直	1942-2016	1997-3 知り合う	1997	混合技法・アルシュ紙	60×57.5
14	吉仲正直	1942-2016	向-8	1996	油彩・カンヴァス	63×61.5
15	狗巻賢二	1943-	作品 92-14	1992	油彩・カンヴァス	54×39
16	狗巻賢二	1943-	作品 92-2	1992	油彩・カンヴァス	54×39
17	福島秀子	1927-1997	五月の振動IV	1986	アクリル・カンヴァス	97×162
18	福島秀子	1927-1997	題名不詳	不詳	水彩・紙	76.7×56.7

■写真の拡がり

19	リチャード・ハミルトン	1922-2011	インテリア	1964-65	スクリーンプリント・紙	56.5×79
20	アンディ・ウォーホル	1928-1987	ジャッキー	1965	スクリーンプリント・紙	101.4×76.2
21	ジェームズ・ローゼンクイスト	1933-2017	愛のために	1965	スクリーンプリント・紙	90×70
22	ロバート・ラウシェンバーグ	1925-2008	Sky Garden	1969	リトグラフ、スクリーンプリント・紙	225×106
23	小山穂太郎	1955-	無題 1	1986	ゼラチンシルバープリント、漂白	110×170
24	小山穂太郎	1955-	無題 2	1986	ゼラチンシルバープリント、漂白	110×170
25	小山穂太郎	1955-	無題 3	1986	ゼラチンシルバープリント、漂白	110×170
26	佐藤時啓	1957-	Breath-Graph 1	1990	写真、透明メディウム	182×218
27	佐藤時啓	1957-	光一呼吸 波立 1	1996	トランスペアレンシー	102×125
28	佐藤時啓	1957-	光一呼吸 波立 2	1996	トランスペアレンシー	102×125
29	森村泰昌	1951-	美術史の娘 王女 B	1990	カラー写真、透明メディウム	210×160
30	森村泰昌	1951-	批評とその愛人 A	1990	カラー写真、透明メディウム	180×225
31	郭 徳俊	1937-	フォードと郭	1974	写真・パネル	150×104
32	郭 徳俊	1937-	カーターと郭	1977	写真・パネル	150×104
33	野田哲也	1940-	日記 1973 年 10 月 25 日	1973	スクリーンプリント、木版・紙	50.6×71.3
34	野田哲也	1940-	日記 1976 年 2 月 15 日	1976	スクリーンプリント、木版・紙	46.5×70
35	野田哲也	1940-	日記 1976 年 8 月 19 日	1976	スクリーンプリント、木版・紙	70.5×47
36	野田哲也	1940-	日記 1978 年 3 月 3 日	1978	スクリーンプリント、木版・紙	79×42.1



戸谷成雄《森》1988-91年



井上長三郎《葬送曲》1947年



森村泰昌《批評とその愛人 A》1990年

THE ART OF ERIC CARLE
エリック・カール展

—すべての子どもたちと、かつて子どもだったおとなたちへ—

絵本『はらぺこあおむし』で知られるアメリカの絵本作家エリック・カール。自らのパレットと絵筆でつくった色紙を使った切り絵の技法を駆使した驚きに満ちた仕掛絵本は、世界中の子どもたちを魅了し続け、さらに近年では、立体作品や舞台美術へとその創作の幅をひろげている。

本展はマサチューセッツ州にあるエリック・カール絵本美術館の全面的な協力を得、40年を越えるカールの絵本の世界をデビュー作『くまさん くまさん なに みてるの?』(1967年)から『えをかくかくかく』(2011年)まで生涯

にわたる数多くの絵本の原画や初版本に併せ、本展のために制作した平面作品《天使、パウル・クレイ賛》などの美術作品なども加えて、色彩の魔術師と呼ばれる彼の創作世界の全貌を紹介した。

原画の展示に沿って絵本を実際に手に取れるように配置、また、講演会やワークショップ、コンサートなどを多角的に開催し、カールに出会ったばかりの子どもたちから親として再会を果たしたおとなたちまで、年齢を越えた数多くの方々がカールの世界をリアルに体験する機会となることを目指した。

会期 2018年4月14日(土)～5月27日(日)

会場 いわき市立美術館企画展示室

主催 いわき市立美術館、エリック・カール絵本美術館、読売新聞社、福島民友新聞社、福島中央テレビ

協賛 大日本印刷

協力 日本航空、偕成社、コスモマーチャンダイズィング、福島県いわきタクシー協会いわき支部



すべての子どもたちと、
かつて子どもだったおとなたちへ



●エリック・カール展 出品リスト

No.	書名 作品タイトル	制作年	作家
Part1 エリック・カールの世界			
『エリック・カールの芸術』(1996年 Philomel Books、未翻訳)			
1	『エリック・カールの芸術』関連作品原画	1996年頃	エリック・カール
動物たちと自然			
『パンダくん パンダくん なにみているの?』(ビル・マーチン文/おおつきみずえ訳、2004年、偕成社)			
2	「スイギュウさん スイギュウさん アジアスイギュウさん なにみているの?」最終原画	2002年	エリック・カール
3	「カメさん カメさん アオウミガメさん なにみているの?」最終原画	2002年	エリック・カール
4	「ツルさん ツルさん シロツルさん なにみているの?」最終原画	2002年	エリック・カール
『こぐまくん こぐまくん なにみているの?』(ビル・マーチン文/おおつきみずえ訳、2008年、偕成社)			
5	『こぐまくん こぐまくん なにみているの?』表紙原画	2006年	エリック・カール
6	『こぐまくん こぐまくん なにみているの?』エンドペーパー	2006年	エリック・カール
7	「シカさん、シカさん、なにみているの? ガラガラヘビをみているの。」最終原画	2006年	エリック・カール
8	「ガラガラヘビくん、ガラガラヘビくん、なにみているの? ミミズくをみているの。」最終原画	2006年	エリック・カール
9	「ミミズくさん、ミミズくさん、なにみているの? くまのかあさんをみているの。」最終原画	2006年	エリック・カール
10	「それからもちろん、わたしのこぐまをみているの。ほら、こぐまもわたしをみているわ。」最終原画	2006年	エリック・カール
『ごきげんななめの てんとうむし』(もりひさし訳、1980年、偕成社)			
11	「10じてんとうむしは、ざりがにをみかけて、いいました。」「11じてんとうむしは、スカンクにぶつかりました。」「ひるの12じてんとうむしは、へびがえものをねらっているのをみていいました。」各図最終原画	1976年	エリック・カール
12	「4じてんとうむしは、ぞうにであいました。」最終原画	1976年	エリック・カール
『くもさん おへんじ どうしたの?』(もりひさし訳、1985年、偕成社)			
13	『くもさん おへんじ どうしたの?』表紙別案原画	1984年	エリック・カール
14	「「ひひーん ひひん! ねえ くもさん、わたしのせなかにのらない?」うまがさそいました。」最終原画	1984年	エリック・カール
15	「くもはへんじをしません。すをつくるのがいそがしかったのです。」最終原画	1984年	エリック・カール
16	「「もう もう! くもさん おいしいくさをたべにこようよ。」うしがさそいました。」最終原画	1984年	エリック・カール
17	「くもはへんじをしません。すをつくるのがいそがしかったのです。」最終原画	1984年	エリック・カール
18	「「ぶうぶう。くもさん、どろんこあそびをしない?」ぶたがさそいました。」最終原画	1984年	エリック・カール
19	「くもはへんじをしません。すをつくるのがいそがしかったのです。」最終原画	1984年	エリック・カール
『だんまり こおろぎ』(くどうなおこ訳、1990年、偕成社)			
20	『だんまり こおろぎ』表紙原画	1989年	エリック・カール
21	『だんまり こおろぎ』エンドペーパー	1989年	エリック・カール
22	「「きち・きち・ぼたたたた… おはようさん! ぼたたがくるくる とんできました」最終原画	1989年	エリック・カール
23	「「ぶくりん ぼこぼこ… やあどうだい! あわのなかからあわふきむしがぶくぶくとこえをけました」最終原画	1989年	エリック・カール
24	「「ぶんぶん びびびび… ごきげんよう! はなからはなへ とびまわり まるはなばちがとんできました」最終原画	1989年	エリック・カール
25	「「ぶぶぶぶーん… こんぼんは! ほしぞらせなかにかがぶんぶん おやすみまえのひとどりです」最終原画	1989年	エリック・カール
26	『だんまり こおろぎ』ダミーブック	1989年頃	エリック・カール
『ゆっくりが いっぱい!』(くどうなおこ訳、2003年、偕成社)			
27	『ゆっくりが いっぱい!』表紙原画	2001年	エリック・カール
28	「ゆっくりのんびり おっとりとナマケモノくん はっぱをたべる」最終原画	2001年	エリック・カール
29	「ゆっくりのんびり おっとりとナマケモノくん すやすやねむり」最終原画	2001年	エリック・カール
30	「「ざあざあ あめがふっても ナマケモノくん きうえでさかさまに ぶらりんこ」最終原画	2001年	エリック・カール
旅			
『1, 2, 3 どうぶつえんへ』(1970年、偕成社)			
31	『1, 2, 3 どうぶつえんへ』表紙原画	1986年	エリック・カール
32	『1, 2, 3 どうぶつえんへ』エンドペーパー	1986年	エリック・カール
33	「7」(アシカ) 最終原画	1986年	エリック・カール
34	「8」(さる) 最終原画	1986年	エリック・カール
35	「9」(へび) 最終原画	1986年	エリック・カール
『はらぺこあおむし』(もりひさし訳、1976年/1989年、偕成社)			
36	「「おや、はっぱのうえにちっちゃなたまご。」おつきさまが、そらからみていいました。」別案原画	1984年	エリック・カール
37	「「おひさまのぼってあたかいにちようびのあさです。ぼん! とたまごからちっぽけなあおむしがうまれました。」別案原画	1984年	エリック・カール
38	「「もくようび、いちごをよつたべました。」「きんようび、オレンジをいつつたべました。」各図最終原画	1986年	エリック・カール
39	「つぎのひはまたにちようび。」別案原画	1986年	エリック・カール
40	『はらぺこあおむし』関連作品原画	制作年不詳	エリック・カール
41	『はらぺこあおむし』裏表紙原画	1986年頃	エリック・カール

No.	書名 作品タイトル	制作年	作家
『10この ちいさな おもちゃの あひる』(くどうなおこ訳、2005年、偕成社)			
42	「ここはおもちゃの こうじょうだ」別案原画	2003年	エリック・カール
43	「それを10こずつはここにいれ…くるまにつんでさあしゅっぱつ…」最終原画	2003年	エリック・カール
44	「やっとあらしがやんだあと10このあひるはぶかんぶかんと なみのうえ」最終原画	2003年	エリック・カール
45	「5ばんめのおもちゃのあひる さっぼん さっぼん ひだりに すすみ」「6ばんめのおもちゃのあひる ゆーららゆらら みぎに すすみ」各図最終原画	2003年	エリック・カール
46	「7ばんめのおもちゃのあひる なみを ぐんぐん のりこえて」最終原画、「8ばんめのおもちゃのあひる ゆるりゆるりとなみまかせ」別案原画	2003年	エリック・カール
47	「“おやすみ!”おつきさまがみんなに こえかける “くわっくわっ!”あひるのかあさんがおへんじ」習作	2003年	エリック・カール
48	『10この ちいさな おもちゃの あひる』ダミーブック	2003年	エリック・カール
『やどかりの おひっこし』(もりひさし訳、1990年、偕成社)			
49	「5月。やどかりは、さんごたちに であいました。」最終原画	1987年	エリック・カール
50	「7月。やどかりは、うにのなかまに であいました。」最終原画	1987年	エリック・カール
51	「10月。やどかりは、まるいこいしがたくさんあるところに きました。」最終原画	1987年	エリック・カール
『月曜日は なにたべる?—アメリカのわらべうた』(もりひさし訳、1994年、偕成社)			
52	『月ようびは なにたべる?』表紙/裏表紙原画	1992年	エリック・カール
53	「きょうは 月ようび! 月ようびに なに たべる? 月ようびは さやいんげん」最終原画	1992年	エリック・カール
54	「きょうは 金ようび! 金ようびに なに たべる? 金ようびは おさかな」最終原画	1992年	エリック・カール
55	「きょうは 土ようび! 土ようびに なに たべる? 土ようびは チキン」最終原画	1992年	エリック・カール
56	「おなかの すいたこ みんな おいで おなかの すいたこ さあ たべよう!」最終原画	1992年	エリック・カール
昔話とファンタジー			
『グリム童話より7つのお話』(未邦訳)			
57	「そしてかれは、のほらにあったカタツムリのからのなかに まるまってねむりました。」(「おやゆびとム」より) 最終原画	1975年	エリック・カール
『アンデルセン童話より7つのお話』(未邦訳)			
58	「野の白鳥」最終原画	1977年	エリック・カール
『エリック・カールのイソップ物語』(木坂涼訳、2017年、偕成社)			
59	「さるとキツネ」最終原画	1979年	エリック・カール
『ドラゴンズ、ドラゴンズ』(未翻訳)			
60	「海の人魚: 青く冷たい水の底、人魚の水泳学校がある」最終原画	1990年	エリック・カール
61	「中国の龍: 真っ赤な玉のような太陽が昇るにつれて、わたしは友がいくところどこへでもついて行った。」最終原画	1990年	エリック・カール
『プレッツェルのはじまり』(アーサー・ビナード訳、2013年、偕成社)			
62	「パンやさんのウォルターは、まいあさうんとはやくおきて、せっせせとパンをつくりはじめます。」最終原画	1992年	エリック・カール
63	「みせの うりばで、おくさんの アンナはいつも おおいそがしです。」最終原画	1992年	エリック・カール
64	「女王さまはロールパンにマルメロのジャムをぬり、ひとくちたべて「ほっぺがおちそうだわ」とよろこびます。」最終原画	1992年	エリック・カール
65	「ウォルターが はやおきて、しごとを はじめようとしたときです。」最終原画	1992年	エリック・カール
66	「かりパンのような、ライむぎブレッドのような、ふしぎにもつれた はつめいひんを、ウォルターはかごに いれて、おしろへといそぎました。」最終原画	1992年	エリック・カール
『ゆめのゆき』(あおきひさこ訳、2002年、偕成社)			
67	「おじいさんは まいにち いっしょうけんめい イチ、ニィ、サン、シィ、ゴーの せわをしました。」最終原画	1999年	エリック・カール
68	「そしていちばんおきにりのいすにすわって、あついミントティーをのみ、はちみつをぬったパンをたべました。」最終原画	1999年	エリック・カール
69	「あっ そうだ! もうすこしで わすれるところだった」最終原画	1999年	エリック・カール
70	「おじいさんがキをきれいに かざるのを、イチ、ニィ、サン、シィ、ゴーは、じっとみていました。」最終原画	1999年	エリック・カール
71	「おじいさんは まいにち いっしょうけんめい イチ、ニィ、サン、シィ、ゴーの せわをしました。」習作	1999年頃	エリック・カール
72	「そしていちばんおきにりのいすにすわって、あついミントティーをのみ、はちみつをぬったパンをたべました。」習作	1999年頃	エリック・カール
73	「あっ そうだ! もうすこしで わすれるところだった」習作	1999年頃	エリック・カール
74	「おじいさんがキをきれいに かざるのを、イチ、ニィ、サン、シィ、ゴーは、じっとみていました。」習作	1999年頃	エリック・カール
家族			
『カンガルーの子どもにも かあさん いるの』(さのようこ訳、2003年、偕成社)			
75	「ええ、もちろん カンガルーの子どもにも かあさんは いるわ。」最終原画	1997年	エリック・カール
76	「ええ、もちろん ライオンの子どもにも かあさんは いるわ。」最終原画	1996年	エリック・カール
77	「ええ、もちろん キリンの子どもにも かあさんは いるわ。」最終原画	1997年	エリック・カール
78	「ええ、もちろん いるかの子どもにも かあさん いるわ。」最終原画	1995年	エリック・カール

No.	書名 作品タイトル	制作年	作家
『とうさんは タツノオトシゴ』(さのようこ訳、2006年、偕成社)			
79	「とうさんはしずかに ゆらゆら、うみのなかをおよいでゆきました。すると、かいそうのかげにたくさん……トランペットそっくりのヘラヤガラがかくれています。でもとうさんはきがつきませんでした。」最終原画	2003年	エリック・カール
80	「とうさんはしずかに うみのなかをおよいでゆきました。すると、サンゴのかげに……ライオンみたいなミノカサゴがかくれています。でもとうさんはきがつきませんでした。」最終原画	2003年	エリック・カール
81	「とうさんはしずかに うみのなかをおよいでゆきました。すると、かいそうのかげに なんびきもの……きのほっぱみたいなコノハウオがかくれています。でもとうさんはきがつきませんでした。」最終原画	2003年	エリック・カール
82	「またすこしゆくと、ちがうさかなにいました。「げんきかい、ナマズくん」とうさんはいました。」最終原画	2003年	エリック・カール
83	『とうさんは タツノオトシゴ』ダミーブック	2003年	エリック・カール
『パパ、お月さまとって』(もりひさし訳、1986年、偕成社)			
84	「そこで、パパは、ながーいながーい はしごをもってきました。」最終原画	1985年	エリック・カール
85	「うえへうえへと のぼっていきました。」最終原画	1985年	エリック・カール
86	「ほんとうにお月さまは、だんだん ちいさくちいさく なくなっていきました。」最終原画	1985年	エリック・カール
87	「お月さまがちょうどよいおおきになると、パパは、お月さまをもって、したへしたへと、おりてきました。」最終原画	1985年	エリック・カール
88	「それから すこしたった あるぼんのこです。」最終原画	1985年	エリック・カール
89	『パパ、お月さまとって!』ダミーブック	1986年	エリック・カール
『ホットケーキ できあがり!』(アーサー・ピナード訳、2009年、偕成社)			
90	「おじさんは、こむぎのつぶつぶをあつめて、すいしゃごやの石のひきうすにながしこんだ。」最終原画	1990年	エリック・カール
91	『ホットケーキ できあがり!』裏表紙原画	1990年	エリック・カール

PART II エリック・カールの物語

92	『コラージュをつくってみよう』のための別案原画	1997年	エリック・カール		
初期作品・素描					
No.	作品タイトル	技法/材質	寸法 cm	制作年	作家
93	地下鉄、ニューヨーク	リノカット/紙	20.3 × 25.0	1952年	エリック・カール
94	都会風景	リノカット/紙	21.7 × 30.7	1952年頃	エリック・カール
95	橋の下を行く船	リノカット/紙	21.5 × 33.6	1953年	エリック・カール
96	建物	リノカット、ポリエステル・シートに市販の色つき紙によるコラージュ/ペンブリッジ・ボード	35.5 × 25.4	制作年不詳	エリック・カール
97	建物	リノカット、ポリエステル・シートに市販の色つき紙によるコラージュ/ペンブリッジ・ボード	35.5 × 27.7	制作年不詳	エリック・カール
98	習作 かば	ペン、インク/紙	27.9 × 35.5	制作年不詳	エリック・カール
99	習作 サイ	ペン、インク/紙	27.9 × 35.5	制作年不詳	エリック・カール
100	習作 トラ	ペン、インク、水彩色鉛筆/紙	27.9 × 35.5	制作年不詳	エリック・カール
101	習作 ウシ	ペン、インク、鉛筆/紙	27.7 × 30.4	制作年不詳	エリック・カール

画家とともに

『くまさん くまさん なにみてるの?』(ビル・マーチン文/偕成社編集部訳、1984年、偕成社)			
No.	書名 作品タイトル	制作年	作家
102	『くまさん くまさん なにみてるの?』初版本	1967年	エリック・カール
103	『くまさん くまさん なにみてるの?』エンドペーパー	1983年	エリック・カール
104	「うまさん うまさん、あおい うまさん、なにみてるの?」最終原画	1983年	エリック・カール
105	「ねこさん ねこさん、むらさきいろのねこさん、なにみてるの?」別案原画	1983年	エリック・カール
106	「それから おかあさんをみているの。」最終原画	1983年	エリック・カール
『えをかくかくかく』(アーサー・ピナード訳、2014年、偕成社)			
107	『えをかくかくかく』ダミーブック	2010年	エリック・カール
108	「ピンクのうさぎをかくんだ。」最終原画	2011年	エリック・カール
109	「みどりのライオン!」最終原画	2011年	エリック・カール
110	「オレンジいろのぞうを。」最終原画	2011年	エリック・カール
111	「くろいしろくまだ。」最終原画	2011年	エリック・カール
112	『えをかくかくかく』裏表紙原画	2011年	エリック・カール
『うたがみえる きこえるよ』(もりひさし訳、1981年、偕成社)			
113	『うたがみえる きこえるよ』献辞頁最終原画	1972年	エリック・カール
114	『うたがみえる きこえるよ』口絵原画	1972年	エリック・カール
115	『うたがみえる きこえるよ』タイトル頁原画	1972年	エリック・カール
116	『うたがみえる きこえるよ』12-13頁最終原画	1972年	エリック・カール

No.	書名 作品タイトル	制作年	作家
117	『うたがみえる きこえるよ』18-19 頁最終原画	1972 年	エリック・カール
118	『うたがみえる きこえるよ』24-25 頁最終原画	1972 年	エリック・カール
119	『うたがみえる きこえるよ』裏表紙原画	1972 年	エリック・カール
レオ・レオニ『さかなは さかな』(谷川俊太郎訳、1975 年、好学社)			
L1	「かえるが はなすにつれて、ともだちの さかなは こころの なかでおおきな はねの はえた さかなみたい な とりが とぶの を みた。」最終原画	1970 年	レオ・レオニ
L2	「さかなの夢」最終原画	1970 年	レオ・レオニ
レオ・レオニ『どうするティリー?』(谷川俊太郎訳、2002 年、好学社)			
L3	「かべが なかっ た ころの こ と を、ね ず み た ち は も う、お ぼ え て い な っ た。」最終原画	1989 年頃	レオ・レオニ
L4	「むこうがわを みなく ちゃ だめよ」最終原画	1989 年頃	レオ・レオニ
『巨人に きをつけろ』(もりひさし訳、1982 年、偕成社)			
120	『巨人に きをつけろ!』表紙原画	1978 年	エリック・カール
121	「うっほほ、うまそう な こどもだ。つかまえて、ゆうはんの ごちそうに してやろう。」別案原画	1977 年	エリック・カール
122	「まっくらで なんにも みえないよ!」最終原画	1978 年	エリック・カール
123	「どこに いるの?」「ここから にげられ そうですよ。」別案原画	1977 年	エリック・カール
124	「はやく!」「この なかへ!」最終原画	1978 年	エリック・カール
125	『巨人に きをつけろ!』ダミーブック	1977 年	エリック・カール
『ぼくのエプロン』(未邦訳)			
126	『ぼくのエプロン』口絵およびタイトル頁原画	1993 年	エリック・カール
127	「ありがとう エリザベスおばさん ぼくのエプロン すてきだね」最終原画	1993 年	エリック・カール
128	「はじめに しっくいのかたまりを まぜた」最終原画	1993 年	エリック・カール
129	「らいねん また アダムおじさん を てつだうんだ」最終原画	1993 年	エリック・カール
『ナンセンス・ショウ』(未邦訳)			
130	「それアップ! それダウン! いいぞ、まっすぐ」最終原画	2013 年	エリック・カール
131	「ぼうしを とりかえ っ こ しよう」との 手 でも「ひーん、ひん!」とうま」最終原画	2013 年	エリック・カール
132	「みつけた きいろい アヒルには つちのうえを あるく あしがある」最終原画	2013 年	エリック・カール

ひろがるカールの世界

No.	作品タイトル	技法/素材	寸法cm	制作年	作家
133	橋 I	アクリル絵具で彩色された紙によるカラージュ/イラストレーション・ボード	101.6 × 76.2	1997 年	エリック・カール
134	橋 III	アクリル絵具で彩色された紙によるカラージュ/イラストレーション・ボード	101.6 × 76.2	1997 年	エリック・カール
135	編まれた箱 (ダブル)	アクリル絵具で彩色された絹、木、樹脂、アルミニウム	50.8 × 71.1 × 5.7	1998 年	エリック・カール
136	リボン II	アクリル絵具で彩色されたポリエステル・シートによるカラージュ/カンヴァス・パネル	50.8 × 40.6	1998 年	エリック・カール
137	無題 1	アクリル絵具で彩色された紙によるカラージュ/カンヴァス・パネル	76.2 × 60.9	1995 年	エリック・カール
138	無題 2	アクリル絵具で彩色された紙によるカラージュ/カンヴァス・パネル	76.2 × 60.9	1995 年	エリック・カール
139	無題 3	アクリル絵具で彩色された紙によるカラージュ/カンヴァス・パネル	76.2 × 60.9	1995 年	エリック・カール
140	さかな	金属、アクリル絵具	30.4 × 55.8 × 22.8	1998 年	エリック・カール
141	ヤマアラシ	金属、アクリル絵具	33.0 × 58.4 × 30.4	1998 年	エリック・カール
142	ねこ	金属、アクリル絵具	64.7 × 45.7 × 30.4	1998 年	エリック・カール
143	「魔笛」よりパパゲーノのための衣装デザイン	アクリル絵具で彩色された紙によるカラージュ、ペン、インク、鉛筆/イラストレーション・ボード	62.2 × 48.2	2001 年頃	エリック・カール
144	「魔笛」よりザラストロのための衣装デザイン	アクリル絵具で彩色された紙によるカラージュ、ペン、インク/イラストレーション・ボード	62.2 × 48.2	2001 年頃	エリック・カール
145	「魔笛」よりパミーナの衣装デザイン	アクリル絵具で彩色された紙によるカラージュ、ペン、インク/イラストレーション・ボード	62.2 × 48.2	2001 年頃	エリック・カール

No.	作品タイトル	技法／素材	寸法cm	制作年	作家
146	「魔笛」のための衣装デザイン	アクリル絵具で彩色された紙によるコラージュ、ペン、インク／イラストレーション・ボード	50.8 × 38.1	2001年頃	エリック・カール
147	「魔笛」のための舞台セット バナー（赤、黄、緑）	アクリル絵具／タイベック	赤 414.9 × 154.9 黄 353.6 × 152.4 緑 398.4 × 163.8	2001年	エリック・カール
148	天使 6、パウル・クレイ賛	ミクスト・メディア／イラストレーション・ボード	50.8 × 37.7 × 1.5	2016年	エリック・カール
149	天使 7、パウル・クレイ賛	ミクスト・メディア／イラストレーション・ボード	50.8 × 38.1 × 3.8	2017年	エリック・カール
150	天使 10、パウル・クレイ賛	ミクスト・メディア／イラストレーション・ボード	50.8 × 38.4 × 3.8	2017年	エリック・カール

カールと日本

No.	書名 作品タイトル	技法／素材	寸法cm	制作年	作家
151	『はらぺこあおむし』サイン入り初版本 『どこへいくの？ To see My Friend !』			1969年	エリック・カール
152	「Where are you going?」最終原画			2000年	エリック・カール
153	「Hop Hop Hop」最終原画			2000年	エリック・カール
154	「Bow wow wow」最終原画			2000年	エリック・カール
J 6	「どこへいくの？」原画			2001年	いわむらかずお
J 7	「タッタッタ」原画			2001年	いわむらかずお
J 8	「ワンワンワン」原画			2001年	いわむらかずお
J 9	『どこへいくの？ To see My Friend !』ダミーブック（小）				エリック・カール/いわむらかずお
J 10	『どこへいくの？ To see My Friend !』ダミーブック（大）				エリック・カール/いわむらかずお
No.	作品タイトル	技法／素材	寸法cm	制作年	作家
155	キモノ I	アクリル絵具で彩色された紙によるコラージュ／イラストレーション・ボード	152.4 × 101.6	2001年	エリック・カール
156	キモノ II	アクリル絵具で彩色された紙によるコラージュ／イラストレーション・ボード	152.4 × 101.6	2001年	エリック・カール
No.	書名 作品タイトル	技法／素材	寸法cm	制作年	作家
157	彩色用刷毛ー赤・白・青			1999年	エリック・カール
158	スマック				エリック・カール
159	制作のための道具、素材				エリック・カール

●出品リスト

◇森山大道 1968年頃撮影6点（横尾忠則編『憂魂、高倉健』所収）
1973年頃撮影1点（一般社団法人森山大道写真財団提供）

◇高倉健 出演映画予告篇集（展示ディレクション 横尾忠則）

『網走番外地』
『日本侠客伝 関東篇』
『昭和残侠伝』
『網走番外地 望郷篇』
『昭和残侠伝 唐獅子牡丹』
『新網走番外地』

●映像作品

画面番号	題名	公開年	クレジット	作品番号
①	1956（1） 電光空手打ち	1956（昭和31）年	◎東映	1
	チョップ先生	1956（昭和31）年	◎東映	3
	にっぽんGメン 特別武装班出動	1956（昭和31）年	◎東映	5
②	1956（2） 大学の石松 ぐれん隊征伐	1956（昭和31）年	◎東映	6
	大学の石松 太陽族に挑戦す	1956（昭和31）年	◎東映	7
	夕日と拳銃 日本篇／大陸篇	1956（昭和31）年	◎東映	8
	母孔雀	1956（昭和31）年	◎東映	9
	恐怖の空中殺人	1956（昭和31）年	◎東映	11
③	1956 流星空手打ち	1956（昭和31）年	◎東映	2
	大学の石松	1956（昭和31）年	◎東映	4
	拳銃を捨てろ	1956（昭和31）年	◎東映	10
④	1957 無敵社員	1957（昭和32）年	◎東映	13
	第十三号棧橋	1957（昭和32）年	◎東映	14
	大学の石松 女群突破	1957（昭和32）年	◎東映	15
	多情佛心	1957（昭和32）年	◎東映	16
	霧の街	1957（昭和32）年	◎東映	17
	鯨と斗う男	1957（昭和32）年	◎東映	18
	血まみれの決闘	1957（昭和32）年	◎東映	20
	ジェット機出動 第101 航空基地	1957（昭和32）年	◎東映	21
⑤	1958 娘十八 御意見無用	1958（昭和33）年	◎東映	22
	多羅尾伴内 十三の魔王	1958（昭和33）年	◎東映	23
	台風息子 修学旅行の巻	1958（昭和33）年	◎東映	24
	台風息子 最高殊勲の巻	1958（昭和33）年	◎東映	25
	恋愛自由型	1958（昭和33）年	◎東映	27
	季節風の彼方に	1958（昭和33）年	◎東映	28
	奴の拳銃は地獄だぜ	1958（昭和33）年	◎東映	29
	ひばりの花形探偵合戦	1958（昭和33）年	◎東映	30
	空中サーカス 嵐を呼ぶ猛獣	1958（昭和33）年	◎東映	31
	希望の乙女	1958（昭和33）年	◎東映	32
	娘の中の娘	1958（昭和33）年	◎東映	34
⑥	1957～1958 喧嘩社員	1957（昭和32）年	◎東映	12
	青い海原	1957（昭和32）年	◎東映	19
	非常線	1958（昭和33）年	◎東映	26
	森と湖のまつり	1958（昭和33）年	◎東映	33
⑦	1959 旋風家族	1959（昭和34）年	◎東映	36
	無法街の野郎ども	1959（昭和34）年	◎東映	35

画面番号	題名	公開年	クレジット	作品番号
	黒い指の男	1959 (昭和34)年	◎東映	37
	獣の通る道	1959 (昭和34)年	◎東映	38
	漂流死体	1959 (昭和34)年	◎東映	39
	地獄の底までつき合うぜ	1959 (昭和34)年	◎東映	40
	疑惑の夜	1959 (昭和34)年	◎東映	41
	高度7000米恐怖の四時間	1959 (昭和34)年	◎東映	43
	空港の魔女	1959 (昭和34)年	◎東映	44
⑧	1960	3分24秒		
	続べらんめえ藝者	1960 (昭和35)年	◎東映	47
	大いなる旅路	1960 (昭和35)年	◎東映	48
	ずべ公天使	1960 (昭和35)年	◎東映	49
	大空の無法者	1960 (昭和35)年	◎東映	50
	天下の怪男児 突進太郎	1960 (昭和35)年	◎東映	51
	続々べらんめえ藝者	1960 (昭和35)年	◎東映	52
	砂漠を渡る太陽	1960 (昭和35)年	◎東映	53
	殴りこみ艦隊	1960 (昭和35)年	◎東映	54
	男ならやってみろ	1960 (昭和35)年	◎東映	55
⑨	1961	2分49秒		
	べらんめえ藝者罷り通る	1961 (昭和36)年	◎東映	56
	俺が地獄の手品師だ	1961 (昭和36)年	◎東映	57
	天下の怪男児 旋風太郎	1961 (昭和36)年	◎東映	58
	男の血潮がこだまする	1961 (昭和36)年	◎東映	59
	魚河岸の女石松	1961 (昭和36)年	◎東映	60
	ひばり民謡の旅シリーズ べらんめえ藝者佐渡へ行く	1961 (昭和36)年	◎東映	62
	万年太郎と姐御社員	1961 (昭和36)年	◎東映	63
	ひばり民謡の旅シリーズ べらんめえ中乗りさん	1961 (昭和36)年	◎東映	64
⑩	1959～1962	4分41秒		
	静かなる兇弾	1959 (昭和34)年	◎東映	42
	天下の怪男児 万年太郎	1960 (昭和35)年	◎東映	45
	二発目は地獄行きだぜ	1960 (昭和35)年	◎東映	46
	花と嵐とギャング	1961 (昭和36)年	◎東映	61
	悪魔の手毬唄	1961 (昭和36)年	◎東映	65
	二・二六事件 脱出	1962 (昭和37)年	◎東映	68
	恋と太陽とギャング	1962 (昭和37)年	◎東映	69
	東京丸の内	1962 (昭和37)年	◎東映	73
⑪	1962	3分3秒		
	南太平洋波高し	1962 (昭和37)年	◎東映	66
	べらんめえ芸者と大阪娘	1962 (昭和37)年	◎東映	67
	千姫と秀頼	1962 (昭和37)年	◎東映	70
	黄門社長漫遊記	1962 (昭和37)年	◎東映	71
	民謡の旅シリーズ 桜島 おてもやん	1962 (昭和37)年	◎東映	72
	三百六十五夜	1962 (昭和37)年	◎東映	74
	暗黒街最後の日	1962 (昭和37)年	◎東映	75
	東京アンタッチャブル	1962 (昭和37)年	◎東映	76
	遊民街の銃弾	1962 (昭和37)年	◎東映	77
	裏切り者は地獄だぜ	1962 (昭和37)年	◎東映	78
⑫	1963	3分42秒		
	暗黒街の顔役 十一人のギャング	1963 (昭和38)年	◎東映	79
	第八空挺部隊 壮烈鬼隊長	1963 (昭和38)年	◎東映	80
	東京アンタッチャブル 脱走	1963 (昭和38)年	◎東映	83
	最後の顔役	1963 (昭和38)年	◎東映	84
	親分を倒せ	1963 (昭和38)年	◎東映	85
	暗黒街最大の決斗	1963 (昭和38)年	◎東映	86
	宮本武蔵 二刀流開眼	1963 (昭和38)年	◎東映	87
	恐喝	1963 (昭和38)年	◎東映	88
	ギャング忠臣蔵	1963 (昭和38)年	◎東映	89
⑬	1964	3分12秒		
	東京ギャング対香港ギャング	1964 (昭和39)年	◎東映	92
	宮本武蔵 一乗寺の決斗	1964 (昭和39)年	◎東映	91

画面番号	題名	公開年	クレジット	作品番号
	ならず者 デインストリート	1964 (昭和39) 年	© 東映	94
	暗黒街大通り	1964 (昭和39) 年	© 東映	95
	日本侠客伝	1964 (昭和39) 年	© 東映	96
	狼と豚と人間	1964 (昭和39) 年	© 東映	97
	いれずみ突撃隊	1964 (昭和39) 年	© 東映	98
⑭	1965	3分46秒		
	顔役	1965 (昭和40) 年	© 東映	99
	飢餓海峡	1965 (昭和40) 年	© 東映	100
	続網走番外地	1965 (昭和40) 年	© 東映	103
	日本侠客伝 関東篇	1965 (昭和40) 年	© 東映	104
	宮本武蔵 巖流島の決斗	1965 (昭和40) 年	© 東映	105
	昭和残侠伝	1965 (昭和40) 年	© 東映	106
	網走番外地 望郷篇	1965 (昭和40) 年	© 東映	107
	網走番外地 北海篇	1965 (昭和40) 年	© 東映	108
⑮	1966	3分46秒		
	日本侠客伝 血斗神田祭り	1966 (昭和41) 年	© 東映	110
	網走番外地 荒野の対決	1966 (昭和41) 年	© 東映	111
	カミカゼ野郎 真昼の決斗	1966 (昭和41) 年	© 東映	112
	男の勝負	1966 (昭和41) 年	© 東映	113
	昭和残侠伝 一匹狼	1966 (昭和41) 年	© 東映	114
	網走番外地 南国の対決	1966 (昭和41) 年	© 東映	115
	地獄の掟に明日はない	1966 (昭和41) 年	© 東映	117
	網走番外地 大雪原の対決	1966 (昭和41) 年	© 東映	118
⑯	1967	3分59秒		
	日本侠客伝 白刃の盃	1967 (昭和42) 年	© 東映	119
	網走番外地 決斗零下30度	1967 (昭和42) 年	© 東映	120
	あゝ同期の桜	1967 (昭和42) 年	© 東映	121
	昭和残侠伝 血染の唐獅子	1967 (昭和42) 年	© 東映	122
	網走番外地 悪への挑戦	1967 (昭和42) 年	© 東映	123
	日本侠客伝 斬り込み	1967 (昭和42) 年	© 東映	124
	侠客の掟	1967 (昭和42) 年	© 東映	125
	網走番外地 吹雪の斗争	1967 (昭和42) 年	© 東映	127
⑰	1963～1965	6分12秒		
	暴力街	1963 (昭和38) 年	© 東映	81
	人生劇場 飛車角	1963 (昭和38) 年	© 東映	82
	鬼検事	1963 (昭和38) 年	© 東映	90
	ジャコ萬と鉄	1964 (昭和39) 年	© 東映	93
	日本侠客伝 浪花篇	1965 (昭和40) 年	© 東映	101
	網走番外地	1965 (昭和40) 年	© 東映	102
⑱	1966～1970	5分14秒		
	昭和残侠伝 唐獅子牡丹	1966 (昭和41) 年	© 東映	109
	日本侠客伝 雷門の決斗	1966 (昭和41) 年	© 東映	116
	侠骨一代	1967 (昭和42) 年	© 東映	126
	緋牡丹博徒	1968 (昭和43) 年	© 東映	132
	日本侠客伝 花と龍	1969 (昭和44) 年	© 東映	143
	燃える戦場 Too Late The Hero	1970 (昭和45) 年	© Associates & Aldrich Company / Palomar Pictures / ABC Pictures	157
⑲	1968	4分17秒		
	日本侠客伝 絶縁状	1968 (昭和43) 年	© 東映	128
	獄中の顔役	1968 (昭和43) 年	© 東映	129
	荒野の渡世人	1968 (昭和43) 年	© 東映	130
	侠客列伝	1968 (昭和43) 年	© 東映	131
	ごろつき	1968 (昭和43) 年	© 東映	133
	人生劇場 飛車角と吉良常	1968 (昭和43) 年	© 東映	134
	祇園祭	1968 (昭和43) 年	© 日本映画復興協会	135
	博徒列伝	1968 (昭和43) 年	© 東映	137
	新網走番外地	1968 (昭和43) 年	© 東映	136

画面番号	題名	公開年	クレジット	作品番号
⑩	1969	4分33秒		
	緋牡丹博徒 花札勝負	1969 (昭和44)年	©東映	138
	昭和残侠伝 唐獅子仁義	1969 (昭和44)年	©東映	139
	緋牡丹博徒 二代目襲名	1969 (昭和44)年	©東映	140
	戦後最大の賭場	1969 (昭和44)年	©東映	141
	懲役三兄弟	1969 (昭和44)年	©東映	142
	日本女侠伝 俠客芸者	1969 (昭和44)年	©東映	144
	新網走番外地 流入岬の血斗	1969 (昭和44)年	©東映	145
	日本暗殺秘録	1969 (昭和44)年	©東映	146
	昭和残侠伝 人斬り唐獅子	1969 (昭和44)年	©東映	147
渡世人列伝	1969 (昭和44)年	©東映	148	
新網走番外地 さいはての流れ者	1969 (昭和44)年	©東映	149	
⑪	1970	4分19秒		
	日本女侠伝 真赤な度胸花	1970 (昭和45)年	©東映	150
	博徒一家	1970 (昭和45)年	©東映	151
	捨て身のならず者	1970 (昭和45)年	©東映	152
	日本ダービー 勝負	1970 (昭和45)年	©東映	153
	遊侠列伝	1970 (昭和45)年	©東映	154
	新網走番外地 大森林の決斗	1970 (昭和45)年	©東映	155
	昭和残侠伝 死んで貰います	1970 (昭和45)年	©東映	156
	最後の特攻隊	1970 (昭和45)年	©東映	158
	日本侠客伝 昇り龍	1970 (昭和45)年	©東映	159
新網走番外地 吹雪のはぐれ狼	1970 (昭和45)年	©東映	160	
⑫	1971	3分52秒		
	日本やくざ伝 総長への道	1971 (昭和46)年	©東映	161
	日本女侠伝 血斗乱れ花	1971 (昭和46)年	©東映	162
	日本侠客伝 刃	1971 (昭和46)年	©東映	163
	ごろつき無宿	1971 (昭和46)年	©東映	164
	新網走番外地 嵐呼ぶ知床岬	1971 (昭和46)年	©東映	165
	昭和残侠伝 吼えろ唐獅子	1971 (昭和46)年	©東映	166
	任侠列伝 男	1971 (昭和46)年	©東映	167
新網走番外地 吹雪の大脱走	1971 (昭和46)年	©東映	168	
⑬	1972	2分22秒		
	純子引退記念映画 関東緋桜一家	1972 (昭和47)年	©東映	169
	望郷子守唄	1972 (昭和47)年	©東映	170
	博奕打ち外伝	1972 (昭和47)年	©東映	171
	新網走番外地 嵐呼ぶダンブ仁義	1972 (昭和47)年	©東映	172
昭和残侠伝 破れ傘	1972 (昭和47)年	©東映	173	
⑭	1973～1975	5分50秒		
	山口組三代目	1973 (昭和48)年	©東映	174
	現代任侠史	1973 (昭和48)年	©東映	175
	ゴルゴ13	1973 (昭和48)年	©東映	176
	三代目襲名	1974 (昭和49)年	©東映	177
	無宿 (やどなし)	1974 (昭和49)年	©1974 東宝	178
	ザ・ヤクザ The Yakuza	1974 (昭和49)年	©1975/Renewed©2003 Warner Bros. Entertainment Inc. All rights reserved	179
	日本任侠道 激突篇	1975 (昭和50)年	©東映	180
大脱獄	1975 (昭和50)年	©東映	181	
神戸国際ギャング	1975 (昭和50)年	©東映	183	
⑮	1975～1978	6分37秒		
	新幹線大爆破	1975 (昭和50)年	©東映	182
	八甲田山	1977 (昭和52)年	©橋本プロ/東宝/シナノ企画	185
	幸福の黄色いハンカチ	1977 (昭和52)年	©松竹	186
野性の証明	1978 (昭和53)年	©KADOKAWA 1978	188	
⑯	1976～1980	4分11秒		
	君よ憤怒の河を渉れ	1976 (昭和51)年	©KADOKAWA 1976	184
	冬の華	1978 (昭和53)年	©東映	187
	動乱 第1部 海峡を渡る愛/第2部 雪降り止まず	1980 (昭和55)年	©東映・シナノ企画	189
	遙かなる山の呼び声	1980 (昭和55)年	©松竹	190

画面番号	題名	公開年	クレジット	作品番号
㉗	1982～1985	4分13秒		
	刑事物語	1982 (昭和57)年	©1982 SANRIO CO., LTD. TOKYO, JAPAN	192
	海峡	1982 (昭和57)年	©1982 東宝	193
	南極物語	1983 (昭和58)年	©フジテレビ/学研/蔵原プロ	194
	居酒屋兆治	1983 (昭和58)年	©1983 東宝	195
	夜叉	1985 (昭和60)年	©1985 東宝	196
㉘	1988～2001	2分11秒		
	海へ—See you—	1988 (昭和63)年	©1988 東宝	197
	あ・うん	1989 (平成元)年	©1989 東宝	199
	ミスター・ベースボール Mr. Baseball	1993 (平成5)年	©UNIVERSAL CITY STUDIOS, INC.	200
	四十七人の刺客	1994 (平成6)年	©東宝/日本テレビ放送網/電通アドギア	201
	ホタル	2001 (平成13)年	©2001「ホタル」製作委員会	203
㉙	1981～2012	7分56秒		
	駅 STATION	1981 (昭和56)年	©1981 東宝	191
	ブラック・レイン BLACK RAIN	1989 (平成元)年	©1989 BY Paramount Pictures Corporaion. All Rights Reserved.	198
	鉄道員 (ぼっばや)	1999 (平成11)年	©1999「鉄道員(ぼっばや)」製作委員会	202
	単騎、千里を走る。	2006 (平成18)年	©2005 Elite Group (2004) Enterprises Inc.	204
	あなたへ	2012 (平成24)年	©2012「あなたへ」製作委員会	205

●ケース内資料

資料番号	題名	公開年	種別	数量	作品番号
1	東映の身分証明書	—	書類	1	—
2	電光空手打ち	1956 (昭和31)年	脚本	1	1
3	流星空手打ち	1956 (昭和31)年	脚本	1	2
4			梗概	1	
5	大学の石松	1956 (昭和31)年	脚本	1	4
6			脚本 (準備用)	1	
7	夕日と拳銃 日本/大陸編	1956 (昭和31)年	脚本	1	8
8	恐怖の空中殺人	1956 (昭和31)年	脚本	1	11
9	無敵社員・喧嘩社員	1957 (昭和32)年	脚本	1	12,13
10			香盤	1	
11	霧の街	1957 (昭和32)年	脚本	1	17
12	鯨と斗う男	1957 (昭和32)年	脚本 (『龍巻』)	1	18
13	青い海原	1957 (昭和32)年	梗概	1	19
14	非常線	1958 (昭和33)年	脚本	1	26
15			梗概	1	
16	季節風の彼方に	1958 (昭和33)年	スチール	1	28
17	空中サーカス 嵐を呼ぶ猛獣	1958 (昭和33)年	脚本 (『サーカス物語』)	1	31
18	無法街の野郎ども	1959 (昭和34)年	スチール	1	35
19	旋風家族	1959 (昭和34)年	スチール	1	36
20	空港の魔女	1959 (昭和34)年	スチール	1	44
21	天下の快男児 万年太郎	1960 (昭和35)年	カラスチール	1	45
22	二発目は地獄行きだぜ	1960 (昭和35)年	カラスチール	2	46
23	続べらんめえ藝者	1960 (昭和35)年	カラスチール	1	47
24	大空の無法者	1960 (昭和35)年	スチール	1	50
25	天下の快男児 突進太郎	1960 (昭和35)年	スチール	4	51
26	殴り込み艦隊	1960 (昭和35)年	スチール (1枚は台紙貼付)	3	54
27	遊民街の銃弾	1962 (昭和37)年	スチール	7	77
28	暴力街	1963 (昭和38)年	スチール	6	81
29	人生劇場 飛車角	1963 (昭和38)年	スチール	4	82

資料番号	題名	公開年	種別	数量	作品番号
30	横尾忠則編『憂魂、高倉健』（都市出版社）	1971（昭和46）年刊	書籍	1	—
31	日本侠客伝	1964（昭和39）年	脚本（準備用）	1	96
32	飢餓海峡	1965（昭和40）年	パンフレット	1	100
33	網走番外地	1965（昭和40）年	スチール	4	102
34	昭和残侠伝	1965（昭和40）年	スチール	2	106
35	網走番外地 望郷篇	1965（昭和40）年	スチール	2	107
36	昭和残侠伝 唐獅子牡丹	1966（昭和41）年	アルバム	1	109
37			スチール	1	
38	侠骨一代	1967（昭和42）年	スチール	5	126
39	荒野の渡世人	1968（昭和43）年	スチール	1	130
40	日本侠客伝 花と龍	1969（昭和44）年	スチール	3	143
41	日本侠客伝 昇り龍	1970（昭和45）年	脚本	1	159
42	任侠列伝 男	1971（昭和46）年	脚本	1	167
43			梗概	1	
44			スタジオ・メール	1	
45			大判モノクロフライヤー	1	
46			スチール	2	
47	純子引退記念映画 関東緋桜一家	1972（昭和47）年	脚本	1	169
48			スタジオ・メール	1	
49			大判モノクロフライヤー	1	
50			スチール	3	
51	望郷子守唄	1972（昭和47）年	脚本	1	170
52			スタジオ・メール	1	
53			大判モノクロフライヤー	1	
54			スチール	3	
55	ゴルゴ 13	1973（昭和48）年	脚本	1	176
56			映画で使用したのと同型の サングラス	1	
57	無宿（やどなし）	1974（昭和49）年	脚本	1	178
58			フライヤー	1	
59	ザ・ヤクザ The Yakuza	1974（昭和49）年	脚本	1	179
60	新幹線大爆破	1975（昭和50）年	脚本	1	182
61			スチール	2	
62	君よ憤怒の河を渉れ	1976（昭和51）年	脚本	1	184
63			スチール	1	
64	八甲田山	1977（昭和52）年	脚本	1	185
65			パンフレット	1	
66			パンフレット	1	
67			プレスブック	1	
68	幸福の黄色いハンカチ	1977（昭和52）年	脚本	1	186
69			脚本（準備稿）	1	
70			スチール	1	
71	冬の華	1978（昭和52）年	脚本	1	187
72			脚本（『HIDEJI』）	1	
73			スチール	1	
74	駅 STATION	1981（昭和56）年	脚本	1	191
75	南極物語	1983（昭和58）年	脚本	1	194
76			企画書「タロとジロは生きていた」	1	
77	海へ - See you -	1988（昭和63）年	ロケで使用したトランク	1	197
78	あ・うん	1989（平成元）年	脚本	1	199
79	鉄道員	1999（平成11）年	脚本	1	202
80			パンフレット	1	
81			厚紙折り畳みチラシ	1	
82	ホテル	2001（平成13）年	脚本	1	203
83			スチール	1	

資料番号	題名	公開年	種別	数量	作品番号
84			脚本	1	
85	単騎、千里を走る。	2006（平成 18）年	スチール	1	204
86			映画で使用した笛	1	
87			脚本	1	
88	あなたへ	2012（平成 24）年	脚本（決定稿）	1	205
89			脚本（撮影稿）	1	
90	風に吹かれて	—	脚本	1	—

●壁面展示資料

資料番号	題名	公開年	種別	作品番号
91	東映入社の際	—	スチール	—
92	東映入社の際	—	スチール	—
93	電光空手打ち	1956（昭和 31）年	ポスター（複製）	1
94	電光空手打ち	1956（昭和 31）年	スチール	1
95	大学の石松	1956（昭和 31）年	ポスター（複製）	4
96	にっぽん G メン 特別武装班出動	1956（昭和 31）年	スチール	5
97	大学の石松 太陽族に挑戦す	1956（昭和 31）年	ポスター（複製）	7
98	母孔雀	1956（昭和 31）年	スチール	9
99	拳銃を捨てろ	1956（昭和 31）年	スチール	10
100	恐怖の空中殺人	1956（昭和 31）年	スチール	11
101	第十三号棧橋	1957（昭和 32）年	スチール	14
102	青い海原	1957（昭和 32）年	ポスター（複製）	19
103	青い海原	1957（昭和 32）年	スチール	19
104	血まみれの決闘	1957（昭和 32）年	スチール	20
105	非常線	1958（昭和 33）年	ポスター（複製）	26
106	非常線	1958（昭和 33）年	スチール	26
107	森と湖のまつり	1958（昭和 33）年	ポスター（複製）	33
108	旋風家族	1959（昭和 34）年	スチール	36
109	黒い指の男	1959（昭和 34）年	スチール	37
110	獣の通る道	1959（昭和 34）年	ポスター（複製）	38
111	静かなる兇弾	1959（昭和 34）年	ポスター	42
112	静かなる兇弾	1959（昭和 34）年	スチール	42
113	高度 7000 米 恐怖の四時間	1959（昭和 34）年	スチール	43
114	二発目は地獄行きだぜ	1960（昭和 35）年	スチール	46
115	続べらんめえ 藝者	1960（昭和 35）年	スチール	47
116	大いなる旅路	1960（昭和 35）年	スチール	48
117	男ならやってみろ	1960（昭和 35）年	スチール	55
118	べらんめえ 藝者罷り通る	1961（昭和 36）年	スチール	56
119	天下の快男児 旋風太郎	1961（昭和 36）年	スチール	58
120	花と嵐とギャング	1961（昭和 36）年	ポスター	61
121	恋と太陽とギャング	1962（昭和 37）年	ポスター	69
122	恋と太陽とギャング	1962（昭和 37）年	スチール	69
123	東京丸の内	1962（昭和 37）年	スチール	73
124	暗黒街最後の日	1962（昭和 37）年	スチール	75
125	遊民街の銃弾	1962（昭和 37）年	スチール	77
126	暗黒街最大の決斗	1963（昭和 38）年	スチール	86
127	ギャング忠臣蔵	1963（昭和 38）年	スチール	89
128	ならず者	1964（昭和 39）年	ポスター	94
129	日本侠客伝	1964（昭和 39）年	スチール	96
130	いれずみ突撃隊	1964（昭和 39）年	ポスター	98
131	昭和残侠伝	1965（昭和 40）年	スチール	106
132	網走番外地 望郷篇	1965（昭和 40）年	ポスター	107

資料番号	題名	公開年	種別	作品番号
133	網走番外地 望郷篇	1965 (昭和40)年	スチール	107
134	昭和残侠伝 唐獅子牡丹	1966 (昭和41)年	スチール	109
135	日本侠客伝 血斗神田祭り	1966 (昭和41)年	スチール	110
136	カミカゼ野郎 真昼の決斗	1966 (昭和41)年	ポスター	112
137	網走番外地 南国の対決	1966 (昭和41)年	スチール	115
138	昭和残侠伝 血染の唐獅子	1967 (昭和42)年	スチール	122
139	網走番外地 吹雪の斗争	1967 (昭和42)年	スチール	127
140	侠客列伝	1968 (昭和43)年	ポスター	131
141	緋牡丹博徒	1968 (昭和43)年	スチール	132
142	緋牡丹博徒 花札勝負	1969 (昭和44)年	ポスター	138
143	戦後最大の賭場	1969 (昭和44)年	ポスター	141
144	昭和残侠伝 人斬り唐獅子	1969 (昭和44)年	スチール	147
145	新網走番外地 さいはての流れ者	1969 (昭和44)年	ポスター	149
146	捨て身のならず者	1970 (昭和45)年	ポスター	152
147	遊侠列伝	1970 (昭和45)年	ポスター	154
148	新網走番外地 大森林の決斗	1970 (昭和45)年	ポスター	155
149	燃える戦場 Too Late The Hero	1970 (昭和45)年	ポスター	157
150	日本女侠伝 血斗乱れ花	1971 (昭和46)年	ポスター	162
151	ごろつき無宿	1971 (昭和46)年	ポスター	164
152	昭和残侠伝 吼えろ唐獅子	1971 (昭和46)年	スチール	166
153	博奕打ち外伝	1972 (昭和47)年	スチール	171
154	新網走番外地 嵐呼ぶダンブ仁義	1972 (昭和47)年	ポスター	172
155	現代仁侠史	1973 (昭和48)年	ポスター	175
156	ゴルゴ13	1973 (昭和48)年	スチール	176
157	無宿 (やどなし)	1974 (昭和49)年	ポスター	178
158	無宿 (やどなし)	1974 (昭和49)年	スチール	178
159	新幹線大爆破	1975 (昭和50)年	スチール	182
160	神戸国際ギャング	1976 (昭和51)年	ポスター	183
161	君よ憤怒の河を渉れ	1976 (昭和51)年	ポスター	184
162	幸福の黄色いハンカチ	1977 (昭和52)年	ポスター	186
163	野性の証明	1978 (昭和53)年	スチール	188
164	JAPAN SOCIETY PRESENTS : KEN TAKAKURA	1978 (昭和53)年	横尾忠則制作ポスター	—
165	遙かなる山の呼び声	1980 (昭和56)年	スチール	190
166	駅 SATION	1981 (昭和56)年	スチール	191
167	ブラック・レイン BLACK RAIN	1989 (平成元)年	ポスター	198
168	ブラック・レイン BLACK RAIN	1989 (平成元)年	スチール	198
169	あ・うん	1989 (平成元)年	スチール	199
170	あ・うん	1989 (平成元)年	ポスター	199
171	鉄道員 (ぼっぼや)	1999 (平成11)年	ポスター	202
172	あなたへ	2012 (平成24)年	スチール	205
173	フィルムの経年劣化とその修復・保存	—	(パネル展示)	—

凡例 *作品番号は、本展図録による。
*展示物は、映像、ケース内資料、壁面展示資料に分けて記載した。
*映像は、各モニター、プロジェクターごとの所要時間を記した。

美術館に行こう！

ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方

ミッフィーの生みの親であるディック・ブルーナ（1927-2017）は、オランダを代表する絵本作家でありグラフィックデザイナーである。彼が手がけた数多くの絵本は時代を超えて子どもから大人まで世界中で愛されている。

1997年に出版された絵本『うさこちゃん びじゅつかんへいく』は、ミッフィーが初めて美術館を訪れ、展示されている作品を両親と一緒に見るお話。この絵本を通してブルーナは、難しく思われがちなモダン・アートは、実はとても楽しいものだよ、と伝えてくれる。

本展では、この絵本の内容に沿って当館所蔵

のモダン・アート53点とイラストや表紙デザインなどブルーナの作品138点を紹介し、また、会場ではミッフィーの耳のかぶりものづくりや切り紙絵体験や塗り絵コーナーを設けた。これにより、小さな子どもから大人まで楽しめる展覧会となった。

また、会期中の催し物として、いわき出身の造形作家 土屋さやか氏による実技講座「ふわふわもこもこの『まる、しかく、さんかく』をつくろう」やJPIC読書アドバイザークラブ福島支部の皆さんによるブルーナ絵本や当館所蔵作品関連絵本のおはなし会を開催し、好評を得た。

- 会 期 2018年7月28日（土）～9月2日（日）
- 会 場 いわき市立美術館 企画展示室
- 主 催 いわき市立美術館
- 特別協力 ディック・ブルーナ・ジャパン / Mercis bv
- 協 力 福音館書店、クツワ株式会社
- 企画協力 株式会社 キュレイターズ



●いわき市立美術館 所蔵作品出品リスト

No	タイトル	制作年	制作手法	作者
1	シャボン玉A	1979	油彩、アクリル・キャンバス	上田 薫
2	水滴 J.T.83001	1979～1983	油彩・キャンバス	金 昌烈
3	G.CONNECTION “DOOR”	1987	アクリル・キャンバス	坪井正光
4	アガモグラフィー “フェスティバル”	1972～1975	シルクスクリーン・プラスチック	ヤーコブ・アガム
5	ヴィトリース 赤い街	1957	油彩・ガラス	山口勝弘
6	LOCUS IN THE SKY	1982	真鍮、ベアリング、モーター、ギア、制御装置他	大隅秀雄
7	常磐の大工	1956	セメント	佐藤忠良
8	帽子	1981	ブロンズ	佐藤忠良
9	Tの頭像	1977	テラコッタ(1988年再型抜)	北郷 悟
10	犬モ歩ケバ…	1980	木、鉄	籾内佐斗司
11	作品	1961	エナメル・キャンバス、合板	元永定正
12	昇る金星	1963	アクリル・キャンバス	アル・ヘルド
13	三つの四角	1956	油彩・合板	山口長男
14	TAVAS	1967～1968	テンペラ・キャンバス	ヴィクトル・ヴァザリリ
15	ウリッド・スケッチ	1967	アクリル・キャンバス	フランク・ステラ
16	作品	1964	油彩・キャンバス	オノサト・トシノブ
17	作品	1975	シルクスクリーン・紙	オノサト・トシノブ
18	作品	1975	シルクスクリーン・紙	オノサト・トシノブ
19	作品	1975	シルクスクリーン・紙	オノサト・トシノブ
20	作品	1976	シルクスクリーン・紙	オノサト・トシノブ
21	貝の未来 - 3	2011	貝殻、石塑、水彩絵具	河口龍夫
22	貝の未来 - 9	2011	貝殻、石塑、水彩絵具	河口龍夫
23	貝の未来 -15	2011	貝殻、石塑、水彩絵具	河口龍夫
24	貝の未来 -16	2011	貝殻、石塑、水彩絵具	河口龍夫
25	貝の未来 -17	2011	貝殻、石塑、水彩絵具	河口龍夫
26	貝の未来 -22	2011	貝殻、石塑、水彩絵具	河口龍夫
27	貝の未来 -23	2011	貝殻、石塑、水彩絵具	河口龍夫
28	貝の未来 -25	2011	貝殻、石塑、水彩絵具	河口龍夫
29	貝の未来 -28	2011	貝殻、石塑、水彩絵具	河口龍夫
30	貝の未来 -30	2011	貝殻、石塑、水彩絵具	河口龍夫
31	貝の未来 -33	2011	貝殻、石塑、水彩絵具	河口龍夫
32	影 (A)	1964	油彩・合板	高松次郎
33	SEEING 81-11	1990	チバカラープリント・紙	小本 章
34	石を彫ることは川になることである	1981	油性インク、鉛筆・紙	ジュゼッペ・ペノーネ
35	海の石のように山の石を彫る	1981	鉛筆、コーヒー・紙	ジュゼッペ・ペノーネ
36	川になる 3	1992	大理石 (2個組)	ジュゼッペ・ペノーネ
37	版画集「JAZZ」より《サーカス》	1947	ステンシル・紙	アンリ・マティス
38	版画集「JAZZ」より《白い象の悪夢》	1947	ステンシル・紙	アンリ・マティス
39	版画集「JAZZ」より《馬と騎士と道化役者》	1947	ステンシル・紙	アンリ・マティス
40	版画集「JAZZ」より《イカロス》	1947	ステンシル・紙	アンリ・マティス
41	版画集「JAZZ」より《ピエロの埋葬》	1947	ステンシル・紙	アンリ・マティス
42	版画集「JAZZ」より《空中ブランコの曲芸師チーム》	1947	ステンシル・紙	アンリ・マティス
43	花 1	1970	シルクスクリーン・紙	アンディ・ウォーホル
44	花 2	1970	シルクスクリーン・紙	アンディ・ウォーホル
45	花 3	1970	シルクスクリーン・紙	アンディ・ウォーホル
46	花 4	1970	シルクスクリーン・紙	アンディ・ウォーホル
47	花 5	1970	シルクスクリーン・紙	アンディ・ウォーホル
48	花 6	1970	シルクスクリーン・紙	アンディ・ウォーホル
49	花 7	1970	シルクスクリーン・紙	アンディ・ウォーホル
50	花 8	1970	シルクスクリーン・紙	アンディ・ウォーホル
51	花 9	1970	シルクスクリーン・紙	アンディ・ウォーホル
52	花 10	1970	シルクスクリーン・紙	アンディ・ウォーホル
53	Nine Stripes, Pearl Orange to Green	1988	アクリル・紙、キャンバス	百瀬 寿

写真家がとらえた 昭和のこども

歴代元号で最長であった「昭和」(1926-1989)は、日中戦争から始まった戦時体制、そして敗戦と復興、経済発展とまさに激動の時代であり、この間に私たちを取り巻く生活環境や価値観は劇的な変化を遂げた。同時代を生きた写真家たちは、変貌する日本社会の一コマをそれぞれの視点でカメラに収め、とりわけ子どもたちを被写体とした写真では、数多くの傑作が生まれた。

本展覧会では、土門拳をはじめ、木村伊兵衛や林忠彦など日本写真史に大きな足跡を残した19人の写真家がとらえた子どもたちの姿を通して、戦前から高度経済成長期にかけての昭和の歩みをたどった。クレヴィス所蔵の額装作品158点と大型パネル作品5点に、土門拳記念館(酒田市)所蔵の大型パネル作品7点を加えた全170点を、「戦前のこどもたち」「困難な時代を生きる」「働くこどもたち」「楽しい学校生活」「腕白小僧とお転婆娘」「祭りと歳時記」「高度経済成長のもとで」の7つのテーマに分けて展示。また、会場では、昭和期に市内各地で撮

影された貴重な動画を紹介するモニター上映(7本、43分)のほか、フォトムービー(テーマごとに4台)も設置し、「いわきの昭和」を振り返る試みも行った。さらに、「あなたの“昭和”、大募集!」と称して一般から公募した写真54点もロビー展示し、来館者の好評を得た。

会期中の催しとして、田中泯(ダンサー)、ジョン・ラッセル(ギタリスト)、ストーレ・リアヴィーク・ソルベルグ(ドラマー)によるパフォーマンス「インカスの伝言/踊り場弾き場」を2階ロビーで開催し、およそ400人もの入場者で賑わった。このほか、本展図録にエッセイを寄稿したねじめ正一(詩人・作家)を招いての講演会「昭和の子」、丹英直(写真家)による写真講座「撮る人撮られる人」を実施。

「昭和」がテーマということもあり入場者は圧倒的に高齢者が多く、総入場者数は3,668人にとどまったものの、来館者のコメントやアンケート回答者の感想からは満足度が高かったことが伺えた。



会 期 2018年9月15日(土)～10月21日(日)
会 場 いわき市立美術館 企画展示室
主 催 いわき市立美術館
協 力 公益財団法人土門拳記念館
企画協力 クレヴィス



●作品リスト

作品番号	作品タイトル	撮影地	撮影年	写真家	プリントサイズ
1-001	鳥追い 村の子供	新潟県・桑取谷	昭和15-21年 (1940-46)	濱谷浩	半切
1-002	水浴び	伊豆・静浦	昭和11年 (1936)	土門拳	半切
1-003	山女釣り	伊豆・静浦	昭和11年 (1936)	土門拳	半切
1-004	農村の記念写真	栃木県筑波村	昭和16年 (1941)	土門拳	半切
1-005	久地梅林	神奈川県・久地梅林付近	昭和11年 (1936)	桑原甲子雄	大四切
1-006	老爺と少女	宮崎県	昭和14年 (1939)	土門拳	半切
1-007	寒風のこども	(不明)	昭和11-12年頃 (1936-37頃)	土門拳	半切
1-008	傘を回すこども	東京・小河内村	昭和12年頃 (1937頃)	土門拳	1000 × 1500 パネル
1-009	地蔵様年始	新潟県・桑取谷	昭和15年 (1940)	濱谷浩	半切
1-010	鳥追いにでる	新潟県・桑取谷	昭和15年 (1940)	濱谷浩	半切
1-011	歌ってゆく鳥追い	新潟県・桑取谷	昭和15年 (1940)	濱谷浩	大四切
1-012	焼草集めの子供	新潟県・桑取谷	昭和15-21年 (1940-46)	濱谷浩	半切
1-013	鞆祝い	新潟県・桑取谷	昭和15-21年 (1940-46)	濱谷浩	半切
1-014	少女四態	鳥取県・境港	昭和14年 (1939)	植田正治	半切
1-015	電車を見に来た子	横浜・東横線日吉駅	昭和16年 (1941)	芳賀日出男	大四切
1-016	あめ屋	横浜・山下町	昭和12年 (1937)	土門拳	大四切
1-017	子ども	沖縄	昭和11年 (1936)	木村伊兵衛	大四切
2-018	少年鼓笛隊のパレード	東京・銀座	昭和14年 (1939)	木村伊兵衛	大四切
2-019	国民精神総動員の正月	東京・皇居前のたこあげ大会	昭和13年 (1938)	土門拳	半切
2-020	子どもの隣組	東京・牛込区矢来町	昭和15-16年 (1940-41)	木村伊兵衛	半切
2-021	国民学校の授業	神戸・本山第2国民学校	昭和17年 (1942)	土門拳	半切
2-022	奉安殿	神戸・本山第2国民学校	昭和17年 (1942)	土門拳	半切
2-023	疎開学童の世話をする女子教諭	宮城県・鳴子温泉	昭和20年 (1945)	濱谷浩	半切
2-024	疎開学童の炭運び	宮城県・鳴子温泉	昭和20年 (1945)	濱谷浩	半切
2-025	国民学校の軍事教練	山梨県・塩山国民学校	昭和18年 (1943)	林忠彦	大四切
2-026	カルタ会でくつろぐ少年工	(不明)	昭和19年 (1944)	林忠彦	大四切
2-027	おにぎりを持つ母と子	長崎市井樋ノ口町附近	昭和20年8月10日 (1945.8.10)	山端庸介	半切
2-028	焼け跡のこども	東京・東銀座	昭和20年秋 (1945秋)	木村伊兵衛	全紙
2-029	進駐軍の兵士と手をつなぐこどもたち	東京・上野公園	昭和20年秋 (1945秋)	木村伊兵衛	半切
2-030	煙草をくゆらす戦災孤児	東京・上野駅	昭和21年 (1946)	林忠彦	全紙
2-031	引揚げ	東京・上野駅	昭和21年 (1946)	林忠彦	半切
2-032	自転車のリムを回して物乞いする戦災孤児	東京・上野駅	昭和21年 (1946)	林忠彦	半切
2-033	かつぎ屋の子	(不明)	昭和24年 (1949)	土門拳	大四切
2-034	新聞売り	東京・両国	昭和23年 (1948)	木村伊兵衛	大四切
2-035	靴みがきの戦災孤児	東京・上野	昭和21年 (1946)	林忠彦	半切
3-036	客の応対	大阪・井池	昭和27-29年 (1952-54)	緑川洋一	全紙
3-037	稲刈り	鹿児島県・奄美大島有屋	昭和30-32年 (1955-57)	芳賀日出男	大四切
3-038	田植え	秋田	昭和32年 (1957)	土門拳	半切
3-039	枯れ枝拾いのこどもたち	長野県上田市	昭和24年 (1949)	木村伊兵衛	半切
3-040	炭焼小屋	岩手県下閉伊郡	昭和33年 (1958)	林忠彦	半切
3-041	綿羊	長野県・浪合村	昭和30年 (1955)	熊谷元一	大四切
3-042	薪づくり	長野県・会地村	昭和32年 (1957)	熊谷元一	大四切
3-043	お手伝い	東京・銀座	昭和27年 (1952)	木村伊兵衛	半切
3-044	少年も大忙し	大阪・井池	昭和27-29年 (1952-54)	緑川洋一	大四切
3-045	新聞配達	東京・築地明石町	昭和28-29年 (1953-54)	土門拳	半切
3-046	家業の手伝いをする少年	熊本県・天草崎津	昭和31年 (1956)	田沼武能	半切
3-047	行商の子	鹿児島県・奄美大島	昭和28年 (1953)	林忠彦	半切
3-048	大きな魚が捕れた	沖縄・糸満漁港	昭和34年 (1959)	井上孝治	全紙
3-049	昆布を運ぶ少女	北海道根室市・歯舞	昭和31年 (1956)	長野重一	大四切
3-050	蛸干し	熊本県・天草佐伊津	昭和38年 (1963)	麦島勝	大四切
3-051	薪はこび	熊本県・四浦村	昭和26年 (1951)	麦島勝	大四切
3-052	お手伝い	熊本県・深田村	昭和23年 (1948)	麦島勝	大四切
3-053	お手伝い	沖縄・金武	昭和34年 (1959)	井上孝治	大四切
3-054	お使い小僧	大阪・新橋	昭和30年 (1955)	土門拳	全紙
3-055	魚屋の子ども	東京・築地	昭和24年 (1949)	長野重一	半切
4-056	コッペパンをかじる	長野県・会地村	昭和28年 (1953)	熊谷元一	半切
4-057	入学の日	長野県・会地村	昭和28年 (1953)	熊谷元一	大四切
4-058	ベビーブーム	長野県・会地村	昭和32年 (1957)	熊谷元一	大四切
4-059	そろそろあきた	長野県・会地村	昭和28年 (1953)	熊谷元一	大四切

作品番号	作品タイトル	撮影地	撮影年	写真家	プリントサイズ
4-060	数あそび	長野県・会地村	昭和28年 (1953)	熊谷元一	大四切
4-061	教室の薪ストーブに手をかざすこどもたち	長野県・会地村	昭和25年 (1950)	熊谷元一	大四切
4-062	黒板絵	長野県・会地村	昭和28年 (1953)	熊谷元一	大四切
4-063	冬とこども	長野県・会地村	昭和29年 (1954)	熊谷元一	大四切
4-064	あるけんか	長野県・会地村	昭和28年 (1953)	熊谷元一	大四切
4-065	雨漏り	東京・荒川区立第九峡田小学校	昭和39年 (1964)	田沼武能	半切
4-066	分教場	岩手県久慈市山根	昭和33年 (1958)	林忠彦	半切
4-067	頭上運搬で通学	鹿児島市・桜島	昭和34年 (1959)	濱谷浩	全紙
4-068	吊りカゴで通学	高知県・本山町井尻	昭和34年 (1959)	濱谷浩	全紙
4-069	学校給食	東京	昭和34年 (1959)	田沼武能	半切
4-070	学校給食	東京	昭和45年 (1970)	齋藤康一	半切
4-071	写生	奈良県・石舞台	昭和26年 (1951)	入江泰吉	半切
5-072	とかげ	東京・江東	昭和30年 (1955)	土門拳	1500×1000 パネル
5-073	笑う子	東京・江東	昭和28年 (1953)	土門拳	800×1200 パネル
5-074	紙芝居	東京・月島	昭和29年 (1954)	木村伊兵衛	全紙
5-075	紙芝居	東京・江東	昭和28年 (1953)	土門拳	1000×1500 パネル
5-076	紙芝居	長崎県佐世保市	昭和28年 (1953)	長野重一	半切
5-077	近藤勇と鞍馬天狗	東京・江東	昭和30年 (1955)	土門拳	1000×1500 パネル
5-078	ゴミ捨て場	東京・江東	昭和28年 (1953)	土門拳	1000×1500 パネル
5-079	路地裏で縁将棋	東京・佃島	昭和33年 (1958)	田沼武能	全紙
5-080	駄菓子屋	東京・江東界限	昭和28年 (1953)	木村伊兵衛	半切
5-081	道に落書きをする子どもたち	東京・浅草	昭和36年 (1961)	田沼武能	1200×800 パネル
5-082	ままごとの次はケンカ	東京・浅草	昭和30年 (1955)	田沼武能	半切
5-083	ゴム飛び	東京・築地明石町	昭和29年 (1954)	土門拳	半切
5-084	ペーゴマ	東京・江東	昭和28年 (1953)	土門拳	半切
5-085	本郷付近	東京	昭和28年 (1953)	木村伊兵衛	半切
5-086	清洲アパート	東京・江東	昭和28年 (1953)	土門拳	半切
5-087	三角ベース	福岡県・春日町春日原	昭和31年 (1956)	井上孝治	大四切
5-088	こま回し	東京・江東	昭和30年 (1955)	土門拳	大四切
5-089	三輪車	東京・江東	昭和28年 (1953)	土門拳	全紙
5-090	おしくらまんじゅう	東京・江東	昭和28年 (1953)	土門拳	800×1200 パネル
5-091	馬飛び	東京・新橋	昭和28年 (1953)	土門拳	半切
5-092	おでんやさんが来た	東京・浅草	昭和32年 (1957)	田沼武能	半切
5-093	しんこ細工	東京・浅草雷門	昭和29年 (1954)	土門拳	1000×1500 パネル
5-094	針金細工	東京・新橋	昭和29年 (1954)	土門拳	半切
5-095	シャボン玉	東京・大井駅前	昭和29年 (1954)	土門拳	半切
5-096	神田っ子	東京・神田	昭和28年 (1953)	土門拳	半切
5-097	子猫	箱根	昭和25年 (1950)	土門拳	大四切
5-098	氷をなめる子	福岡市・新天町商店街	昭和29年 (1954)	井上孝治	大四切
5-099	おいちいよ	大阪・井池	昭和30年 (1955)	土門拳	半切
5-100	路上でのキャッチボール	沖縄・首里坂下	昭和34年 (1959)	井上孝治	大四切
5-101	リヤカー遊びの子供たち	北海道東川・西八号北二番地	昭和24年 (1949)	飛弾野数右衛門	大四切
5-102	ブランコの子ども	北海道東川	昭和30年 (1955)	飛弾野数右衛門	大四切
5-103	犬と少年	福岡県・春日町	昭和32年 (1957)	井上孝治	大四切
5-104	デパート屋上のスカイクルーザー	東京・浅草	昭和29年 (1954)	田沼武能	全紙
5-105	たこあげ	東京・築地明石町	昭和30年 (1955)	土門拳	半切
5-106	川遊び	京都・高瀬川	昭和29年 (1954)	土門拳	半切
5-107	タコ焼き	京都・祇園	昭和33年 (1958)	濱谷浩	大四切
5-108	フラフープ	京都・三条通	昭和33年 (1958)	濱谷浩	大四切
5-109	チャンバラ	京都・五条坂	昭和33年 (1958)	濱谷浩	大四切
5-110	メンコ	京都・下河原通観音院門前	昭和33年 (1958)	濱谷浩	大四切
5-111	おぼけ屋敷	福岡県若松市	昭和32年 (1957)	井上孝治	全紙
5-112	月光飯面	北海道旭川市	昭和34年 (1959)	濱谷浩	800×1200 パネル
5-113	紙のリボン	香川県高松市・西浜港	昭和27年 (1952)	緑川洋一	1200×800 パネル
5-114	昔話を聞くこどもたち	鹿児島県・沖永良部島知名町	昭和31年 (1956)	芳賀日出男	半切
5-115	子供たち	岡山県倉敷市	昭和30年 (1955)	緑川洋一	大四切
5-116	遊ぶ	佐渡・小木町	昭和29-30年 (1954-55)	岩宮武二	大四切
5-117	雪の上のコマ回し	青森県弘前市	昭和34年 (1959)	濱谷浩	大四切
5-118	雪国のこどもたち	(不明)	昭和31年頃 (1956頃)	林忠彦	半切

作品番号	作品タイトル	撮影地	撮影年	写真家	プリントサイズ
5-119	かくれんぼ	秋田県横手市	昭和34年 (1959)	濱谷浩	半切
5-120	草遊び	島根県安来市	昭和34年 (1959)	濱谷浩	大四切
5-121	腕白小僧	佐渡・琴浦	昭和29-30年 (1954-55)	岩宮武二	大四切
5-122	仲良し	奈良・白毫寺界限	昭和29年 (1954)	入江泰吉	半切
5-123	逆上がり	伊豆・静浦	昭和28年 (1953)	土門拳	半切
5-124	磯遊び	静岡県・松崎町	昭和34年 (1959)	濱谷浩	大四切
5-125	ダイビング	佐渡・小木港	昭和29年 (1954)	土門拳	半切
5-126	へのへのもへの	鳥取県・境港	昭和24年 (1949)	植田正治	大四切
6-127	阿波踊り	徳島市	昭和30年 (1955)	土門拳	半切
6-128	こども神輿	東京・佃島	昭和31年 (1956)	土門拳	半切
6-129	アイスキャンディー	東京・築地	昭和31年 (1956)	土門拳	大四切
6-130	手古舞	東京・深川	昭和31年 (1956)	田沼武能	大四切
6-131	高山祭り	岐阜県高山市	昭和34年 (1959)	濱谷浩	半切
6-132	太鼓踊り	鹿児島県・加治木町	昭和34年 (1959)	濱谷浩	半切
6-133	人形浄瑠璃に見入るこどもたち	徳島市	昭和37年 (1962)	芳賀日出男	半切
6-134	亥の子餅	広島県・向島町立花	昭和34年 (1959)	濱谷浩	半切
6-135	花鎖め	京都	昭和38年 (1963)	芳賀日出男	半切
6-136	七夕飾り	大阪	昭和29年 (1954)	土門拳	半切
6-137	盆燈籠	鹿児島県・奄美大島宇検村	昭和32年 (1957)	芳賀日出男	大四切
6-138	門口の迎え火	秋田県・羽後町	昭和35年 (1960)	芳賀日出男	大四切
6-139	お祭りの余興を見るこどもたち	東京・佃島	昭和31年 (1956)	土門拳	全紙
6-140	正月の下町娘	東京・浅草	昭和27年 (1952)	田沼武能	全紙
6-141	羽根つき	京都・祇園花見小路	昭和34年 (1959)	濱谷浩	半切
6-142	茶の湯のお稽古	金沢市・木町愛羊庵	昭和34年 (1959)	濱谷浩	半切
6-143	ボンデンを待つ	秋田市・三吉神社付近	昭和34年 (1959)	濱谷浩	半切
6-144	ホンヤラ洞にゆく子供たち	新潟県・十日町猿蔵	昭和31年 (1956)	濱谷浩	半切
6-145	ホンヤラ洞で歌う子供たち	新潟県・十日町猿蔵	昭和31年 (1956)	濱谷浩	全紙
6-146	十三祝	鹿児島県・沖永良部島和泊町	昭和32年 (1957)	芳賀日出男	半切
7-147	泣く子	福岡県・筑豊炭田	昭和34年 (1959)	土門拳	半切
7-148	母のない姉妹	福岡県・筑豊炭田	昭和34年 (1959)	土門拳	全紙
7-149	ボタ拾い	福岡県・筑豊炭田	昭和34年 (1959)	土門拳	半切
7-150	子沢山の炭住街	福岡県・筑豊炭田	昭和34年 (1959)	土門拳	1000×1500パネル
7-151	弁当を持ってこない子	福岡県・筑豊炭田	昭和34年 (1959)	土門拳	半切
7-152	父のない母子	福岡県・筑豊炭田	昭和34年 (1959)	土門拳	半切
7-153	父のない母子	福岡県・筑豊炭田	昭和34年 (1959)	土門拳	半切
7-154	まったくやりきれない	北海道・東旭川村	昭和32年 (1957)	濱谷浩	全紙
7-155	開拓部落	北海道広尾郡	昭和41年 (1966)	熊切圭介	半切
7-156	集団就職	熊本県八代市・八代駅	昭和33年 (1958)	麦島勝	大四切
7-157	上京する少年	東京・上野駅	昭和44年 (1969)	熊切圭介	半切
7-158	団地のこども	東京・大久保	昭和36年 (1961)	長野重一	半切
7-159	進学塾	東京・九段	昭和39年 (1964)	長野重一	半切
7-160	ドーナツ化現象	埼玉県川口市・鳩ヶ谷小学校	昭和43年 (1968)	熊切圭介	半切
7-161	都心の遊園地	東京・後楽園	昭和44年 (1969)	熊切圭介	半切
7-162	四日市ぜんそく	三重県四日市市	昭和40年 (1965)	熊切圭介	半切
7-163	サリドマイド児	東京・島田療育園	昭和39年 (1964)	熊切圭介	大四切
7-164	交通戦争	埼玉県・桶川町	昭和44年 (1969)	熊切圭介	大四切
7-165	父子寮	東京・江東区塩崎町	昭和43年 (1968)	齋藤康一	半切
7-166	お稽古事	東京・世田谷	昭和46年 (1971)	齋藤康一	半切
7-167	スイミングスクール	東京	昭和46年 (1971)	齋藤康一	半切
7-168	児童公園	東京・市ヶ谷	昭和41年 (1966)	長野重一	半切
7-169	文化住宅	大阪府豊中市	昭和41年 (1966)	熊切圭介	半切
7-170	ワンマンバス	東京・世田谷	昭和51年 (1976)	桑原甲子雄	半切

	サイズ	点数
全紙	457×560mm	17
半切	356×432mm	88
大四切	279×356mm	53
800×1200パネル		5
1000×1500パネル		7
合計		170

●参考展示

◆モニター上映「いわきの昭和」(全43分)

- 1 「昭和50年代の平七夕祭り」
昭和50 (1975) 年 8 月、昭和53 (1978) 年 8 月、昭和54 (1979) 年 8 月
 - 2 「黎明期のいわきおどりコンクール」
昭和58 (1983) 年から昭和61 (1986) 年の間
 - 3 「常磐湯本やっぺおどり」
昭和53 (1978) 年 8 月頃
 - 4 「小名浜天狗おどり」
昭和45年 (1970) 年 8 月 4 日、昭和53 (1978) 年 8 月頃
 - 5 「四倉アーカイブズ/諏訪神社例大祭 (神輿合同渡御祭)」
昭和35 (1960) 年 5 月 3 日 (旧暦 4 月 8 日)
 - 6 「四倉アーカイブズ/第 4 回ミス浜っ子コンテスト」
昭和34 (1959) 年 7 月 26 日
 - 7 「四倉アーカイブズ/第 8 回港祭り大カーニバル」
昭和34 (1959) 年 8 月 2 日
- ※ 1～4 撮影/いわき市 編集/いわきフィルムアーカイブ
5～7 解説・編集・制作/小泉屋文庫 著作・管理/四倉町商店会連合会、四倉町商工会

◆フォト・ムービー

- 1 「昭和のたいら」(4分34秒)
 - 2 「昭和30年代のいわきの子ども達」(3分40秒)
 - 3 「昭和の勿来」(3分23秒)
 - 4 「昭和初期のいわきの炭礦」(3分40秒)
- 制作/小泉屋文庫・いわきフィルムアーカイブ

峰丘展—カラベラへの旅

1948年いわき市に生まれた峰丘（みねおか）は、画家を志して20代半ばでメキシコに渡り、メキシコ国立自治大学で主に壁画と版画を学んだ。1985年帰国してふるさといわきにアトリエを構えるまで、メキシコ滞在は足かけ11年に及ぶこととなった。

メキシコで学んでいたおりに着想したカラベラは今日まで続く彼の代名詞であるが、ほかにもガレアナやユニークな深海魚などをモチーフにして、大胆な金地背景に浮かび上がらせる平面的かつ装飾的な表現が、国内にとどまらず海外でも評価され、東南アジアや東ヨーロッパ

各地で滞在制作に招聘され、個展を開催している。文字通り今日のいわきを代表する画家である。

今回の展覧会は、70歳、画業50年の節目を迎えた画家初めての本格的な回顧展であり、3部仕立て、油彩画のみならず、立体、デッサン、スケッチ、書、磁器の染錦金彩など、峰丘の多彩な創作活動を網羅する総数160点強で構成された。また会場内にアトリエを再現、ロビーには金地背景の技法紹介コーナーが設けられ、展示の最後は画家が特別な思いを抱く3.11以降でまとめられた。遠方からの観客も多く、入場者・図録販売とも、想定を上回る成果を得た。

会期 2018年11月3日（土・祝）～12月9日（日）

会場 いわき市立美術館 企画展示室、ロビー

主催 いわき市立美術館

協力 いわき市立美術館友の会



No.	タイトル	制作年	画材	寸法 (cm)	所蔵
絵画					
1	希望	1967	油彩・キャンヴァス	38.0×45.5	作家蔵
2	おふくろ	1968	油彩・キャンヴァス	22.7×15.8	作家蔵
3	戦いの化粧	1969	油彩・キャンヴァス	23.5×20.0	作家蔵
4	『古事記』にて	1970	油彩・キャンヴァス	116.7×91.0	作家蔵
5	自画像	1971	油彩・キャンヴァス	20.0×24.0	作家蔵
6	静物—C	1972	油彩・キャンヴァス	90.9×116.7	作家蔵
7	仮面とカラベラ	1975	油彩・キャンヴァス	100.0×80.3	作家蔵
8	Niño danzante 一踊る少年—	1975	油彩・キャンヴァス	60.6×50.0	作家蔵
9	母のいない家族	1975	油彩・キャンヴァス	100.0×80.3	作家蔵
10	カラベラの兄妹	1975	油彩・キャンヴァス	116.7×90.9	作家蔵
11	ママといっしょ	1976	油彩・キャンヴァス	100.0×80.3	作家蔵
12	カリブ海の貝	1975	油彩・キャンヴァス	33.3×45.5	個人蔵
13	インディオ	1975	油彩・キャンヴァス	33.3×45.5	株式会社マルベリィ蔵
14	ドン・キホーテのカラベラ	1976	油彩・キャンヴァス	50.0×60.6	個人蔵
15	化粧したカラベラ	1976	水彩・紙	20.5×29.5	作家蔵
16	Los Enmascarados (仮面達)	1976	油彩・キャンヴァス	80.3×100.0	個人蔵
17	Las Reinas de Cuetzalan(クエツァランの女王達)	1976	油彩・キャンヴァス	80.3×100.0	個人蔵
18	化粧したカラベラ	1976	油彩・キャンヴァス	53.0×45.5	個人蔵
19	Mi Novia (私の恋人)	1976	油彩・キャンヴァス	110.7×90.9	個人蔵
20	Adiós (さようなら)	1976	油彩・キャンヴァス	53.0×45.5	個人蔵
21	サン・ミゲール・アリエンデのカラベラ天使	1977	油彩・キャンヴァス	130.3×162.1	作家蔵
※22	Las Hermanas (姉妹たち)	1978	油彩・キャンヴァス	45.5×37.9	作家蔵
23	セニョールMの肖像	1978	油彩・キャンヴァス	162.1×130.3	アートギャラリー環蔵
24	セニョリータXの肖像	1979	油彩・キャンヴァス	162.2×130.4	いわき市立美術館蔵
25	ブッダの顔	1979	水彩・紙	33.0×22.0	作家蔵
26	インドにて	1979	水彩・紙	31.0×23.0	作家蔵
27	神の目	1979	油彩・キャンヴァス	91.0×116.7	個人蔵
28	晴れた日、インドの女は大空に座す	1980	油彩・キャンヴァス	60.6×50.0	井坂勝彦氏蔵
29	飛行機雲が見えた午後、象使いは大空にいた	1980	油彩・キャンヴァス	162.1×130.3	いわき市立美術館蔵
30	赤い魚が飛んだ日、私はインド人になった	1980	油彩・キャンヴァス	100.0×100.0	個人蔵
31	アトトニルコの村	1984	油彩・キャンヴァス	50.0×60.0	個人蔵
※32	サン・ミゲール	1981	水彩・紙	23.0×32.0	作家蔵
33	アカブルコの目覚め	1982	鉛筆、水彩、コラージュ・紙	18.1×25.9	作家蔵
※34	革命への道	1983	油彩・キャンヴァス		東日本大震災で流失
35	その時、私はメヒコ中央高原に立つM夫人になっていた	1983	油彩・キャンヴァス	62.1×112.1	いわき市立美術館蔵
36	革命家のいた町	1983	油彩・キャンヴァス	130.3×97.0	個人蔵
37	ガレアナ	1984	水彩・紙	28.0×39.0	作家蔵
38	スイカのピラミッド	1984	油彩・キャンヴァス	72.8×53.0	個人蔵
39	革命家の母	1985	油彩・キャンヴァス	162.1×112.1	草野潔氏蔵
40	中央高原のM夫人	1985	油彩・キャンヴァス	162.1×112.1	いわき市立美術館蔵
41	ある午後M夫人はガレアナになった	1985	油彩・キャンヴァス	53.0×65.2	個人蔵
42	スイカ風景—サバクにて	1986	油彩・キャンヴァス	181.8×227.3	作家蔵
43	スイカ	1987	油彩、アクリル・金屏風	181.5×181.5	作家蔵
44	セニョーラMの肖像	1987	油彩・キャンヴァス	145.5×97.0	個人蔵
45	砂漠の花	1989	油彩、金箔・キャンヴァス	91.0×116.7	個人蔵
46	グレロの丘で私はガレアナになった	1989	油彩・キャンヴァス	112.1×162.1	平第一小学校蔵
47	乾し上がった湖底で私はガレアナになった	1990	油彩・キャンヴァス	100.0×72.7	作家蔵

No.	タイトル	制作年	画材	寸法 (cm)	所蔵
48	緋の国へ亡命した M 夫人	1990	油彩・キャンヴァス	112.1 × 162.1	岡田電気産業(株)蔵
49	革命家の住んだ家	1990	油彩・キャンヴァス	80.3 × 116.7	岡田電気産業(株)蔵
50	ある革命家が洗礼を受けた教会	1990	油彩・キャンヴァス	34.5 × 87.5	仏蘭西遊膳まつうら蔵
51	乾し上がった湖底にて	1991	油彩、アクリル、金箔・キャンヴァス	87.5 × 177.5	作家蔵
52	乾し上がった湖底にて	1991	油彩・キャンヴァス	90.5 × 177.0	葉田野孝氏蔵
53	ケレタロへの道	1991	油彩・キャンヴァス	90.5 × 177.0	個人蔵
54	乾し上がったチャバラ湖のM夫人	1992	油彩・キャンヴァス	80.3 × 116.7	作家蔵
55	白い国から来た M 夫人	1992	油彩、アクリル、金箔・キャンヴァス	169.0 × 87.0	作家蔵
56	白いM夫人	1992	油彩、アクリル、金箔・キャンヴァス	92.2 × 67.2	作家蔵
57	白い国から来た M 夫人	1992	油彩、アクリル、金箔・キャンヴァス	169.0 × 87.0	作家蔵
58	緋の国から来た M 夫人	1992	油彩、キャンヴァス	130.3 × 162.1	作家蔵
59	白い国から来た男	1992	油彩、金箔・合板	53.0 × 45.5	個人蔵
60	白い国から来た男	1992	油彩、金箔・合板	53.0 × 45.5	作家蔵
61	白い国から来た男	1992	油彩、金箔・合板	53.0 × 45.5	作家蔵
62	白い国から来た男	1992	油彩、金箔・合板	53.0 × 45.5	広田次男氏蔵
63	44才の自画像	1992	油彩、アクリル、金箔・合板	53.0 × 45.5	個人蔵
64	白い国から来た男	1992	油彩、金箔・合板	53.0 × 45.5	吉田泉氏蔵
65	白い国から来た男	1992	油彩、金箔・合板	53.0 × 45.5	個人蔵
66	白い国から来た男	1992	油彩、金箔・合板	53.0 × 45.5	作家蔵
67	緋の国から来た M 夫人 (B)	1992	油彩・キャンヴァス	130.3 × 162.1	泉電設(株)蔵
68	白い M 夫人	1992	油彩、アクリル、金箔・キャンヴァス	92.2 × 67.2	個人蔵
※69	スイカ・ピラミッド	1992	油彩・キャンヴァス	34.7 × 87.3	個人蔵
70	ガレアナ	1992	水彩・紙	60.0 × 78.0	平第二小学校蔵
71	ある革命家が結婚式をあげた教会	1992	油彩・キャンヴァス	34.7 × 87.3	個人蔵
72	高野にて	1992	水彩・紙	53.0 × 45.5	作家蔵
73	アボリジニアの国	1993	水彩、枯葉、木片、オーストラリアの 小石・ボード	21.0 × 33.0	作家蔵
※74	夏井川溪谷	1993	水彩・紙	20.5 × 33.5	作家蔵
※75	緋の国から亡命してきたM夫人	1994	油彩・キャンヴァス	130.3 × 193.9	作家蔵
76	T 夫人の肖像	1994	油彩・キャンヴァス	130.3 × 97.0	個人蔵
77	乾し上がった湖底のスイカ・ピラミッド	1995	油彩・キャンヴァス	90.9 × 110.7	作家蔵
78	動物たちのカーニバル	1996	油彩、アクリル、金箔・キャンヴァス	169.0 × 87.0	作家蔵
79	動物たちのカーニバル (全13点)	1995	ミクストメディア、金箔・ボード		個人蔵
80	ゲレロの丘の暑い午後	1995	油彩・キャンヴァス	181.8 × 227.3	作家蔵
81	土偶たち	1995	金地ミクストメディア・合板	18.0 × 90.5	秋葉栄三氏蔵
82	父の昇天	1996	ミクストメディア・合板	91.5 × 182.0	作家蔵
83	M 夫人の肖像	1996	油彩・合板	60.6 × 50.0	大塚昌一氏蔵
84	6659 頭目のパパール	1996	ミクストメディア、金箔・合板	97.0 × 72.0	吉田泉氏蔵
85	動物たちのカーニバル (サンサーンス作曲) より	1997	ミクストメディア、金箔・合板	91.5 × 182.5	作家蔵
86	緋の国の花	1997	ミクストメディア、金箔・合板	90.9 × 116.7	高木道夫氏蔵
87	80歳の誕生日の自画像	1998	ミクストメディア、金箔・合板	91.0 × 72.8	個人蔵
88	深海で哲学するサカナ	1998	ミクストメディア、金箔・合板	72.8 × 91.0	熊谷繁治氏蔵
89	深海で哲学するものたちの誕生	2001	ミクストメディア、金箔・合板	91.5 × 182.5	作家蔵
90	深海で哲学するサカナの誕生	2001	ミクストメディア、金箔・合板	91.5 × 162.0	作家蔵
91	緋の国から来た N 夫人の肖像	2001	油彩・キャンヴァス	94.0 × 165.0	野崎裕康氏蔵
92	私は哲学する深海魚の生みの親	2002	金地ミクストメディア・合板	91.5 × 162.0	作家蔵
93	椿	2002	金地ミクストメディア・合板	43.5 × 51.0	個人蔵
94	タイでのスケッチ (1/8)	2002	アクリル、金箔・タイ紙	11.0 × 17.0	作家蔵

No.	タイトル	制作年	画材	寸法 (cm)	所蔵
95	タイでのスケッチ (5 / 8)	2002	アクリル、金箔・合板	13.5 × 13.5	作家蔵
96	タイでのスケッチ (8 / 8)	2002	アクリル、金箔・合板	21.5 × 15.5	作家蔵
97	緋の国から来た S 夫人	2003	油彩、アクリル、金箔・合板	91.0 × 65.2	医療法人仁誠会蔵
98	緋の国から来たナオミ	2003	ミクストメディア、金箔・合板	72.8 × 91.0	個人蔵
99	緋の国	2003	ミクストメディア、金箔・合板	91.5 × 145.5	吉田泉氏蔵
100	くすみ割り人形シリーズ	2004	アクリル、金銀箔・ボード	23.0 × 17.0	作家蔵
101	墨国・サン・ミゲールの M 夫人	2004	油彩・キャンヴァス	91.5 × 162.0	作家蔵
102	サン・ミゲール・アリエンデの花	2004	金地に油彩・合板	53.0 × 65.2	働いわきエイジェンシー蔵
103	緋の国の花	2005	ミクストメディア、金箔・合板	91.5 × 162.0	作家蔵
※ 104	版画のある風景 No. 13	2006	ミクストメディア、版画、金箔・合板	73.0 × 91.5	作家蔵
105	緋の国から	2006	水彩・紙	24.5 × 32.5	作家蔵
106	いわき市から (中之作港)	2006	水彩・紙	21.0 × 27.0	作家蔵
107	いわき市から (照島)	2006	水彩・紙	18.5 × 28.0	作家蔵
108	湯ノ岳	1991	水彩・紙	12.0 × 35.0	作家蔵
109	緋の国の花	2006	油彩、アクリル、金箔・合板	12.0 × 35.0	働菅本石材店蔵
※ 110	四天王シリーズ「多聞天」	2007	油彩、アクリル、金銀箔・合板	68.0 × 27.0	作家蔵
111	緋の国のワット (寺院)	2007	ミクストメディア、金箔・合板	91.5 × 162.0	作家蔵
112	スイカとガレアナの風景 No. 2	2008	ミクストメディア、金銀箔・合板	91.5 × 162.0	作家蔵
113	カラベラ天使	2008	金地ミクストメディア・合板	45.0 × 51.5	株式会社マルベリィ蔵
114	スイカと緋の国の花	2008	金銀箔ミクストメディア・合板	72.7 × 90.9	江東微生物研究所
115	聖カラベラ夫人の肖像	2009	金地ミクストメディア・合板	73.5 × 91.5	作家蔵
116	M 氏のドラゴン	2009	金地ミクストメディア・合板	91.5 × 162.0	作家蔵
※ 117	聖人・カラベラの肖像	2009	金地ミクストメディア・合板	91.5 × 162.0	作家蔵
118	聖・カラベラ夫人の肖像	2009	金地ミクストメディア・合板	45.5 × 38.0	作家蔵
※ 119	パプアの聖人	2010	金箔ミクストメディア・ボード	22.0 × 15.0	作家蔵
※ 120	パプアの聖人	2010	金箔ミクストメディア・ボード	22.0 × 15.0	作家蔵
121	パプアの聖人	2010	金地ミクストメディア・合板	162.0 × 91.5	作家蔵
122	パプアの聖人の悩み	2010	金地ミクストメディア・合板	72.7 × 90.9	作家蔵
123	パプアの聖人になった自画像から抜け出した私	2010	金地ミクストメディア・合板	91.5 × 162.0	作家蔵
124	金星が月に近づいたとき、パプアの聖人になった私から抜け出した北の神・玄武	2010	金地ミクストメディア、金銀箔・合板	162.0 × 91.5	作家蔵
125	パプアの聖人になった自画像から抜け出してゆく私とあなた	2011	金地ミクストメディア、金銀箔・合板	91.5 × 162.0	作家蔵
126	海よ	2011	金銀地ミクストメディア・合板	48.5 × 60.0	作家蔵
127	鳳凰は翔ぶ万年の春	2011	合板・金地ミクストメディア	48.5 × 60.0	個人蔵
128	海よ	2012	金銀地ミクストメディア・合板	91.5 × 162.0	作家蔵
129	深海魚の怒り	2012	金地ミクストメディア・合板	72.8 × 91.0	脇沢利光氏蔵
130	献花	2013	金銀地ミクストメディア・合板	91.5 × 162.0	作家蔵
131	シーサー	2014	金銀地ミクストメディア・合板	80.0 × 98.0	作家蔵
132	パプアの聖人	2014	金銀地ミクストメディア・合板	91.5 × 162.0	作家蔵
133	深海魚の怒り	2014	金地ミクストメディア・合板	50.0 × 60.6	橋本医院蔵
134	封印を解く錬金術師	2015	金銀地ミクストメディア・合板	53.5 × 60.0	作家蔵
135	封印を解く錬金術師	2015	金銀地ミクストメディア・合板	73.0 × 91.0	作家蔵
136	封印を解く錬金術師	2015	金銀地ミクストメディア・合板	182.0 × 162.0	作家蔵
137	千年の沈黙	2016	金銀地ミクストメディア・合板	99.0 × 81.0	作家蔵
138	千年の沈黙	2016	金銀地ミクストメディア・合板	183.5 × 162.0	作家蔵
139	髑髏裏眼睛	2017	金銀地ミクストメディア・合板	182.0 × 162.0	作家蔵
140	サボテンの花	2017	金地ミクストメディア・合板	直径 27.0	作家蔵

No.	タイトル	制作年	画材	寸法 (cm)	所蔵
141	サボテンの花	2017	金地ミクストメディア・合板	直径 27.0	作家蔵
142	交差する月・転生の赤い夜	2018	金地ミクストメディア・合板	182.0×162.0	作家蔵
版画・デッサン					
143	Yo tengo, también, mi calavera	1975	リトグラフ・紙	21.6×28.0	作家蔵
144	Calavera Japonesa	1975	リトグラフ・紙	21.0×31.0	作家蔵
145	スードデッサン	1975	紙・鉛筆・チョーク	22.0×33.0	作家蔵
146	スードデッサン	1975	紙・コンテ・チョーク	25.0×27.0	作家蔵
147	スードデッサン (男)	1985	紙・水墨	33.0×48.0	作家蔵
148	ゲレロの丘の花	1993	シルクスクリーン・紙	45.5×38.5	作家蔵
149	M夫人の魚	1995	シルクスクリーン・紙	23.0×38.0	作家蔵
150	ターバンの男	2002	エッチング・紙	25.0×18.0	作家蔵
151	カイバル峠近くの村	2002	エッチング・紙	20.0×29.5	作家蔵
立体・陶芸・書と文字絵等					
152	スイカのピラミッド	1990	油彩、アクリル、金箔・合板	39.5×39.5	作家蔵
153	ARITA インディオ	1990	有田焼	直径 28.0	作家蔵
154	ARITA インディオ	1990	染錦金彩 (有田焼)	直径 28.0	作家蔵
155	ARITA ヒトデ	1990	染錦金彩 (有田焼)	直径 28.0	作家蔵
156	ARITA ティーセット (3点組)	1990	染錦金彩 (有田焼)		作家蔵
157	ミレニアムの樹 (ハッピートッリー)	2000	アクリル・木	65.0×60.2	作家蔵
158	二つのピラミッド	2006	黄金背景テンペラ・合板	19.2×19.2×16.0	作家蔵
159	カラベラへの箱	2010	黄金背景ミクストメディア・合板	12.0×18.0×11.0	作家蔵
160	天真爛漫	2006	墨・板	171.0×40.0	個人蔵
161	トンパ文字と峰丘 合字	2013	金銀地ミクストメディア・板	80.0×40.0	個人蔵
162	トンパ文字「いつまでも一緒にいようぜ」	2016	金地、アクリル・板	15.0×92.9	宗像悠太氏蔵
163	文字絵 — super moon	2016	墨、金地・板	33.0×69.0	作家蔵
番外出品作品					
	花	1970	油彩・キャンヴァス	22.1×15.5	作家蔵
	ラバウル土産	1970	油彩・キャンヴァス	26.8×22.8	作家蔵
	静物	1971	油彩・キャンヴァス	45.1×37.6	作家蔵
	静物	1972	油彩・キャンヴァス	99.4×80.1	作家蔵
	祭りの日の少女	1974	油彩・キャンヴァス	53.0×45.5	作家蔵
	雨山森川海	1993	墨・板	171.0×41.9	作家蔵
	スイカの中のカラベラへの旅	1989	金箔、油彩・キャンバス	37.5×112.5	個人蔵
	白い国	1992	油彩、金箔・合板	53.0×45.5	個人蔵
	動物たちのカーニバル ラバのよっぱらい	1996	ミクストメディア、金箔・合板	90.8×65.8	作家蔵
	M氏のドラゴン	1999	ミクストメディア、金箔・合板	182.0×91.5	作家蔵
	スイカ・ピラミッド	1993	金箔、アクリル・合板	69.0×69.0×180.5	作家蔵
	版画のある風景 No. 12	2006	版画、金箔、ミクストメディア・合板	91.5×162.0	作家蔵
	極楽蜻蛉	2007	墨・板	133.6×43.6	作家蔵
	豪華絢爛	2008	油彩・キャンヴァス	164.9×39.5	作家蔵
	スイカとガレアナの風景 No. 1	2008	ミクストメディア、金箔・合板	91.5×162.0	作家蔵
	逝く君へ	2010	墨・板	63.7×119.1	作家蔵

平成30年度 いわき市小・中学生版画展

「いわき市小・中学生版画展」は、いわき市内の児童生徒の日ごとの活動の成果を広く市民に紹介するとともに、児童生徒が造形学習や表現行為への興味と喜びを体験する機会とすることを目的に開館以来開催を続けてきた展覧会である。

今回の版画展は、共同作品による作品募集、各校の代表作品を掲載したパンフレットの制作など、例年通りの取り組みを継続して開催したが、参加校、参加者数、出品点数ともに減少となった。学校向けのアンケートによると、学校行事や校内活動等で多忙で図工・美術の授業で版画に取り組む余裕がないという意見が多かった。出品点数、参加者数は減少したが、1点1点を大切に丁寧で見やすい展示にすることができた。また、参加した学校の先生からは、「小・中学生の作品が展示される機会があるの

は、すばらしいことなので今後も継続してほしい。」という好意的な意見が多かった。

会場配布用のパンフレットについては、「パンフレットが素晴らしい。次年度の参考になる。勉強になる。」との意見をいただき、こちらも好評であった。

会期中の催し物としては、造形作家 関口光太郎氏による わくわくアートスクール「新聞紙とガムテープで初夢をつくろう!」、版画家 小森琢己氏による実技講座「はんがでトートバッグづくり」、口笛奏者 青柳呂武氏、ピアニスト 永井秀和氏による春を祝うコンサート&パフォーマンス「春を呼ぶ!? 世界一の口笛&ピアノコンサート」、恒例のかたん! 版画 体験コーナー「スチレンスタンプとフロッタージュでオリジナルのカードをつくろう!」を開催し、どの催し物も好評を得た。

会 期 2019年1月5日(土)～1月27日(日)
 前期展示 2019年1月 5日(土)～1月14日(月)
 後期展示 2019年1月17日(木)～1月27日(日)

会 場 いわき市立美術館
 主 催 いわき市教育委員会 いわき市立美術館
 協 力 いわき市小学校教育研究会画工工作部会
 いわき市中学校教育研究会美術部会



■参加校及び出品点数

参加校	49校	小学校 中学校 特別支援諸学校	41校 4校 4校	前期展示 出品校 出品点数（全て共同作品） 出品者数	23校 109点 2,432人
出品点数	257点	小学校 中学校 特別支援諸学校	196点 11点 50点	後期展示 出品校 出品点数（全て共同作品） 出品者数	26校 148点 2,767人
参加者数	5,199人	小学校 中学校 特別支援諸学校	4,687人 292人 220人		

■参加校一覧

◆前期展示校

【小学校】

平第二小学校
平第四小学校
中央台南小学校
夏井小学校
大浦小学校
大野第一小学校
川前小学校
綴小学校
好間第一小学校
好間第四小学校
小名浜第二小学校
小名浜西小学校
永崎小学校
泉北小学校
渡辺小学校
湯本第三小学校
磐崎小学校
植田小学校
錦東小学校
川部小学校
入遠野小学校

【特別支援教育諸学校】

聴覚支援学校平校
富岡支援学校

◆後期展示校

【小学校】

平第一小学校
平第五小学校
中央台東小学校
豊間小学校
草野小学校
四倉小学校
久之浜第二小学校
桶売小学校
小白井小学校
内町小学校
小名浜第一小学校
小名浜東小学校
鹿島小学校
泉小学校
湯本第一小学校
湯本第二小学校
汐見が丘小学校
錦小学校
上遠野小学校
いわき秀英小学校

【中学校】

平第二中学校
藤間中学校
泉中学校
磐崎中学校

【特別支援教育諸学校】

平支援学校
いわき支援学校



大久保草子展

—始まりの森—

NEW ART SCENE IN IWAKI（ニューアートシーン・イン・いわき）は、いわきに関係する作家を中心に取り上げるシリーズであり、今回の大久保草子展で44回目の開催となる。

1963年東京に生まれた大久保草子は2007年にいわき市に移住。アトリエ「草楽房」を立ち上げ版画を中心とした生活の中で個展や各種展覧会、イベント等に積極的参加。2017年には三春町に転居し、さらに活動の幅を広げている。

大久保は、繊細な描線を重ねて力強く豊穡な自然界の様相を画面を創りだす木版画家である。大久保特有の素朴なモノクロームの画面の中では、小さな動物や植物が主役となり神話にも似た懐かしい物語を奏で、現代人が忘れていた（忘れてはならない）真実を顕わにする。

小さな窓で仕切られた木版画を創作の主な舞台としてきた大久保であるが、本展に向けて制作した《海への道》は、2.71m×1.91m（9枚組）という大作となった。そのサイズのみならず、三春からいわきへと連なる豊かな自然の大パノラマを1枚の版木で表現し、それを9枚の版で循環させることで大画面を構成するという実験的な作品とした。

展覧会に先立ち新作《海への道》を一部公開で制作し、また会期中には大久保が挿絵を手がけた『ないものがある世界』（水声社2018）の著者今福龍太（文化人類学者）とのトーク、ちいさな版画の楽しみを体験する実技講座など、大久保草子の表現を多角的に紹介する催しを開催し好評を得た。



会期 2018年9月8日（土）～10月21日（日）
 会場 いわき市立美術館 1階ロビー
 主催 いわき市立美術館

●出品リスト

凡例：《作品名》サイズ（サイズは額サイズとし、それぞれ次の通り。（単位mm）
 大判 850×660、全紙 727×545、半切 545×424、四つ切 424×394、
 太子 378×288、八つ切 303×242、インチ 203×254

No.	作品名	サイズ	No.	作品名	サイズ
1	山と野の間	半切	48	テッペン島の棲む森	全紙
2	蝶の楽園	八つ切り	49	お祭りへ行こう	全紙
3	二人の自分	半切	50	凧をあげよう	半切
4	オーロラ渡り（小）	半切	51	風を送る	半切
5	猫道	半切	52	遊びに来た	四つ切
6	嵐の前	半切	53	農園の猫	半切
7	白い風に乗って	半切	54	山の夜	全紙
8	渦に巻かれよう	全紙	55	野の牛	全紙
9	ナチュラル・ミスティック・パス	四つ切	56	街を飛び越す	全紙
10	モンキーテンプルへの道	太子	57	酒祭り	全紙
11	森の中へ	四つ切	58	山奥の花	インチ
12	裏庭	半切	59	螺旋草	インチ
13	丸猫	インチ	60	うさぎ	半切
14	そして空を駆けよう 太子	太子	61	心の坑に吹く風	全紙
15	若いシカ	インチ	62	音楽家の日々	四つ切
16	心に咲く花	太子	63	ユニコーンの木	四つ切
17	そとねこ	インチ	64	馬	太子
18	道	半切	65	夜明けの野良	半切
19	絡まった猫	八つ切	66	ギター狂	インチ
20	インドの親切な木	半切	67	ローソク	インチ
21	月夜風	四つ切	68	酒のみウサギ	インチ
22	渦全紙	全紙	69	五月のエンドウ	インチ
23	芸術家の家	全紙	70	野原の小鳥	
24	花を作る人	全紙	71	山鳥	インチ
25	白い木	インチ	72	小さな草むら	インチ
26	海月曼荼羅	インチ	73	月のゆりかご	インチ
27	夏のはじめ	インチ	74	タンポポ	インチ
28	鳥	インチ	75	種	インチ
29	霜のキリン	インチ	76	収穫	インチ
30	水やりウサギ	インチ	77	日月曼荼羅	半切
31	水晶の花	インチ	78	玉で遊ぶ犬	太子
32	のび猫	インチ	79	まつぼっくり	インチ
33	カモシカの山	インチ	80	夢（箱）	四つ切
34	眠る犬	インチ	81	時間について	太子
35	花と鳥	インチ	82	野原にて	インチ
36	ランナー	インチ	83	冬の猫	インチ
37	ひつじ	インチ	84	透明な花瓶	太子
38	のら	インチ	85	トンネルを抜けて	半切
39	とかげの国	インチ	86	人	太子
40	ユニコーン	インチ	87	氷の家	太子
41	つばめ	インチ	88	山の上の声	
42	睡蓮の池	インチ	89	山で花を見つける	半切
43	野のうさぎ	インチ	90	月への道	八つ切
44	カラス	インチ	91	植木鉢に座る猫	四つ切
45	人魚	インチ	92	めからめはなにはな	八つ切
46	山羊草	インチ	93	新月の音	半切
47	ウサギの夜	全紙	94	雨	太子

No.	作品名	サイズ	No.	作品名	サイズ
95	出会う	半切	142	爪をとぐ猫	四つ切
96	いつも来る道	太子	143	綿毛	インチ
97	小さな職場の仕事	半切	144	コロコロ	太子
98	空へ	八つ切	145	クルクル	太子
99	雲	四つ切	146	土の中	半切
100	山犬	半切	147	森の生活	四つ切
101	風の木	全紙	148	手	半切
102	水牛童子	全紙	149	タネマキー	四つ切
103	星の夜	八つ切	150	森の馬	半切
104	水をまく	八つ切	151	湖の乙女とホタル	半切
105	家へ帰る	インチ	152	あそべやうさぎ	八つ切
106	森の風	四つ切	153	ブリーの森	四つ切
107	見つけました	四つ切	154	ムササビ	インチ
108	麦を育てた日	半切	155	雷鳥	インチ
109	夜の絵本	インチ	156	カモシカ	インチ
110	霜の季節	インチ	157	さる兄弟	インチ
111	冬ごもり	インチ	158	休憩	インチ
112	雲海	インチ	159	海への道 (モノクロ)	特大
113	座り場	インチ	160	件 (くだん)	半切
114	子供の朝	インチ	161	もりのいぬ	インチ
115	雲の上	インチ	162	船が来た	半切
116	光る石	インチ	163	夜明け	四つ切
117	白いシカ	インチ	164	海!	四つ切
118	秋のねこ	インチ	165	・・・	全紙
119	赤い鳥	半切	166	ひょうたんから牛	インチ
120	秘密の湖	半切	167	夜明けのジュータン	半切
121	花の人	半切	168	水中ガーデニング	四つ切
122	庭のすみ	インチ (カラー)	169	土と空	太子
123	外へ	インチ	170	山の家	インチ
124	海の中	インチ	171	手の船	インチ
125	出かける	インチ (カラー)	172	海への道 (連続、カラー)	特大×9枚
126	カッコウアザミの冬	太子 (カラー)	173	始まりの予感	四つ切
127	蔓草もよう	四つ切 (カラー)	174	ワタツミの魂	四つ切
128	朝	太子 (カラー)	175	祖霊の森	四つ切
129	待つぼっこり	全紙	176	師匠の竖琴に送られ生命の世界へ!	四つ切
130	蔓草もよう	四つ切	177	ユンカイの世界へようこそ	四つ切
131	くまとからす	半切	178	回転草の後を追って白い砂漠を	四つ切
132	水を飲むガラス	四つ切	179	泉と川	四つ切
133	古事記	特大	180	水が石笥の上にヒラリと	四つ切
134	日蝕とスズメ	四つ切	181	はじまりの樹へ	四つ切
135	山里にて	半切	182	世界に隠されながら確かに息をしているもの	四つ切
136	キノコ界	四つ切	183	海は全ての川の茂み	四つ切
137	冬ごもりと四季	全紙	184	海風山風	半切
138	けもの夜	半切			
139	砂漠の花	全紙			
140	太古	全紙			
141	花の木	半切			

第48回いわき市民美術展覧会

会期 書の部
2019年2月8日(金)～2月17日(日)
絵画・彫塑の部
2019年2月22日(金)～3月3日(日)
陶芸の部
2019年3月8日(金)～3月17日(日)
写真の部
2019年3月8日(金)～3月17日(日)

会場 いわき市立美術館

主催 いわき市民美術展覧会運営委員会
いわき市教育委員会
いわき市文化協会
いわき市立美術館

後援 財福島県報徳社 福島民報社 福島民友新聞社
いわき民報社 NHK福島放送局 ラジオ福島
福島テレビ 福島中央テレビ 福島放送
テレビユー福島 いわき市民コミュニティ放送

協力 いわき美術協会 いわき陶芸協会
いわき書道協会 いわきアート集団
いわき写真協会

審査員 書の部 遠藤昌弘(書家)
絵画・彫塑の部 秋元雄史
(東京藝術大学大学美術館館長・教授、
練馬区立美術館館長)
陶芸の部 井口雅代(陶芸家)
写真の部 三好和義(写真家)

●書の部
一般応募 91点(内、青少年4点)
展示点数 115点
(招待23点、審査員特別出品1点、一般91点)

●絵画・彫塑の部
一般応募 193点(内、青少年24点)
展示点数 206点(招待13点、一般193点)

●陶芸の部
一般応募 117点(内、青少年22点)
展示点数 129点(招待12点、一般117点)

●写真の部
一般応募 180点(内、青少年11点)
展示点数 182点(招待2点、一般180点)

以上が、第48回いわき市民美術展覧会(市美展)の応募・展示状況である。

書の部では、応募点数が昨年に比べ19点減であり、近年の減少傾向に加速度がついているようである。この状況を鑑み若年層の書道への関心を呼び起こすことを目的の一つに「高校生による書道パフォーマンス」を初めて開催し、好評を得た。絵画・彫塑の部では、応募点数はここ数年来横ばい状態であるが、88歳の市長賞受賞に対し教育長受賞者が21歳であったことが象徴する当市美展の年齢層の厚さが話題となった。陶芸の部では、出品者数が9点増加した。微増ではあるが、これを機に近年の減少傾向に歯止めがかかり、改善されることを期待したい。写真の部では、応募点数が昨年と同数でありここ数年来、安定して180点から200点で推移している。部会において、いわゆる「二重応募作品」、「類似作品」の出品が問題として提議され、来年度の募集要項の変更に向けて議論が重ねられた。

例年のことながら、各部門に共通した課題は部会員や出品者の高齢化である。50回という節目を「次なる50年を考える」機会とすべく、各部門による課題解決の検討が待たれる。



書の部 入賞者

賞名	作品名	作家名	住所（大字まで公開）
いわき市長賞	臨虎溪山前漢簡	佐藤 景苑	いわき市平
いわき市議会議長賞	鶯	臺 麗子	いわき市遠野町滝
いわき市教育委員会教育長賞	李白詩	片寄 光月	いわき市平
《佳作》			
いわき市文化協会会長賞	杜甫詩	金成 大雅	いわき市中央台
福島県報徳社賞	杜甫詩	吉村 翠苑	いわき市平
福島県報徳社賞	呉昌碩詩	新妻 心葉	いわき市郷ヶ丘
美術館友の会賞	戦国策	馬上 溪花	いわき市平中山
有限会社トーカイ賞	李青蓮詩	大平 峰生	いわき市佐藤町
遠藤一心堂賞	陸游詩	菜花 琴雪	いわき市四倉町
〃	みよし野は	小林きみ子	いわき市平沼ノ内
株式会社坂本紙店賞	袁凱詩	伊藤 松茄	いわき市平赤井
有限会社磐植賞	錢起詩	田中 京華	いわき市小名浜
キョー和賞	雲	西 恵美子	いわき市四倉町
書優会賞	百人一首	村上 春香	いわき市常磐関船町
株式会社風雅プランニング賞	龍吟虎嘯滑疑之耀	春日 賢治	いわき市内郷高坂町
〃	陶盡門前	根内 千寿	いわき市好間町下好間
《特別賞》			
青少年賞（西田アトリエ賞）	臨雁塔聖教序	井上 桃華	いわき市平下荒川

※青少年賞は、若手育成を目的とした賞で、20歳未満の出品者を対象とする。

絵画・彫塑の部 入賞者

賞名	作品名	作家名	住所（大字まで公開）	部門
いわき市長賞	平和への飛翔	神保 隆三郎	いわき市平	彫塑
いわき市議会議長賞	波動	中塚 將太	いわき市常磐上湯長谷町	絵画
いわき市教育委員会教育長賞	標本箱シリーズ「入院生活・チューブのある風景」	高木 武廣	いわき市小名浜	絵画
《佳作》				
いわき市文化協会会長賞	輝きたい	根本 佳奈	いわき市鹿島町御代	絵画
福島県報徳社賞	"I Love LuLu"	Hashime Kinoshita	いわき市四倉町	絵画
〃	雨あがり	佐藤 吉尚	いわき市小名浜住吉	彫塑
〃	雨滴	藤於 環	いわき市常磐上湯長谷町	絵画
美術館友の会賞	シン・カンノン	善ノ二郎	いわき市平	絵画
有限会社トーカイ賞	巨木の前のおばあさんとこしかけの王様	芦野 雄大	いわき市内郷綴町	絵画
株式会社箱崎美術広告社賞	祈り・りんねてんしょう	江尻 敏昭	いわき市郷ヶ丘	絵画
椿屋賞	脱出	四家 友幸	いわき市中央台	彫塑
昭文堂賞	●●●	鈴 忠壽	いわき市鹿島町走熊	絵画
〃	春雷	廣木 賢一	いわき市平南白土	絵画
画廊喫茶モナミ賞	分水霊 2020	吉田 重信	いわき市好間北好間	絵画
ギャラリー磐城賞	フラダンス奉納	伊藤 弘子	いわき市平北白土	絵画
アトスペース泉賞	森の精霊—晩秋—	矢部 和子	いわき市江名	絵画
アトスペース エリコーナ賞	SPIRITUAL	古川 美雪	いわき市平	絵画
《特別賞》				
青少年（ギャラリーわづくりや）賞	5:30の朝焼け	米山 夏生	いわき市内郷綴町	絵画
青少年奨励（X）賞	波動	中塚 將太	いわき市常磐上湯長谷町	絵画

※青少年賞は、若手育成を目的とした賞で、20歳未満の出品者を対象とする。

※青少年奨励（X）賞は、美術を志す青少年育成のため、25歳以下の上位受賞者を対象にダブル授与される。

陶芸の部 入賞者

賞名	作品名	作家名	住所（大字まで公開）
いわき市長賞	睡蓮日和	伊藤由季子	いわき市小名浜上神白
いわき市議会議長賞	彩 2019	萩野イチ子	いわき市泉町
いわき市教育委員会教育長賞	金彩花器	佐藤 淑子	いわき市泉ヶ丘
《佳作》			
いわき市文化協会会長賞	回帰	佐藤 界	いわき市明治団地
福島県報徳社賞	紫陽花	橋本 栄子	いわき市内郷御厩町
美術館友の会賞	春雷	芳賀 明美	いわき市中央台
M氏賞（いわき陶芸協会）	透器	青木 有紀	いわき市平
ギャラリー界限賞	練り込み アンテロープの朝霧	蕪木 良子	いわき市平北白土
ギャラリー磐城賞	カップ	吉田 充	いわき市中央台
アートスペース泉賞	彩	草野 彩華	いわき市内郷内町
《特別賞》			
青少年賞 学校法人山崎学園賞	ごくごく椀	宇羽野 柚	いわき市平
青少年賞 東日本国際大学附属昌平中学・高等学校賞	竜人杯	佐藤 知輝	いわき市内郷高坂町

※青少年賞は、若手育成を目的とした賞で、20歳未満の出品者を対象とする。

写真の部 入賞者

賞名	作品名	作家名	住所（大字まで公開）
いわき市長賞	人馬一体	遠藤 文夫	いわき市平下神谷
いわき市議会議長賞	朝焼の五月田	江尻 利一	いわき市泉玉露
いわき市教育委員会教育長賞	冬歩	田代 雅一	いわき市勿来町
《佳作》			
いわき商工会議所会頭賞	鷹匠	湯田 由美	いわき市平
いわき市文化協会会長賞	雲海に沈む磐梯山	新谷 孝明	いわき市平
福島県報徳社賞	冒険者たち	吉田 暁欧	いわき市平下神谷
美術館友の会賞	波濤と競う（平豊間海岸）	増井 俊一	いわき市平
社団法人 いわき観光まちづくりビューロー賞	願い桜	田名部貞雄	いわき市石森
〃	星空へ架かる橋	小野 優	北茨城市大津町
福島県写真館協会いわき支部賞	流麗	高山 文雄	いわき市平
昭文堂賞	希望への陽	岡 光明	いわき市錦町
東日本国際大学賞	春の予感	鳥海陽太郎	いわき市平
YK写真工房賞	まごの手	佐藤 義道	いわき市常磐上湯長谷町
小百合賞（有）磐植	出発！	葛原 博昭	いわき市中央台
カメラの矢吹賞	真冬のクリスタル	渡辺 久良	いわき市小浜町
いわき写真協会賞	童心の祈り	大竹 哲弥	いわき市平赤井
イタリアンレストラン テラツツァ賞	君の笑顔	菅波 雪乃	いわき市平下大越
源太賞	お手前	吉川 俊紀	いわき市平下平窪
源太賞	米寿のよろこび	舛井美智子	いわき市平谷川瀬
だいこん家賞	光つつむ初日	山本 敏和	いわき市平上荒川
ミモザギャラリー賞	昇陽幽玄	黒澤 泰弘	いわき市平下平窪

アートを活用し、活気と潤いのある日常環境を提案するアウトリーチ事業。年齢を問わず、気軽楽しめるワークショップやセミナー・プログラムを持参し、希望者の集う市内施設を巡る。色彩体験、工作、美術鑑賞、発声や発音に焦点を当てた音声学講座など11種のプログラムを準備して希望者を募り、全38回931人の参加者を得た。

開催日	講師	会場(参加団体)	講座名(内容)
4月18日	当館学芸員	いわき海浜自然の家(日本語交流タイ青少年日本語研修)	切り絵・切り紙の楽しい世界
6月6日	当館学芸員	下三坂集会所(下三坂サロン)	ハサミを用いて幅広い年代が楽しめるアイヌ文様切り紙を紹介。基礎から応用まで、参加者の理解度に合わせてレベルを変え飽きの来ない体験を提供。
8月23日	当館学芸員	下永井集会所(下永井サロン)	
9月26日	当館学芸員	勿来公民館(勿来高齢者学級)	
10月16日	当館学芸員	合戸集会所(合戸サロン)	
展覧会を10倍楽しむ方法一			
企画展ごとに展覧会担当がその展覧会の見どころや楽しみ方、関連事業などについて紹介。			
5月1日	当館学芸員	磐城学芸専門学校(コミックアート科)	「エリック・カール展」
5月15日	当館学芸員	セミナー室(飯野公民館市民講座)	
5月22日	当館学芸員	磐崎公民館(磐崎小学校図書ボランティア)	
6月26日	当館学芸員	セミナー室(飯野公民館市民講座)	「追悼特別展 高倉健」
8月28日	当館学芸員	セミナー室(飯野公民館市民講座)	「美術館に行こう! ティック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方」
10月2日	当館学芸員	セミナー室(飯野公民館市民講座)	「写真家がとらえた 昭和のこども」
10月3日	当館学芸員	企画展示室(中央公民館ことぶき文化学園)	
10月16日	当館学芸員	セミナー室(飯野公民館市民講座)	「ニューアートシーン・イン・いわき 大久保草子展」
11月29日	峰丘(画家)	企画展示室(飯野公民館市民講座)	「峰丘展」
6月12日	当館学芸員	錦公民館(教養セミナー)	岩絵具で遊んじゃおう
9月8日	当館学芸員	飯野公民館(キラキラ探検隊)	顔彩や岩絵具など、日本画用の絵の具を使ったぬりえ体験。未就学児から高齢者までだれでも気軽にチャレンジできる。
11月8日	当館学芸員	草野公民館(市民セミナー)	
6月27日	森 絵留	白水のぞみ保育園(1~5歳児)	声とことばのワークショップ 声を出して元気力アップ!
7月26日	(盛名劇団)	青空学童保育クラブ	ことばの専門家といっしょに楽しく声を出したり、身体を動かしたり、朗読に挑戦しながら、気分も身体もリフレッシュさせるワークショップ。今年度は、音声学にも挑戦し、方言や話し方、言葉による表現法などにも興味を深めた。
7月31日	かもめ主宰)	高久児童クラブ	
9月27日		小川公民館(小川倶楽部)	
10月19日		山田公民館(レディースセミナー)	
10月30日		内郷老人福祉センター(いきいきデイクラブ)	
7月12日	山本伸樹	夏井公民館(ものづくりセミナー)	“福興だるま”に願いを込めて!
7月13日	(美術家)	山田公民館(寿大学)	福島県の復興のシンボルとして“福興だるま”の制作を続ける美術家に福島のだるまの歴史や絵付けを学びながら自分だけの“福興だるま”を作る。
7月19日		好間公民館(寿学園)	
7月25日		上三坂集会所(上三坂サロン)	
9月7日		労働福祉会館(ニュー碧空の会)	



アートキャラバン「切り絵・切り紙の楽しい世界」(いわき海浜自然の家)



アートキャラバン「岩絵具で遊んじゃおう」(飯野公民館)



アートキャラバン「声とことばのワークショップ 声を出して元気力アップ!」(内郷老人福祉センター)

開催日	講師	会場(参加団体)	講座名(内容)
8月21日	当館学芸員	青空学童保育クラブ(高学年)	豆本にチャレンジ 1辺8cm、8ページの小さな本を表紙、見返し、扉、奥付と本格的な製本スタイルで作る。
11月9日	当館学芸員	錦公民館(レディースセミナー)	
10月11日	当館学芸員	大浦公民館(教養セミナー)	世界にひとつだけのガラスアート ルーターを使ってガラスに模様を彫り込み、自分だけのガラス作品を仕上げ。型紙シールを使った簡単な方法から自分で模様を考えて描くものまで自由に体験できる。
10月17日	当館学芸員	藤原公民館(藤原幼稚園児)	
10月19日	当館学芸員	錦公民館(ものづくり講座)	
11月13日	当館学芸員	豊間公民館(豊間ゼミナール)	
11月22日	当館学芸員	小川公民館(小川倶楽部)	
10月26日	当館学芸員	総合教育センター(チャレンジホーム)	コロコロオブジェ 針金造形作家、橋寛憲(はしひろのり)氏考案のコロコロオブジェの制作方法を作家了解のもと当館学芸員が紹介。ダンボールと針金を組み合わせ、ビー玉がコロコロ転がる楽しいオブジェを作る。

普及事業 講演会

展覧会の開催に併せて、出品作品やその背景の理解を深めるために、専門の講師を招き開催。美術の分野にとらわれない多様なフィールドから導かれる鑑賞法など、聴衆の興味を喚起するよう内容・形式を工夫して実施した。

日時	講師	講座名(内容)	会場
4月15日	遠藤 望 (世田谷美術館学芸員)	青い馬とともにーエリック・カールと美術家たち エリック・カール展に併せて開催。絵本作家、そして画家としてのエリック・カールの芸術について概説。また、今回の展覧会の準備にまつわるエピソードなど、エリック・カールの現在の姿も紹介。	セミナー室
4月30日	工藤直子 (詩人、絵本作家)	ちいさな講演会 初めて会うように会いつづけるために エリック・カール展のワークショップ「ことばと音楽でつくる楽しい絵本の世界」に先駆けて、講師の工藤直子氏が詩人としての自身の半生について講演。	セミナー室
6月17日	山本哲士 (政治社会学、ホスピタリティ環境設計学)	高倉健と日本情念：60年代任侠映画の魅力 高倉健展に併せて開催。高倉健の俳優としての足跡について、資料を用いながら概説した。	セミナー室
9月8日	大久保草子 (木版画家)	大久保草子展 アーティスト・トーク ニューアートシーン・イン・いわき 大久保草子展に併せて開催。展示作品を前に作家と参加者が会話をするような形式で実施。	1階ロビー
9月15日	今福龍太 (文化人類学者)	ないものがある世界 ニューアートシーン・イン・いわき 大久保草子展に併せて開催。出品作品「ないものがある世界」シリーズの礎となった講師の著書『ないものがある世界』の世界観について、また、大久保との交流について講演。	2階ロビー
10月7日	ねじめ正一 (詩人、作家)	昭和の子 写真家がとらえた 昭和のこども展に併せて開催。家族、先生や同級生、長嶋茂雄の話などを交えながら、商店街で育った少年期と現在の自分を見つめる内容。「昭和のこども」展出品作品の表現についての考えも述べた。	セミナー室



アートキャラバン「声とことばのワークショップ 声を出して元気アップ！」(青空学童保育クラブ)



アートキャラバン「福興だるま」に願いを込めて！」(泉公民館)



アートキャラバン「福興だるま」に願いを込めて！」(夏井公民館)

普及事業 美術講座

展覧会鑑賞の一助として、また、様々な美術の情報の提供を目的として当館学芸員が講師となり随時開催。

日時	講師	講座名(内容)	会場
7月13日	館長	館長講座「プロメテウスの勝利」	
8月10日	峰丘(出品作家)、 当館学芸員	ティーチャーズ・ミュージアム 市内の幼稚園から高等学校の教職員の希望者を対象に、展覧会や普及教育など美術館の活動について紹介する。また、授業に役立つような実技として峰丘氏による金箔を使った実技講習も開催。	セミナー室
9月22日	館長	館長講座「女性版オデュッセイアー」	セミナー室
11月17日	峰丘(出品作家)、 館長	館長講座「峰丘の表現ーカラペラから黄金背景まで」	企画展示室
2月24日	館長	館長講座「戦争画にみる19世紀フランス美術」	セミナー室

普及事業 ギャラリー・トーク

作品鑑賞の一助として、常設展では毎週土曜日に定期的に、企画展では土曜日・日曜日を中心に会場内で実作を前にして解説を行った。また、団体、個人にかかわらず要望に応じて随時開催した。

日時	講師	講座名(内容)	会場
毎週土曜日 (13回)		常設展定例ギャラリー・トーク 毎週土曜日の定例事業。常設展展示作品の解説。	常設展示室
通年随時 (28回)		団体解説 要望に応じて実施。	

普及事業 ワークショップ

美術、造形に限定しない幅広い表現活動について、専門の講師を中心に参加者の自主性に多くを委ねる形で実施。「'美術館的' 自由研究のスズメ」や「収蔵作家によるワークショップ」など恒例のワークショップや企画展の内容にあわせたワークショップなど独自のプログラムを展開。

日時	講師	講座名(内容)	会場
4月21日	吉原順一 (ペーパークラフト デザイナー)	かんたん・かわいい工作の部屋～パペラであそぼう!～(午前・午後) エリック・カール展に併せて開催。講師の吉原順一氏がエリック・カールの絵本を元に考案したパペラカードを使用して行った。ペンギンやゴリラなど、おなじみの動物たちを簡単な紙工作。	2階ロビー 特設会場



ワークショップ「かんたん・かわいい工作の部屋～パペラであそぼう!～」



ワークショップ「'ことば' と '音楽' でつくる楽しい絵本の世界① ことば・ワークショップ」



ワークショップ「'ことば' と '音楽' でつくる楽しい絵本の世界② おと・ワークショップ」

日時	講師	講座名(内容)	会場
4月27日	当館スタッフ	かんたん・かわいい工作の部屋～パペラであそぼう!～(午前・午後) エリック・カール展に併せて開催。当館スタッフがリーダーとなり、吉原順一氏が考案したパペラカードを使用した工作コーナー。	2階ロビー 特設会場
4月30日～ 5月1日	工藤直子 (詩人、絵本作家)	‘ことば’と‘音楽’でつくる楽しい絵本の世界① ことば・ワークショップ エリック・カール展に併せて開催。絵本『うたがみえる きこえるよ』に「ことば」と「音楽」からアプローチし、その世界観をパフォーマンスに繋げるワークショップの初回。講師とともに、絵本のページから自分のことば(オノマトペ)を創作した。	セミナー室
5月11日	当館スタッフ	かんたん・かわいい工作の部屋～パペラであそぼう!～(午前・午後) エリック・カール展に併せて開催。美術館スタッフがリーダーとなり、吉原順一氏が考案したパペラカードを使用した工作コーナー。	2階ロビー 特設会場
5月19日～ 5月20日	片岡祐介 (音楽家)	‘ことば’と‘音楽’でつくる楽しい絵本の世界② おと・ワークショップ エリック・カール展に併せて開催。絵本『うたがみえる きこえるよ』に「ことば」と「音楽」からアプローチし、その世界観をパフォーマンスに繋げるワークショップの2回目。絵本の各ページを音で表現。	セミナー室、 1階ロビー 特設会場
5月26日	片岡祐介 (音楽家) ヴィルタス・クゥル テット	‘ことば’と‘音楽’でつくる楽しい絵本の世界③ ‘ことば’と‘音楽’でつくる楽しい 絵本の世界パフォーマンスに挑戦 エリック・カール展に併せて開催。絵本『うたがみえる きこえるよ』に「ことば」と「音楽」からアプローチし、その世界観をパフォーマンスに繋げるワークショップの3回目。「ことば」と「音」を結んだ絵本ステージとして上演。	いわき市 文化センター
1月5日	関口光太郎 (造形作家)	わくわくアートスクール「新聞紙とガムテープで初夢をつくろう!」 小・中学生版画展に併せて開催。新聞紙で遊んだ後に、ガムテープを使って、お正月の縁起物「一富士二鷹三茄子」を制作。高さ2メートルを超える大作を仕上げ、版画展の会期中1階ロビーに展示。	1階ロビー
1月5日 1月27日	当館スタッフ	かんたん版画体験コーナー 「スチレンスタンプとフロッターージュでオリジナルカードをつくろう!」 小・中学生版画展に併せて開催。簡単、かつ仕上がりの美しいスチレンスタンプでのカードづくりに、子どもから大人まで大勢の参加者が熱中した。	2階ロビー
3月22日	丸山直文 (収蔵作家)	収蔵作家ワークショップ/丸山直文 にじむ絵具、ゆれる光～描くことと消えること～ 初期から近作に至るスライドレクチャー、ステイニング技法の実演の後、「水の上ののりもの」をテーマに制作。「にじみ」に苦心しながらも、その性質、その美しさを堪能しつつ、各自2作品を仕上げた。	福島県立 いわき光洋 高等学校
3月23日 3月24日	丸山直文 (収蔵作家)	収蔵作家ワークショップ/丸山直文 にじむ絵具、ゆれる光～描くことと消えること～ 展示中の作品を前にした作家と参加者のコミュニケーションの後、会場を実技講習室に移してステイニング技法を体験。布の上で動き出す「にじみ」の面白さを作品に変えてゆく過程を楽しみながら、2作、3作と作品を仕上げた。	企画展示室、 実技講習室



ワークショップ「収蔵作家ワークショップ/丸山直文
にじむ絵具、ゆれる光～描くことと消えること～」



ワークショップ「収蔵作家ワークショップ/丸山直文
にじむ絵具、ゆれる光～描くことと消えること～」



実技講座「大久保草子 小さな版画の楽しみ(Aコース)」

普及事業
実技講座

開催中の展覧会に関連したプログラムや美術館ならではのプログラムなど、普段なかなか体験する機会がない技法や表現方法の体験から自身の表現へと繋げる内容で実施した。

日時	講師	講座名(内容)	会場
8月4日 8月5日	土屋さやか (造形作家)	ふわふわもこもこの「まる、しかく、さんかく」をつくろう ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方展に合わせて開催。まる、しかく、さんかくの形をした布に綿を詰め込み、絵具で色を塗ったり線や模様を描いたりしてオリジナルのふわふわもこもこのマスコットを制作。出来上がった作品は、会期中、1Fロビーに展示。	1階ロビー
10月6日 10月8日	丹 英直 (写真家)	写真講座「撮る人撮られる人」 写真家がとらえた 昭和のこども展に併せて開催。人物を撮影するにあたっての心構えやマナーを学ぶ講座。レクチャーの他、参加者からの質問に答えたり、実際に撮影したり、講師を含めた自作の鑑賞などを行った。	セミナー室
10月7日	大久保草子 (版画家)	大久保草子 小さな版画の楽しみ(Aコース) ニューアートシーン・イン・いわき 大久保草子展に併せて開催。木版画の歴史に関する簡単なレクチャーの後、講師との親密な会話を楽しみつつハガキ大の版木に彫刻刀を自由に走らせ、思い思いの作品を仕上げた。	実技講習室
10月8日	大久保草子 (版画家)	大久保草子 小さな版画の楽しみ(Bコース) ニューアートシーン・イン・いわき 大久保草子展に併せて開催。木版画の歴史に関する簡単なレクチャーの後、講師との親密な会話を楽しみつつハガキ大の版木に彫刻刀を自由に走らせ、思い思いの作品を仕上げた。	実技講習室
1月12日 1月13日	小森琢己 (版画家、武蔵野美術大学通信教育課程講師)	版画でトートバッグづくり 小・中学生版画展に併せて開催 「3歳から大人」(ブロック法)と「小学3年生～大人」(感光法)の2コースをそれぞれ2回ずつ、各6～9人の少人数制での開催。トートバッグから、ハンカチ、Tシャツなど、参加者が独自に制作の幅を広げるなど楽しい時間となった。	実技講習室

普及事業
公開制作

実技講習に先立ち、作家の制作を公開するかたちで実施。あまり目にする事のない作家の作品制作の過程を多くの人に紹介すると同時に実技講座の導入としての位置づけも兼ねて開催した。

日時	講師	講座名(内容)	会場
8月4日 8月5日	大久保草子 (版画家)	大久保草子の木版画 ニューアートシーン・イン・いわき 大久保草子展に併せて開催。出品作品の制作工程(彫り)を公開した。	実技講習室
8月19日 8月20日	大久保草子 (版画家)	大久保草子の木版画 ニューアートシーン・イン・いわき 大久保草子展に併せて開催。出品作品の制作工程(摺り)を公開した。	実技講習室



実技講座「大久保草子 小さな版画の楽しみ(Bコース)」



実技講座「写真講座「撮る人撮られる人」



実技講座「ふわふわもこもこの「まる、しかく、さんかく」をつくろう」

日時	講師	講座名(内容)	会場
11月11日 11月25日	峰丘(画家)	作家による黄金背景の公開制作とワークショップ 峰丘展に併せて開催。峰丘氏による黄金背景技法の説明と、実際に小さな紙片に金箔を貼る工程の公開と体験。	企画展示場

普及事業 映像鑑賞会

映像ソフト(DVDなど)の利用により、主に企画展に関連した映像鑑賞会。
本年度は未開催。

日時	講師	講座名(内容)	会場
(本年度は、映像鑑賞会は未開催。)			

普及事業 コンサート& パフォーマンス

時代とともに多様化する表現芸術を企画展、常設展と関連づけながら多角的に紹介する。美術と異ジャンルの積極的なかわりが生み出す相乗効果を体感しながら、さまざまな時代の雰囲気や垣間見れる機会となるよう心がけている。

日時	講師	講座名(内容)	会場
5月19日	片岡祐介 (音楽家)	ぜんぶ即興!ミニコンサート エリック・カール展関連ワークショップ「ことばと音楽でつくる楽しい絵本の世界」講師によるピアノや鍵盤ハーモニカを用いた楽しい即興演奏。親しみのあるトークも加わり年代を越えて多くの参加者を魅了した。	1階ロビー
8月12日	JIPC 読書アドバイザー	おはなし会 ディック・ブルーナの絵本や当館所蔵作家、作品に関連する絵本を中心に読み聞かせてその魅力を紹介した。	企画展 会場内 ロビー
8月26日	クラブ福島支部		
9月16日	田中泯 (ダンス) ジョン・ラッセル (ギター) ストーレ・リア ヴィーク・ソルベルク (ドラム)	インカスの伝言 踊り場弾き場 写真家がとらえた 昭和のこども展にちなみ、舞踊家、田中泯とイギリスのコンテンポラリー・ジャズ界の重鎮、同じく気鋭の若手ドラマーの共演により、会場の雰囲気を感受しながらのパフォーマンスを紹介。即興公演のダイナミズムを体感した。	2階ロビー
10月13日	のんきやあやや (街の紙芝居屋さん)	のんきやあやや★紙芝居ライブ! 写真家がとらえた 昭和のこども展に関連し、昔なつかしい紙芝居の世界を紹介。軽妙な語り口と味わい深い紙芝居絵の世界、水あめや抜き菓子など紙芝居興業の醍醐味を味わった。	正面玄関前
11月11日	四家卯大 (チェリスト)	四家卯大によるチェロ公演 峰丘展にあわせ、作家と交友のあるチェリストの演奏でクラシックの名曲や会場からのリクエストに応えた童謡などを楽しみ、展覧会に彩りを添えた。	企画展 会場内 ロビー



コンサート&パフォーマンス「ぜんぶ即興!ミニコンサート」



コンサート&パフォーマンス「インカスの伝言 踊り場弾き場」



コンサート&パフォーマンス「のんきやあやや★紙芝居ライブ!」

日時	講師	講座名(内容)	会場
1月14日	青柳呂武 (口笛) 永井秀和 (ピアノ)	春を呼ぶ! 世界一の口笛&ピアノコンサート 成人の日恒例の《春を祝う》コンサート&パフォーマンスとして、世界一の口笛演奏による春にちなんだ箏曲、ジャズ、ポピュラーなど幅広い年代に親しまれる楽曲やピアノの即興演奏、口笛レッスンなどを楽しんだ。	常設展示室

普及事業 出版

● THE GALLERY =いわき市立美術館ニュース

当館のニュースとして「THE GALLERY」を2回発行した。

No.66 (平成30年9月25日発行)

- いわき市立美術館の普及事業 その7 展覧会をもっと楽しく!もっと深く!!
(普及係長 植田玲子)
- 企画展紹介 写真がとらえた 昭和のこども (学芸係長 竹内啓子)
- 企画展紹介 大久保草子展一始まりの森一 (普及係長 植田玲子)
- 企画展紹介 峰丘展ーカラベラへの旅 (館長 佐々木吉晴)
- 展示室から (副館長 杉浦友治)
- 裏方だより (主任学芸員 江尻英貴)
- 常設展示室から (学芸係長 竹内啓子)
- コレクションーこの1点 井上長三郎《葬送曲》 (学芸員 太田紋乃)
- 今後の主な展覧会事業のご案内



No.67 (平成31年3月28日発行)

- いわき市立美術館の普及事業 その8 市民の皆さんとともに・・・
- 春を告げる展覧会 (普及係長 植田玲子)
- 企画展紹介 蛭川実花展ー虚構と現実の間ー (学芸係長 竹内啓子)
- 企画展紹介 見て・考えて・表現して 体験!いわ美ーコレクションによるアートプログラム (主任学芸員 江尻英貴)
- 企画展紹介 パリ世紀末 ベル・エポックに咲いた華 サラ・ベルナルの世界展 (普及係長 植田玲子)
- 展示室から 展示室で話しているか問題 (学芸員 太田紋乃)
- 裏方だより 題名と制作年を調べるー中西一路《小名の濱小屋》 (副館長 杉浦友治)
- 常設展示室から (学芸係長 竹内啓子)
- コレクションーこの1点 アンリ・マティス 詩画集『ジャズ』より《イカロス》 (学芸員 柴田百合子)
- 今後の主な展覧会事業のご案内



●いわき市立美術館年報

平成29年度年報 B 5判 69ページ



コンサート&パフォーマンス「春を呼ぶ! 世界一の口笛&ピアノコンサート」



ワークショップ「わくわくアートスクール「新聞紙とガムテープで初夢をつくろう!」」



実技講座「版画でトートバッグづくり」

●展覧会図録等

ニューアートシーン・イン・いわき 大久保草子 始まりの森 A 4判 巻き4つ折り 8ページ
 峰丘展図録 A 4判 176ページ

普及事業
**実技講習室
 の公開**

実技講座参加者を対象に講座で学んだ技法をさらに深めるために場所と備品を開放。木版画、銅版画、リトグラフなどの版画制作の利用があった。

日時	講師	講座名 (内容)	会場
4月～		実技講座参加経験者による自己研鑽補助、実技相談等	実技講習室

普及事業
図書室の公開

午前9時30分から午後5時まで(7、8月の金曜日は午後8時まで)、室内閲覧に限り図書室を公開している。貸出業務は行っていない。展覧会図録など図書室で公開していない資料類についても、利用者の申し出により閲覧できる。

また、常設展・企画展開催時には、鑑賞の一助になるよう関連図書を会場内の一箇所に配置している。

普及事業
**実習生の
 受け入れ**

■博物館実習

7月26日(木)～8月8日(水)にかけて、学芸員資格取得を目的とする博物館実習を行い、2名の実習生を受け入れた。

■インターンシップ(職場体験学習)

市内の中学校・高等学校の要請を受け入れ、生徒の勤労への理解・関心を深め職業観の形成や職業選択の一助となることを目的としたインターンシップ(職場体験)を行った。

7月12日(木)～7月13日(金)	川部中学校	2名
8月22日(水)～8月26日(日)	福島工業高等専門学校	2名
9月12日(水)	平第三中学校	5名
9月12日(水)	玉川中学校	2名
9月13日(木)～9月14日(金)	好間中学校	2名
9月19日(水)～9月20日(木)	湯本第三中学校	2名
9月20日(木)～9月21日(金)	中央台北中学校	1名
10月2日(火)～10月4日(木)	好間高等学校	3名



ワークショップ「2018・美術館的自由研究のススメ」



美術講座「ティーチャーズ・ミュージアム」



講演会「昭和の子」

普 及 事 業
共 催 事 業

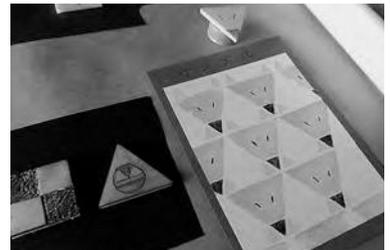
日 時	講 師 等	講 座 名	共 催 先	会 場
4月27日		握手&撮影 はらべこあおむしがやってくる (午前・午後)	福島中央テレビ	1階ロビー
5月26日	ヴィルタス・クゥルテット、 他	いわきアリオス×いわき市立美術館＝未来を つくるいわき子どもたちへ「ヴィルタス・ クゥルテット『絵本の世界』を弾く」	いわき芸術文化交流館 アリオス	いわき市 文化センター
9月8日～ 9月9日	いわき美術協会会員	裸婦デッサン会	いわき市立美術館友の会、 いわき美術協会	企画展示室
12月16日	竹谷陽二郎、宇野君平	ミクロの化石からアートへ in いわき市立美術館	特定非営利活動法人 Wunderground	1階ロビー
2月10日	市美展書の部招待作家	市美展書の部招待作家による作品説明会	いわき市民美術展覧会 運営委員会	企画展示室
2月17日	市美展書の部招待作家、 福島県磐城高等学校書道部	市美展書の部招待作家による席上揮毫会& 高校生による書道パフォーマンス	いわき市民美術展覧会 運営委員会	2階ロビー
2月23日	市美展絵画・彫塑の部 招待作家	市美展絵画・彫塑の部招待作家による 入選作品批評会	いわき市民美術展覧会 運営委員会	企画展示室
3月9日	市美展陶芸の部、 茶道淡交会いわき支部	市美展陶芸の部呈茶会 ～市民がつくった茶碗を使って～	いわき市民美術展覧会 運営委員会	企画展示室
3月10日	市美展陶芸の部 部会員	市美展陶芸の部タッチコーナー	いわき市民美術展覧会 運営委員会	2階ロビー
3月10日	市美展写真の部 部会員	市美展写真の部作品解説会	いわき市民美術展覧会 運営委員会	企画展示室
3月17日	市美展陶芸の部 部会員	市美展陶芸の部タッチコーナー	いわき市民美術展覧会 運営委員会	2階ロビー



講演会「ないものがある世界」



アートキャラバン「展覧会を10倍楽しむセミナー」
峰丘展



ワークショップ「かんたん版画体験コーナー「スチレンスタンプとフロッターージュでオリジナルカードをつくろう！」

所 蔵 資 料

- A. 美術作品収蔵状況
- B. 美術作品の貸出状況
- C. 資料の購入等に関する状況

A. 美術作品収蔵状況

年度	購 入		寄 贈		移管 点数	計 点数	寄 託	
	点数	備 考	点数	備 考			点数	備 考
昭55年	68		10		0	78	1	一色智嘉子《CHU》
56	115		337	宝船312点	0	452	1	大平華泉《白河城址》
57	75		26		0	101		
58	357		67	資料3点含む	5	429		
59	54		27		4	85		
60	53		37		0	90		
61	23		105		7	135		
62	7		22		0	29		
63	21		8		0	29		
平成元	11		9		2	22	2	北郷悟《ERA》《寝台に横たわる人》
2	17		28	資料2点含む	0	45	49	
3	10		5		0	15	1	舟越桂《静かな奇襲》
4	9		9		0	18		
5	9		0		0	9		
6	5		4		0	9		
7	7		4		0	11		
8	7		2		0	9		
9	11		1		0	12	12	田口安男
10	28		6		0	34		
11	8		37		0	45	-43	松田松雄5点及び中村一美1点《道元》またH2年度寄託作品49点返却
12	11		23		0	34		
13	8		22		0	30	-1	中村一美《道元》(同年受贈)
14	8		1		0	9		
15	12		42		0	54	2	中村一美《織桑島V》《北奥千丈》
16	33		13		0	46		
17	17		8		0	25		
18	3		1		0	4		
19	0		3		0	3	-1	大平華泉《白河城址》(返却)
20	0		30		0	30	14	イケムラレイコ13点、河口龍夫1点
21	0		1		0	1		
22	0		0		0	0		
23	0		40	資料9点含む	0	40	-12	田口安男作品(平成9年度寄託作品受贈)
24	0		116		0	116		
25	0		18		0	18		
26	0		22		0	22	-1	中村一美《北奥千丈》(返却)
27	0		14		0	14		
28	0		157		0	157		
29	0		29		0	29		
30	0		22	資料2点含む	0	22	-1	舟越桂《静かな奇襲》(返却)
計	987		1,306		18	2,311	23	

B. 美術作品の貸出状況

作家名	作品名	貸出先	貸出期間	目的(展覧会名)
ブリジット・ライリー	オルフェウス悲歌Ⅰ	D I C川村記念 美術館	2018年 3月20日～9月6日	ゆらぎ ブリジット・ライリーの絵画
ブリジット・ライリー	オルフェウス悲歌Ⅱ			
ブリジット・ライリー	ラー			
ジョン・ミッチェル	紫色の木	名古屋市美術館 横浜美術館	2018年 4月12日～10月5日	モネ、それからの100年
堂本尚郎	1960-5			
白髪一雄	天殺星黒旋風李逵	尼崎市総合 文化センター	2018年 10月21日～12月27日	没後10年 白髪一雄 《水滸伝豪傑シリーズ》展

C. 資料の購入等に関する状況

●図書資料

	購 入			受 贈			計
	図 書	図録・目録	館報・紀要	図 書	図録・目録	館報・紀要	
平成25年度まで	5,111	171	6	2,567	18,449	5,054	31,358
平成26年度	47	4	0	84	374	222	731
平成27年度	9	3	0	73	468	210	763
平成28年度	26	0	0	76	367	173	642
平成29年度	99	1	0	59	323	178	660
平成30年度	27	1	0	246	437	186	897
計	5,319	180	6	3,105	20,418	6,023	35,051

●視聴覚資料

	購 入								受 贈								計	
	CD	DVD	ビデオ テープ	LD	フィルム	スライド	カセット テープ	CD-R	CD	DVD	ビデオ テープ	LD	フィルム	スライド	カセット テープ	電子 ブック		その他
平成25年度まで	22	74	245	51	11	16	0	0	76	62	60	0	0	0	1	1	1	620
平成26年度	1	1							6	10								18
平成27年度	1								10	15								26
平成28年度										9								11
平成29年度										1								5
平成30年度									1	2					2		1	6
計	24	75	245	51	11	16	0	0	93	99	60	0	0	0	3	1	8	686

D. 平成30年度新収蔵作品

凡 例

1. この目録には、平成30年度のいわき市立美術館新収蔵作品を収録した。
2. 作品の分類は、平面作品Ⅰ(直接技法に基づくもの)、平面作品Ⅱ(間接技法に基づくもの:版画等)、平面作品Ⅲ(ポスター、写真等)、立体作品、映像・その他。
3. 各作品のデータは以下の通り。

整理番号／作者名(生没年)
 作品名
 制作年
 技法・材質
 寸法(cm)
 サインの位置及び年記
 最初の発表展覧会及び受賞歴
 収蔵の経緯
 登録番号

4. 作家名は分類ごとに日本人作家と外国人作家に大別し、日本人作家は五十音順に、外国人作家は姓のアルファベット順に配列した。
5. 制作年は、作品に明記されているもの、及び制作事情の明確なものに限って記載した。
6. 寸法は、センチメートルを単位として、平面作品では画面の縦×横、立体作品では高さ×幅×奥行きとした。

【平成30年度 収蔵作品分類】

平面作品Ⅰ	17点
平面作品Ⅱ	0点
平面作品Ⅲ	0点
立体作品	3点
映像・その他	0点
資料	2点
計	22点

《平面作品Ⅰ》

1. 朝倉 摂(1922-2014)

古河好問
 1956
 鉛筆・紙
 40.9×32.5
 受贈 伊藤亜古
 2018-15



2. 朝倉 摂(1922-2014)

スケッチブック(1956福島古河好問、小田炭坑)
 1956
 鉛筆・紙
 41.0×33.5
 14葉のうち8葉に素描
 受贈 伊藤亜古
 2018-16



(主なイメージ)



3. 北代省三 (1921-2001)

エントロピー

不詳 (旧作をもとにした再制作)

インク、水彩・紙

25.6×28.5

(両面に描画あり)

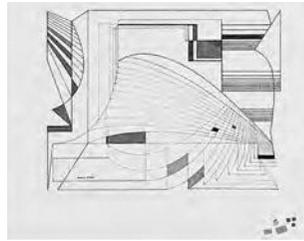
受贈 東京パブリッシングハウス

2018-2

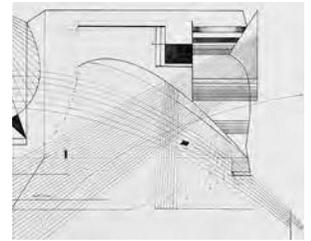
裏面 (「エントロピー」から派生した作品)

不詳

インク、水彩・紙



(表面)



(裏面)

4. 佐藤忠良 (1912-2011)

母子想

1952

鉛筆、水彩・紙

16.0×7.8

受贈 山崎保寿

2018-17



5. 中西一路 (1907-1981)

小名の濱小屋

1940

墨、顔料・紙

(※第5回大潮会展)

194.5×181.0

受贈 小野哲平

2018-1



6. 若松光一郎 (1914-1995)

漁港

不詳

油彩・板

15.5×22.7

受贈 中川素直

2018-3



7. 若松光一郎 (1914-1995)

風景

1944頃

木炭・紙

31.0×41.2

受贈 中川素直

2018-4



8. 若松光一郎 (1914-1995)

夕景

1945

油彩・カンヴァス

31.5×41.0

受贈 中川素直

2018-5



9. 若松光一郎 (1914-1995)

鈴木新夫

1944

コンテ、水彩、パステル・紙

36.3×26.6

受贈 中川素直

2018-6



10. 若松光一郎 (1914-1995)

桜島

1974

水彩・紙

45.9×60.5

受贈 中川素直

2018-7



11. 若松光一郎 (1914-1995)
 スケッチブック (1954-55)
 1954.11/1 ~ 1955.2/4
 鉛筆、ペン、水彩・紙
 12.5×17.3
 12葉のうち11葉に描画
 受贈 中川素直
 2018-8



(主なイメージ)



12. 若松光一郎 (1914-1995)
 スケッチブック (1956)
 1956
 鉛筆、ペン、水彩・紙
 26×18.7
 62葉のうち28葉に描画
 受贈 中川素直
 2018-9



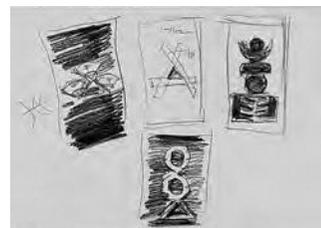
(主なイメージ)



13. 若松光一郎 (1914-1995)
 スケッチブック (1970-71)
 1970.6/28 ~ 1971.6/13
 鉛筆、ペン、水彩・紙
 16×23.2
 14葉のうち14葉に描画
 受贈 中川素直
 2018-10



(主なイメージ)



14. 若松光一郎 (1914-1995)
 スケッチブック (1971)
 1971
 鉛筆、ペン、水彩・紙
 13.9×17.5
 17葉のうち14葉に描画
 受贈 中川素直
 2018-11



(主なイメージ)



15. 若松光一郎 (1914-1995)
 スケッチブック (1974)
 1974
 鉛筆、ペン、水彩・紙
 14×17.9
 18葉のうち18葉に描画
 受贈 中川素直
 2018-12



(主なイメージ)



16. 若松光一郎 (1914-1995)
 スケッチブック (1979)
 1979
 水彩・紙
 22×14.8
 18葉のうち18葉に描画
 受贈 中川素直
 2018-13



(主なイメージ)



17. 若松光一郎 (1914-1995)
 スケッチブック (1979)
 1979.6/11 ~ 6/12
 木炭、コンテ、ペン、クレヨン、水彩・紙
 17.6×24.7
 24葉のうち8葉に描画
 受贈 中川素直
 2018-14



(主なイメージ)



《立体作品》

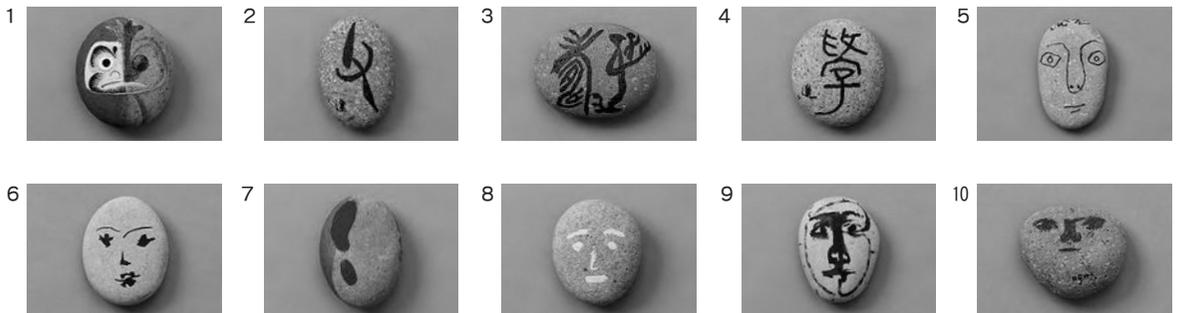
1. 佐藤忠良 (1912-2011)
 フミコ
 1981-82
 ブロンズ
 32.5×18.0×21.0
 受贈 山崎保寿
 2018-18

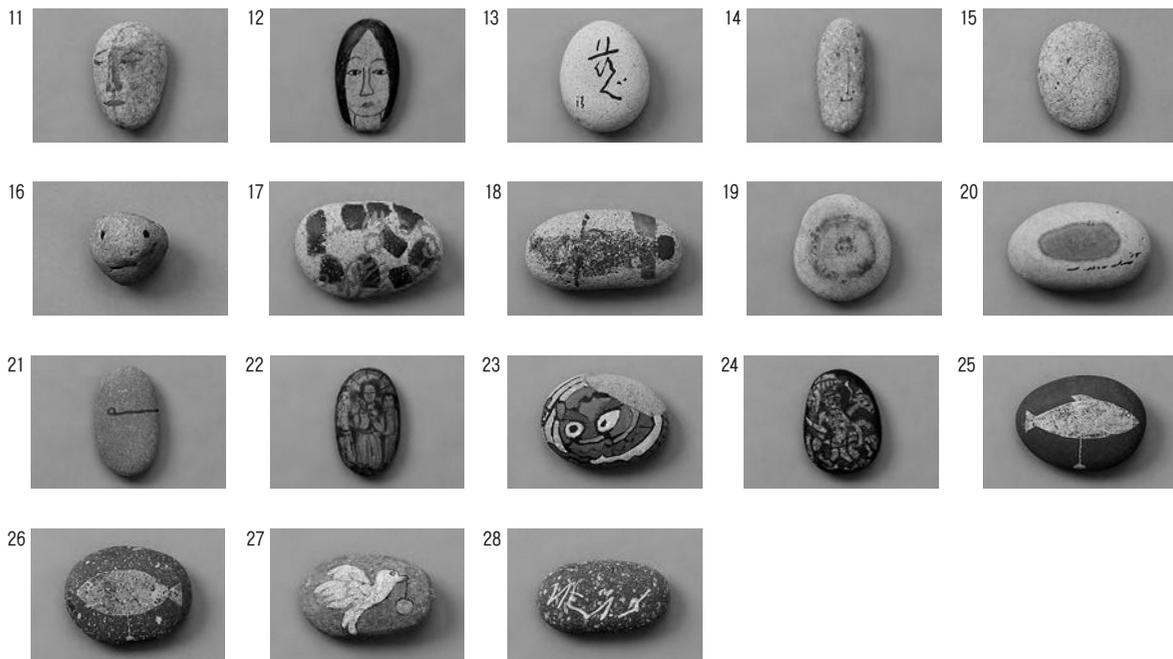


2. 佐藤忠良 (1912-2011)
 中学三年生・竜
 1984
 ブロンズ
 25.5×17.0×21.5
 受贈 山崎保寿
 2018-19



3. 脇田和ほか14人
 「すまい・海石絵のコレクション」
 1989頃-2015
 石に彩色
 (全28点)
 ※枝番で28点を紹介 (59頁参照)
 受贈 山崎保寿
 2018-20





※3「すまい・海石絵のコレクション」の詳細

枝番号	作家名	制作年	長径 (cm)	備考 (裏面の書き込み等)	枝番号	作家名	制作年	長径 (cm)	備考 (裏面の書き込み等)
3-1	石川貞治	不詳	10.5	石川貞治	3-16	佐藤忠良	不詳	4.4	c.s
3-2	石川 進	不詳	14.0	進	3-17	佐野ぬい	不詳	14.7	
3-3	石川 進	不詳	12.5	石川進	3-18	佐野ぬい	不詳	13.5	nuit
3-4	石川 進	不詳	11.4	進	3-19	難波田龍起	1993	8.3	N 一九九三年 八十八才
3-5	猪熊弦一郎	1989	9.8	89 guen	3-20	野田哲也	2015	11.0	t.noda '15
3-6	猪熊弦一郎	1992	8.5	92 guen ゲン	3-21	元永定正	1994	9.5	S.Motonaga 1994.5.25
3-7	大沢昌助	1995	14.0	1995.11.8 S.O.	3-22	森 義利	不詳	12.4	y.m
3-8	大沢昌助	1989	11.2	89.26.OCT.S.O.	3-23	森 義利	1992	9.8	Y.mori '92
3-9	萩 太郎	不詳	9.8	oghi	3-24	森 義利	不詳	8.5	
3-10	萩 太郎	不詳	7.5	oghi	3-25	山野辺義雄	不詳	10.0	T.YAMANOBE
3-11	萩 太郎	不詳	9.1	oghi	3-26	山野辺義雄	不詳	11.7	T.YAMANOBE
3-12	風間 完	1989	12.3	Ka 1989	3-27	脇田 和	1992	12.0	92 kazu.w
3-13	斉藤 清	1995	11.5	清 95.10.26	3-28	脇田 和	1996	12.0	kazu.w 96.10.11
3-14	佐藤忠良	1992	16.5	churyo 92					
3-15	佐藤忠良	1992	8.3	churyo '92					

《資料》

1. 北代省三「ラジオ・ギャラックス」に関する資料

- ①上部図 制作年不詳 35.5×50.2cm インク、鉛筆・紙
- ②構想図 制作年不詳 35.0×50.0cm 鉛筆・紙
- ③ ①のコピー数枚

2. 書籍『佐藤忠良Ⅰ、Ⅱ』（講談社1987年7月1日発行、特装限定品36/200 佐藤忠良のエッチング《女の顔》36/1000 付）

いわき市立美術館条例

昭和58年12月27日 いわき市条例第58号

(設置)

第1条 美術に関する市民の知識及び教養の向上を図り、市民文化の発展に寄与するため博物館法(昭和26年法律第285号。第10条において「法」という。)第18条の規定により、美術館を設置する。

(名称及び位置)

第2条 美術館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
いわき市立美術館	いわき市平字堂根町4番地の4

(事業)

第3条 いわき市立美術館(以下「美術館」という。)は、その目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 美術作品その他の美術に関する資料(以下「美術作品等」という。)を収集し、保管し、及び展示すること。
- (2) 美術に関する調査及び研究を行うこと。
- (3) 美術に関する展覧会、講演会、講習会、映写会等を開催すること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、美術館の設置の目的を達成するために必要な事業

(観覧料)

第4条 美術館の常設展(美術作品等の常設展示をいう。以下同じ。)を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納付しなければならない。ただし、美術館の特別展(常設展以外の展示をいう。以下同じ。)と併せて観覧する場合又は国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第2条に規定する国民の祝日において観覧する場合は、この限りでない。

2 特別展を観覧しようとする者は、別表第2に定める額の範囲内において、市長が定める観覧料を納付しなければならない。

(撮影等の許可及び料金)

第5条 学術研究等のため、美術館に展示され、又は保管されている美術作品等の写真撮影、模写又は模造等をしようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

2 前項の許可を受けた者は、別表第3に定める撮影等料金を納付しなければならない。

(観覧料等の免除)

第6条 市長は、次の各号の一に該当すると認めるときは、観覧料(常設展に係るものに限る。)又は撮影等料金を免除することができる。

- (1) 外国人留学生が、福島県の実施する外国人留学生文化施設等無料観覧制度に基づき観覧するとき。
- (2) 国又は地方公共団体が行う教育、学術又は文化に係る事業の用に供するため撮影等をするとき。

(観覧料等の不返還)

第7条 既納の観覧料又は撮影等料金は、返還しない。ただし、市長は、災害その他不可抗力により、観覧又は撮影等をするできなくなったときは、既納の観覧料又は撮影等料金を返還することができる。

(入館の制限)

第8条 教育委員会は、美術館に入館しようとする者又は入館している者が次の各号の一に該当すると認めるときは、入館を制限し、又は館外へ退館させることができる。

- (1) 他人に危害を加え、又は迷惑を及ぼすおそれがあるとき。
- (2) 施設、設備又は美術作品等を損傷するおそれがあるとき。

(3) 前2号に掲げるもののほか、美術館の管理に支障があると認めるとき。

(賠償責任)

第9条 入館者は、施設、設備又は美術作品等を損傷し、又は滅失したときは、教育委員会の指示するところに従い、その損害を賠償し、又はこれを原状に回復しなければならない。ただし、市長は、相当の理由があると認める場合は、その全部又は一部を免除することができる。

(美術館協議会)

第10条 法第20条第1項の規定に基づき、いわき市立美術館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、教育委員会が委嘱する。

3 協議会は、委員15人以内で組織する。

4 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(委任)

第11条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この条例は、昭和59年4月28日から施行する。ただし、第1条から第3条まで、第10条及び第11条の規定は、昭和59年4月1日から施行する。

(略)

附 則(平成25年12月26日いわき市条例第67号)

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

別表第1(第4条関係)

区 分	観 覧 料	
	個 人	団 体
一 般	210円	170円
高校生、高等専門学校生、大学生	150円	110円
小学生、中学生	70円	50円

備考 団体とは、20人以上をいう。

別表第2(第4条関係)

区 分	観 覧 料	
	個 人	団 体
一 般	1,500円	1,200円
高校生、高等専門学校生、大学生	740円	590円
小学生、中学生	440円	350円

備考 団体とは、20人以上をいう。

別表第3(第5条関係)

区 分	料 金		
	写 真 撮 影	モノクローム	1点1回につき
	カラー	1点1回につき	3,240円
模 写、模 造		1点1日につき	2,160円
熟 覧、拓 本		1点1回につき	210円

備考 1 ^{びょう} 屏風は、1双を1点とする。
2 1そろいの卷子(巻物をいう。)は、1巻を1点とする。
3 対幅は、1幅を1点とする。
4 撮影は、同一作品について原板3枚以内を1回とする。

いわき市立美術館管理規則

昭和59年3月31日 いわき市教育委員会規則第6号

(趣旨)

第1条 この規則は、いわき市立美術館条例(昭和58年いわき市条例第58号。以下「条例」という。)の規定に基づき必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第2条 いわき市立美術館(以下「美術館」という。)に、次の課及び係を置く。

庶務課 庶務係

学芸課 学芸係、普及係

(事務分掌)

第3条 課の事務分掌は、次のとおりとする。

庶務課

- (1) 公印の保管に関すること。
- (2) 予算の経理に関すること。
- (3) 美術館の維持管理に関すること。
- (4) 観覧料及び撮影等料金の徴収に関すること。
- (5) 統計に関すること。
- (6) 美術館協議会に関すること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、学芸課の所掌に属しない事務に関すること。

学芸課

- (1) 美術作品等の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 美術に関する専門的な調査研究に関すること。
- (3) 展覧会、研究会、講演会、映写会等の開催に関すること。
- (4) 美術に関する案内書、解説書、目録等の刊行に関すること。
- (5) 美術作品等の利用に関する助言及び指導に関すること。
- (6) 美術作品等の寄贈及び寄託に関すること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、学芸事務に関すること。

(職及び職務)

第4条 美術館に館長、副館長、課に課長、係に係長を置き、必要に応じ、参事、主幹、主任主査、専門学芸員、主査、主任学芸員、事務主任、主事、学芸員、主任運転手及び運転手を置く。

- 2 館長は、上司の命を受け、館務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
- 3 参事は、上司の命を受け、美術館事務に関する企画及び調整に参画する。
- 4 副館長は、館長の職務遂行を補佐し、館長に事故があるときは、その職務を代理する。
- 5 主幹は、上司の命を受け、館長が定める特定の事務を掌理する。
- 6 課長は、上司の命を受け、課の事務を処理する。
- 7 係長は、上司の命を受け、係の事務を処理する。
- 8 主任主査は、上司の命を受け、館長が定める特定の事務を処理する。
- 9 専門学芸員は、上司の命を受け、館長が定める特定の専門的な事務を処理する。
- 10 主査は、上司の命を受け、美術館の事務の一部を分担処理する。
- 11 主任学芸員は、上司の命を受け、係の事務のうち特定の事務を処理する。
- 12 事務主任は、上司の命を受け、係の事務の一部を分担処理する。
- 13 主事は、上司の命を受け、事務をつかさどる。
- 14 学芸員は、上司の命を受け、専門的な事務を処理する。
- 15 主任運転手は、上司の命を受け、担任の自動車運転の業務を処理する。

16 運転手は、上司の命を受け、自動車運転の業務に従事する。

(休館日)

第5条 美術館の休館日は、次の各号に掲げる日とする。ただし、教育委員会は、必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

(1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日にあたる場合は、その日後のその日に最も近い休日でない日)

(2) 1月1日から同月4日まで及び12月28日から同月31日まで

(開館時間)

第6条 美術館の開館時間は、午前9時30分から午後5時(入館は、午後4時30分)までとする。ただし、毎年7月及び8月の金曜日については、午前9時30分から午後8時(入館は、午後7時30分)までとする。

2 教育委員会は、必要があると認めるときは、これを臨時に変更することができる。

(観覧券の交付)

第7条 条例第4条の規定により、観覧料を納付した者に対して観覧券(第1号様式)を交付しなければならない。

(撮影等の許可及び料金)

第8条 条例第5条第1項に規定する撮影、模写又は模造等(以下「撮影等」という。)をしようとする者は撮影等許可申請書(第2号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、撮影等を許可したときは、撮影等許可書(第3号様式)を交付する。

(観覧料等の減免)

第9条 条例第6条第2号又はいわき市障害者、高齢者及び児童生徒等の利用に係る公の施設の使用料の減免に関する条例(平成13年いわき市条例第56号)第5条第1項の規定により観覧料又は撮影等料金の減免を受けようとするときは、観覧料・撮影等料金減免申請書(第4号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請があった場合において、観覧料又は撮影等料金の減免を決定したときは、観覧料・撮影等料金減免通知書(第5号様式)を交付する。

(観覧料等の返還)

第10条 条例第7条の規定により観覧料又は撮影等料金の返還を受けようとする者は、その理由を記載した観覧料・撮影等料金返還申請書(第6号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

(美術館協議会の会長及び副会長)

第11条 条例第10条に規定するいわき市立美術館協議会(以下「協議会」という。)に会長及び副会長各1人を置き、それぞれ委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第12条 協議会の会議は、会長が招集し、会長が会議の議長となる。

2 協議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 協議会の会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(事務処理及びサービス)

第13条 美術館における事務処理及びサービスについては、いわき市教育委員会事務局処務規程(昭和47年いわき市教育委員会訓令第2号)に基づく事務処理及びサービスの例による。

(委任)

第14条 この規則に定めるもののほか、この規則の施行に関し、必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この規則は、昭和59年4月1日から施行する。ただし、第5条から第10条までの規定は、昭和59年4月28日から施行する。

(略)

附 則(平成22年3月31日いわき市教委規則第5号)

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

第1号様式（第7条関係）

その1

常 設 展 観 覧 券 金 額 取 いわき市立美術館	(切 線)	常 設 展 観 覧 券 金 額 この券をもって領収に代えます。 いわき市立美術館
-------------------------------------	----------	--

その2

特 別 展 観 覧 券 金 額 取 いわき市立美術館	特 別 展 観 覧 券 金 額 この券をもって領収に代えます。 いわき市立美術館	(切 線) 常 設 展 観 覧 券 取 (切 線)
-------------------------------------	--	--

- 備考 1 寸法、デザイン等については、その都度定める。
 2 観覧券の区分は、一般、高校生・高等専門学校生・大学生及び小学生・中学生とする。

第2号様式（第8条関係）

第2号様式（第8条関係）
 撮影等許可申請書
 いわき市教育委員会殿

年 月 日

注 太枠線のみ記入してください。

申請者	住所又は所在地					
	氏名又は名称及び代表者					
	電話 —					
第 号 年 月 日許可	美術作品の名称	作者名	点数			
日時	年 月 日 時 分から 時 分まで					
目的						
方法 撮影 模写 模造 熟覧 拓本						
料 金	撮 影	モノクローム	点	円	計	
		カラ—	点	円		
	模 写 ・ 模 造		点	円		
	熟 覧 ・ 拓 本		点	円	円	
		館長	副館長	課長	係長	係

第3号様式（第8条関係）

第3号様式（第8条関係）
 撮影等許可書
 殿
 いわき市教育委員会

下記のとおり撮影等を許可します。

第 号 年 月 日許可					
美術作品の名称	作者名	点数			
日時	年 月 日 時 分から 時 分まで				
目的					
方法 撮影 模写 模造 熟覧 拓本					
料 金	撮 影	モノクローム	点	円	計
		カラ—	点	円	
	模 写 ・ 模 造		点	円	
	熟 覧 ・ 拓 本		点	円	円
指示事項					

第4号様式（第9条関係）

観覧料等
撮影等料金 減免申請書

いわき市教育委員会

年 月 日

住所（所在地）
申請者 氏名（名称及び代表者氏名）
電話番号
担当者氏名

注意 太枠の中だけ記入してください。

観覧日時		撮影等日時		撮 影 等	
年	月	日	時	分	秒
年	月	日	時	分	秒
区	分	常設展	特別展		
一	般	人	人	写真撮影	点
高	校	生	人	モノクローム	点
高	等	専	門	カ	ラ
大	学	生	人	模	写
小	学	生	人	模	造
中	学	生	人	熟	覧
計		人	人	計	点

減免申請の理由

減免する。 減免しない理由 納付すべき観覧料等 円
減免しない。 減免後の観覧料等 円
起案年月日
決裁年月日
施行年月日
許可番号 第 号

館長	副館長	課長	係長	係員
----	-----	----	----	----

第5号様式（第9条関係）

観覧料等
撮影等料金 減免通知書

様

年 月 日

いわき市教育委員会 印

申請年月日	年 月 日	許可番号	第 号			
観覧日時	年 月 日 時 分から 時 分まで	撮影等日時	年 月 日 時 分から 時 分まで			
区	分	常設展	特別展	撮	影	等
一	般	人	人	写	真	撮
高	校	生	人	モ	ノ	ク
高	等	専	門	カ	ラ	ー
大	学	生	人	模	写	・
小	学	生	人	模	造	
中	学	生	人	熟	覧	・
計		人	人	計		点

減免率

減免後の観覧料

減免後の撮影等料金

第6号様式（第10条関係）

観覧料等
撮影等料金 返還申請書

いわき市教育委員会殿

下記のとおり 観覧料等 の返還を受けたいので申請します。

年 月 日

住所又は所在地

氏名又は名称及び代表者

電話 ー

注 太枠のみ記入してください。

第 号 年 月 日 許可

申請理由

既納観覧料等		
観覧料	枚	円
撮影料等	枚	円
返還申請金額		円

館長	副館長	課長	係長	係
----	-----	----	----	---

事業経過報告

平成31年3月31日現在

展 覧 会 名	開催期間 (日数)	料 金						入 場 者 数						30 年 度 計			
		一 般			団 体			一 般			団 体				招待	無料	
		一般	高大	小中	一般	高大	小中	一般	高大	小中	一般	高大	小中				
常 設 展	戦後アメリカ美術の きらめき Ⅰ平成29年度新取蔵作品を 中心に 4/1～6/24 Ⅱヨーロッパの風 6/26～9/24	4/1～9/24 154日間	210	150	70	170	110	50	249	17	29	7	0	3	462	13,014	13,781
	思考する作家たち/ 日本の80～90年代 Ⅰ戦後日本 それぞれの歩 み 9/26～12/16 Ⅱ写真の拡がり 12/18～3/31	9/26～3/31 154日間	210	150	70	170	110	50	346	12	7	9	0	0	152	2,455	2,981
常 設 展 計 (A) 308日間								595	29	36	16	0	3	614	15,469	16,762	
企 画 展	エリック・カール展	4/14～5/27 39日間	1,000	500	300	800	400	240	17,447	731	1,554	659	1	1	1,731	14,241	36,365
	追悼特別展 高倉健	6/9～7/16 33日間	1,000	500	300	800	400	240	3,171	26	30	236	0	0	590	4,162	8,215
	美術館に行こう! ディック・ブルーナに 学ぶモダン・アートの 楽しみ方	7/28～9/2 33日間	800	400	200	640	320	160	3,787	209	300	213	0	0	339	4,503	9,351
	写真家が捉えた 昭和のこども	9/15～10/21 32日間	700	300	200	560	240	160	1,092	23	25	51	0	0	156	2,321	3,668
	峰丘展	11/3～12/9 39日間	700	300	200	560	240	160	463	18	10	105	0	0	512	1,204	2,312
	ニューアートシーン・ イン・いわき 大久保草子展	9/8～10/21 39日間	無 料													4,603	4,603
	いわき市小・中学生 版画展	1/5～1/27 20日間	無 料													3,956	3,956
	第48回いわき市民 美術展覧会 (書の部)	2/8～2/17 9日間	無 料													845	845
	(絵画・彫塑の部)	2/22～3/3 9日間	無 料													2,156	2,156
	(陶芸の部・写真の部)	3/8～3/17 9日間	無 料													1,888	1,888
企 画 展 計 (B)								25,960	1,007	1,919	1,264	1	1	3,328	39,879	73,359	
展 覧 会 事 業 計 (A + B)								26,555	1,036	1,955	1,280	1	4	3,942	55,348	90,121	
普 及 事 業 計														(詳細は次頁参照)	6,513	6,513	
合 計								26,555	1,036	1,955	1,280	1	4	3,942	61,861	96,634	

平成30年度普及事業報告

平成31年 3月31日現在

事業名	内 容 等	講 師 等	月 日	人数	
講 演 会	青い馬とともにーエリック・カールと美術家たち	遠藤盛一(世田谷美術館学芸員)	4月15日	32	
	ちいさな講演会 初めての会うように会いつづけるために	工藤直子(詩人、絵本作家)	4月30日	90	
	高倉健と日本情念:60年代任侠映画の魅力	山本哲士(政治社会学、ホスピタリティ環境設計学)	6月17日	60	
	大久保草子展 アーティストトーク	大久保草子(木版画家)	9月8日	42	
	ないものがある世界 講演会「昭和の子」	今福龍太(文化人類学者) ねじめ正一(詩人、作家)	9月15日 10月7日	47 40	
小 計				311	
美 術 講 座	館長講座(4回)	当館館長 11月17日のみ、峰丘(出品作家)、当館館長	7月13日、9月22日、 11月17日、2月24日	89	
	ティーチャーズ・ミュージアム	峰丘、当館学芸員	8月10日	9	
小 計				98	
ギャラリー・トーク	常設展解説	当館学芸員	毎週土曜日	32	
	団体解説	当館学芸員	通年28回	1,145	
小 計				1,177	
実 技 講 座	ふわふわもここの「まる、しかく、さんかく」をつくろう	土屋さやか(造形作家)	8月4日、8月5日	60	
	写真講座「撮る人撮られる人」	丹英直(写真家)	10月6日、10月8日	12	
	「大久保草子 小さな版画の楽しみ(Aコース)」	大久保草子(版画家)	10月7日	10	
	「大久保草子 小さな版画の楽しみ(Bコース)」	大久保草子(版画家)	10月8日	12	
	版画でトートバックづくり	小森琢己(版画家、武蔵野美術大学通信教育課程講師)	1月12日、1月13日	29	
小 計				123	
公 開 制 作 (公 開 講 座)	大久保草子の木版画	大久保草子(木版画家)	8月4日、8月5日	57	
	大久保草子の木版画	大久保草子(木版画家)	8月19日、8月20日	23	
	作家による黄金背景の公開制作とワークショップ	峰丘(出品作家)	11月11日	31	
	作家による黄金背景の公開制作とワークショップ	峰丘(出品作家)	11月25日	23	
小 計				134	
ワークショップ	かんたん・かわいい工作の部屋〜パペラであそぼう!〜(午前・午後)	吉原順一(ペーパークラフトデザイナー)	4月21日	62	
	かんたん・かわいい工作の部屋〜パペラであそぼう!〜(午前・午後)	当館スタッフ	4月27日	52	
	「ことば」と音楽でつくる楽しい絵本の世界① ことば・ワークショップ	工藤直子(詩人、絵本作家)	4月30日、5月1日	17	
	かんたん・かわいい工作の部屋〜パペラであそぼう!〜(午前・午後)	当館スタッフ	5月11日	14	
	「ことば」と音楽でつくる楽しい絵本の世界② おと・ワークショップ	片岡祐介(音楽家)	5月19日、5月20日	12	
	「ことば」と音楽でつくる楽しい絵本の世界③ 「ことば」と音楽でつくる楽しい絵本の世界パフォーマン스에挑戦	片岡祐介(音楽家)、 ヴィルタス・クゥルテット	5月26日	11	
	わくわくアートスクール「新聞紙とガムテープで初夢をつくろう!」	関口光太郎(造形作家)	1月5日	10	
	かんたん版画体験コーナー	当館スタッフ	1月5日〜1月27日	1,621	
	収蔵作家ワークショップ/丸山直文 にじむ絵具、ゆれる光〜描くことと消えること〜	丸山直文(収蔵作家)	3月22日	11	
	収蔵作家ワークショップ/丸山直文 にじむ絵具、ゆれる光〜描くことと消えること〜	丸山直文(収蔵作家)	3月23日、3月24日	12	
	小 計				1,822
	コ ン サ ー ト & パ フ ォ ー マ ン ス	ちいさなコンサート ぜんぶ即興!ミニコンサート	片岡祐介(音楽家)	5月19日	100
		美術館に行こう!展 おはなし会	JIPC読書アドバイザークラブ福島支部 宇野、菅野	8月12日	75
美術館に行こう!展 おはなし会		JIPC読書アドバイザークラブ福島支部 吉田、豊増	8月26日	102	
パフォーマス インカスの伝言 踊り場弾き場		田中泯(舞踏家)、ジョン・ラッセル(ギタリスト)、 ストーレ・リアヴィーク・ソルベルク(ドラマー)	9月16日	410	
のんきやあやや★紙芝居ライブ!		街の紙芝居屋さん のんきやあやや	10月13日	110	
四家卯大によるチェロ公演		四家卯大	11月11日	34	
春を呼ぶ!世界一の口笛&ピアノコンサート		青柳呂武(口笛奏者)、永井秀和(ピアニスト)	1月14日	174	
小 計				1,005	
映 像 鑑 賞 会				-	
小 計				-	
移 動 美 術 館	アートキャラバン2018(全回)				
	展覧会を10倍楽しむ方法	当館学芸員、峰丘(出品作家)	5月1日〜11月29日	352	
	切り絵・切り紙の楽しい世界	当館学芸員	4月18日〜10月16日	108	
	岩絵具で遊んじゃおう	当館学芸員	6月12日〜11月8日	64	
	声とことばのワークショップ 声を出して元気アップ!	森絵留(盛名劇団かもめ主宰)	6月27日〜10月30日	174	
	「福興だるま」に願いを込めて!	山本伸樹(美術家)	7月12日〜9月7日	98	
	豆本にチャレンジ	当館学芸員	8月21日、11月9日	20	
	世界にひとつだけのガラスアート	当館学芸員	10月11日〜11月22日	94	
アートキャラバン「コロコロオブジェ」	当館学芸員	10月26日	9		
小 計				919	
実技講習室開放	実技講座修了者による自己研鑽補助、実技相談等		通年(22回)	66	
小 計				66	
共 催 事 業	握手&撮影 はらぺこあおむしがやってくる(午前・午後)		4月27日	230	
	いわきアリオス×いわき市立美術館=未来をつくるいわきの子どもたちへ「ヴィルタス・クゥルテット『絵本の世界』を弾く」	ヴィルタス・クゥルテット、他	5月26日	250	
	裸婦デッサン会		9月8日、9月9日	48	
	ミクロの化石からアートへinいわき市立美術館	竹谷陽二郎、宇野君平	12月16日	24	
	市美展書の部招待作家による作品説明会	市美展書の部招待作家	2月10日	40	
	市美展書の部招待作家による席上揮毫会&高校生による書道パフォーマンス	市美展書の部招待作家、福島県磐城高等学校書道部	2月17日	100	
	市美展絵画・彫塑の部招待作家による入選作品批評会	市美展絵画・彫塑の部招待作家	2月23日	36	
	市美展陶芸の部タッチコーナー	市美展陶芸の部 部会員	3月10日	18	
	市美展写真の部作品解説会	市美展写真の部 部会員	3月10日	32	
	市美展陶芸の部皇茶会〜市民がつくった茶碗を使って〜	市美展陶芸の部、茶道淡交会いわき支部	3月9日	80	
小 計				858	
合 計				6,513	

平成30年度美術館費当初予算

(単位：千円)

項 目	金 額
人 件 費	66,317
管 理 費	102,726
施設管理費	102,726
作品購入費	
施設整備費	
事 業 費	76,674
企画展事業費	67,428
常設展事業費	1,255
教育普及事業費	2,889
調査研究費	453
彫刻のある街づくり事業費	4,649
計	245,717

- A. 美術館協議会委員
B. 美術品選定評価委員会委員
C. 美術館職員

A. 美術館協議会委員

任期：平成30年4月1日～令和2年3月31日

役職	氏名	職 業（役職名）
委員	井上 直美	一般社団法人いわき観光まちづくりビューロー 会長
委員	三室 千鶴子	いわき女性の会 会長
委員	坂本 美知子	株式会社いわき市民コミュニティ放送 放送制作部係長
委員	江尻 敏昭	いわき美術協会 事務局長
委員	鳥海 陽太郎	いわき地域学会 幹事
委員	飯野 光長	いわき青年会議所 専務理事
委員	相沢 とし子	国際ソロプチミストいわき 会長
委員	織田 千代	美術家
委員	草野 怜子	美術家
委員	峰 丘	いわき市立美術館友の会 顧問
委員	鈴木 廣美	いわき市小学校教育研究会図画工作部会 部長
委員	野地 かおる	いわき市中学校教育研究会美術専門部会 部長
委員	土屋 裕子	福島県高等学校教育研究会美術工芸専門部会いわき支部長
委員	鎌田 真理子	医療創生大学 教養学部教授
委員	松田 文子	いわき市子ども会育成会連絡協議会 事務局長

【博物館法】

第21条 博物館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行うもの並びに学識経験を有する者の中から当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

C. 美術館職員

平成30年4月1日現在

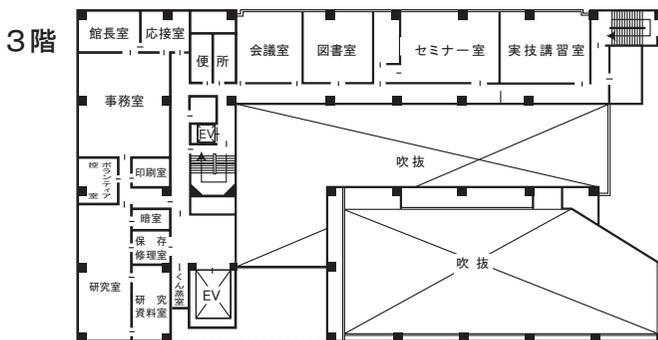
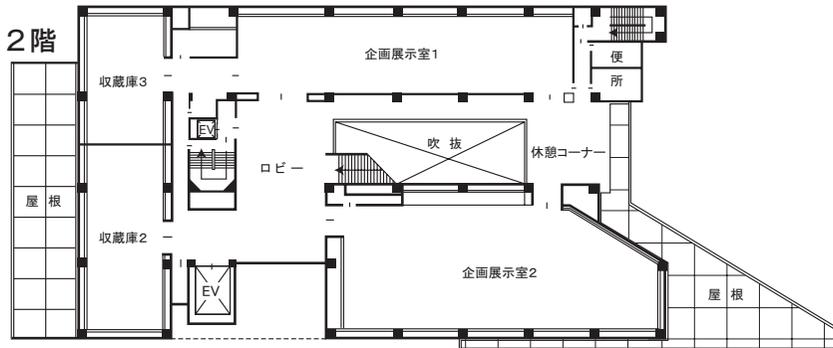
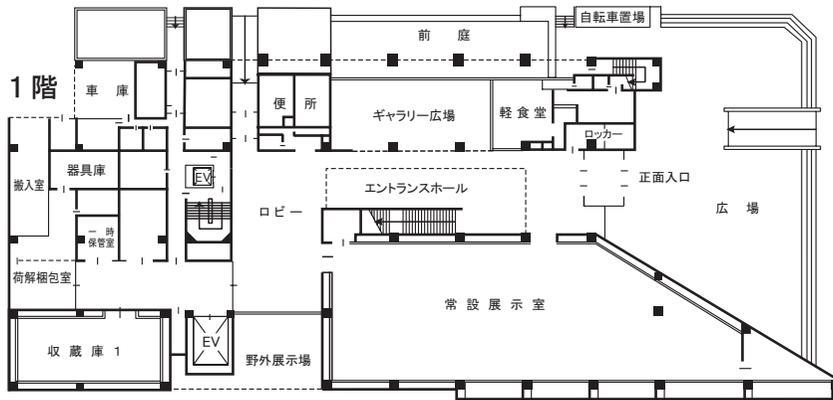
	職 員	氏 名
	館 長(嘱託)	佐々木吉晴
	副 館 長⑩	杉浦 友治
《庶務課》	課 長⑩	高沢 浩子
庶 務 係	係 長(兼)	高沢 浩子
	主 査	宇佐美千恵
	事 務 主 任	鈴木 浩美
《学芸課》	課 長(兼)	杉浦 友治
学 芸 係	特任学芸員(嘱託)	平野 明彦
	係 長⑩	秋葉 啓子
	学 芸 員	太田 紋乃
普 及 係	主任主査(兼)係長	植田 玲子
	主 任 学 芸 員	江尻 英貴
	学 芸 員(再任用)	石川百合子

B. 美術品選定評価委員会委員

任期：平成30年4月1日～令和2年3月31日

役職	氏名	職 業（役職名）
	谷 新	美術評論家
委員長	北郷 悟	彫刻家 東京藝術大学 学長特別補佐・教授
副委員長	清水 真砂	世田谷美術館 分館長
	小勝 禮子	美術評論家
	荒木 康子	福島県立美術館 学芸課長
	大谷 省吾	東京国立近代美術館 美術課長

平面図



利 用 案 内

●開館時間

午前9時30分～午後5時(展示室への入場は午後4時30分まで)

7、8月の毎週金曜日は、夜8時まで開館。(展示室への入場は午後7時30分まで)

●休館日

毎週月曜日(ただし月曜日が祝日等の場合は開館し、翌日休館)

年末年始(12月28日～1月4日)

●観覧料

	常設展	企画展(その都度定める)
一 般	210円(170円)	1,500円(1,200円)以内
高・高専・大学生	150円(110円)	740円(590円)以内
小・中 学 生	70円(50円)	440円(350円)以内

※()内は、20名以上の団体割引料金。
※企画展チケットで常設展もご覧になれます。

●企画展・常設展が無料になる場合

- ・市内在住の65歳以上の方は、企画展・常設展無料
- ・身体障がい者手帳、精神障がい者保健福祉手帳のいずれかをお持ちの方は、企画展・常設展無料
- ・土曜日、日曜日に限り、市内の小学校、中学校、高等学校、専修学校(高等課程)、高等専門学校に在学の方は、企画展・常設展無料
- ・祝日は、常設展無料

●図書室の利用時間

午前9時30分～午後5時

7月、8月の毎週金曜日は午後8時まで

●実技講習室の利用時間

午前9時30分～午後4時45分

7月、8月の毎週金曜日は夜7時45分まで

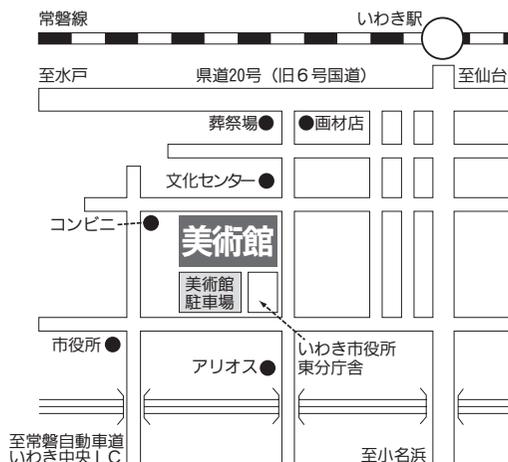
●交 通

JR常磐線、磐越東線いわき駅より徒歩12分

常磐自動車道、磐越自動車道いわき中央ICより10分

駐車場：美術館駐車場、他 いわき市公共駐車場

●地 図



平成30年度
いわき市立美術館年報

編集・発行
いわき市立美術館
〒970-8026 いわき市平字堂根町4-4